

### 3. 地域の概況

### 3. 地域の概況

地域の概況における調査範囲（以下、「調査範囲」という。）は「仙台市環境影響評価技術指針マニュアル」（平成 31 年 1 月 仙台市）（以下、「技術マニュアル」という）に示されている概況調査範囲（5～10km）を踏まえ、計画地を中心とした概ね 8km 四方の範囲とした（図 3-1 参照）。



凡 例




-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 地域の概況における調査範囲  
(計画地を中心として概ね8km四方)

図 3-1 地域の概況調査範囲



S=1:50,000

0 1250 2500m

### 3.1 自然的状況

#### 3.1.1 大気環境

##### (1) 気象

計画地の最寄りの気象観測所である仙台管区気象台（仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第 3 合同庁舎）の位置は図 3.1-1、仙台管区気象台における平成 20 年～平成 29 年の気象の概況及び平成 29 年の気象の概況は表 3.1-1 及び表 3.1-2 に示すとおりである。

##### ア．気温の状況

平成 20 年～平成 29 年の 10 年間の平均気温は 13.0℃、月平均最高気温の平均値は 17.2℃、月平均最低気温の平均値は 9.5℃である。

平成 29 年の平均気温は 12.9℃、最高気温の平均値は 17.0℃、最低気温の平均値は 9.4℃である。

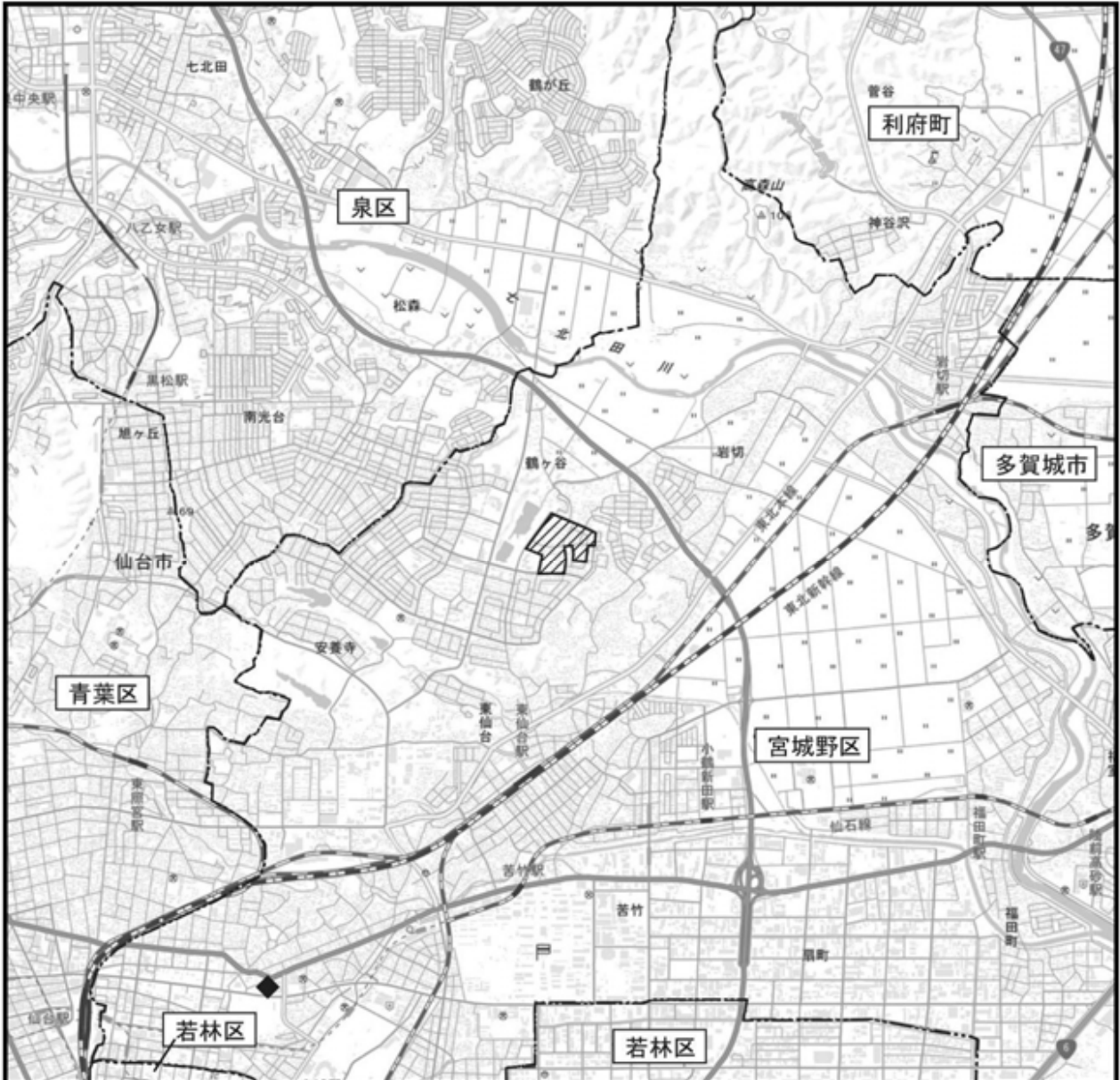
##### イ．降水量の状況

平成 20 年～平成 29 年の 10 年間の平均年間降水量は 1,299mm である。平成 29 年の年間降水量は 1,321mm と過去 10 年間の平均年間降水量に対して約 2%多い。

##### ウ．風向・風速の状況

平成 20 年～平成 29 年の 10 年間の年間平均風速は 3.1m/秒である。風向は 1 月～4 月及び 9 月～12 月にかけて北北西及び西北西の風が、5 月～8 月にかけて南東の風が卓越している。

平成 29 年の年間平均風速は 3.0m/秒、風向は 1 月～4 月及び 9 月～12 月にかけて北北西及び西北西の風が、5 月～8 月にかけて南東及び東南東の風が卓越しており、平成 20 年～平成 29 年の 10 年間とほぼ同様の傾向が見られる。



凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

◆ : 仙台管区気象台

- 出典：1. 「気象台の位置」（平成30年9月閲覧 気象台）  
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>  
 2. 「仙台管区気象台」（平成30年9月閲覧 仙台管区気象台）  
<https://www.jma-net.go.jp/sendai/index.html>

図 3.1-1 仙台管区気象台の位置

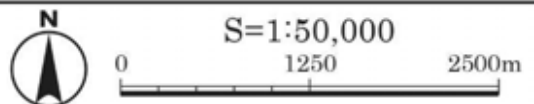


表 3.1-1 気象の概況（仙台管区気象台：平成 20 年～平成 29 年）

月	項目	気温 (°C)			降水量 (mm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/秒)	最多風向
		平均	最高	最低				
1月		1.8	5.5	-1.5	32.4	155.6	3.5	西北西
2月		2.3	6.3	-1.3	33.9	152.4	3.6	北北西
3月		5.5	10.1	1.5	77.4	176.5	3.6	北北西
4月		10.7	15.5	6.5	115.3	193.5	3.6	北北西
5月		16.0	20.8	12.1	123.9	205.2	3.2	南東
6月		19.5	23.6	16.4	142.1	158.4	2.8	南東
7月		23.7	27.6	20.9	127.2	139.1	2.4	南東
8月		24.8	28.6	22.1	164.3	141.1	2.5	南東
9月		21.5	25.5	18.2	206.1	142.2	2.9	北北西
10月		15.9	20.2	12.0	150.3	154.5	3.1	北北西
11月		9.8	14.0	5.9	60.0	141.3	3.0	北北西
12月		4.5	8.4	1.1	66.6	140.9	3.3	北北西
年間		13.0	17.2	9.5	1,299	1,901	3.1	北北西

※：年間における各項目は、以下のとおり。

気温：月平均気温、月平均最高(低)気温の10年間における平均値

降水量：10年間の平均年間降水量

日照時間：10年間の平均年間日照時間

平均風速：月平均風速の10年間における平均値

最多風向：月最多風向の10年間における最多風向

出典：気象庁HP「過去の気象データ検索」（平成30年9月閲覧）（<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> 気象庁）

表 3.1-2 気象の概況（仙台管区気象台：平成 29 年）

月	項目	気温 (°C)			降水量 (mm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/秒)	最多風向
		平均	最高	最低				
1月		2.5	6.2	-0.7	18.0	160.7	3.2	北北西
2月		3.2	7.3	-0.2	15.0	157.7	3.7	西北西
3月		5.4	9.6	1.6	77.5	173.4	3.4	北北西
4月		11.5	16.7	6.9	101.0	200.9	3.4	西北西
5月		17.0	21.6	12.9	137.0	211.4	2.7	南東
6月		18.6	22.9	15.2	80.5	179.7	3.0	南東
7月		25.1	29.3	22.1	182.0	181.8	2.2	南東
8月		23.0	25.9	20.8	219.0	57.1	2.6	東南東
9月		21.1	25.7	17.0	135.5	184.7	3.0	北北西
10月		14.9	18.4	11.8	340.5	96.8	2.9	北北西
11月		9.1	13.3	5.1	7.5	149.9	2.8	北北西
12月		3.5	7.4	0.1	7.0	155.4	3.0	北北西
年間		12.9	17.0	9.4	1,321	1,910	3.0	北北西

※：年間における各項目は、以下のとおり。

気温：月平均気温、月平均最高(低)気温の10年間における平均値

降水量：10年間の平均年間降水量

日照時間：10年間の平均年間日照時間

平均風速：月平均風速の10年間における平均値

最多風向：月最多風向の10年間における最多風向

出典：気象庁HP「過去の気象データ検索」（平成30年9月閲覧）（<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> 気象庁）

(2) 大気質

ア．大気汚染の状況

各測定局の測定項目等は表 3.1-3、常時監視測定局の位置は図 3.1-2に示すとおりである。

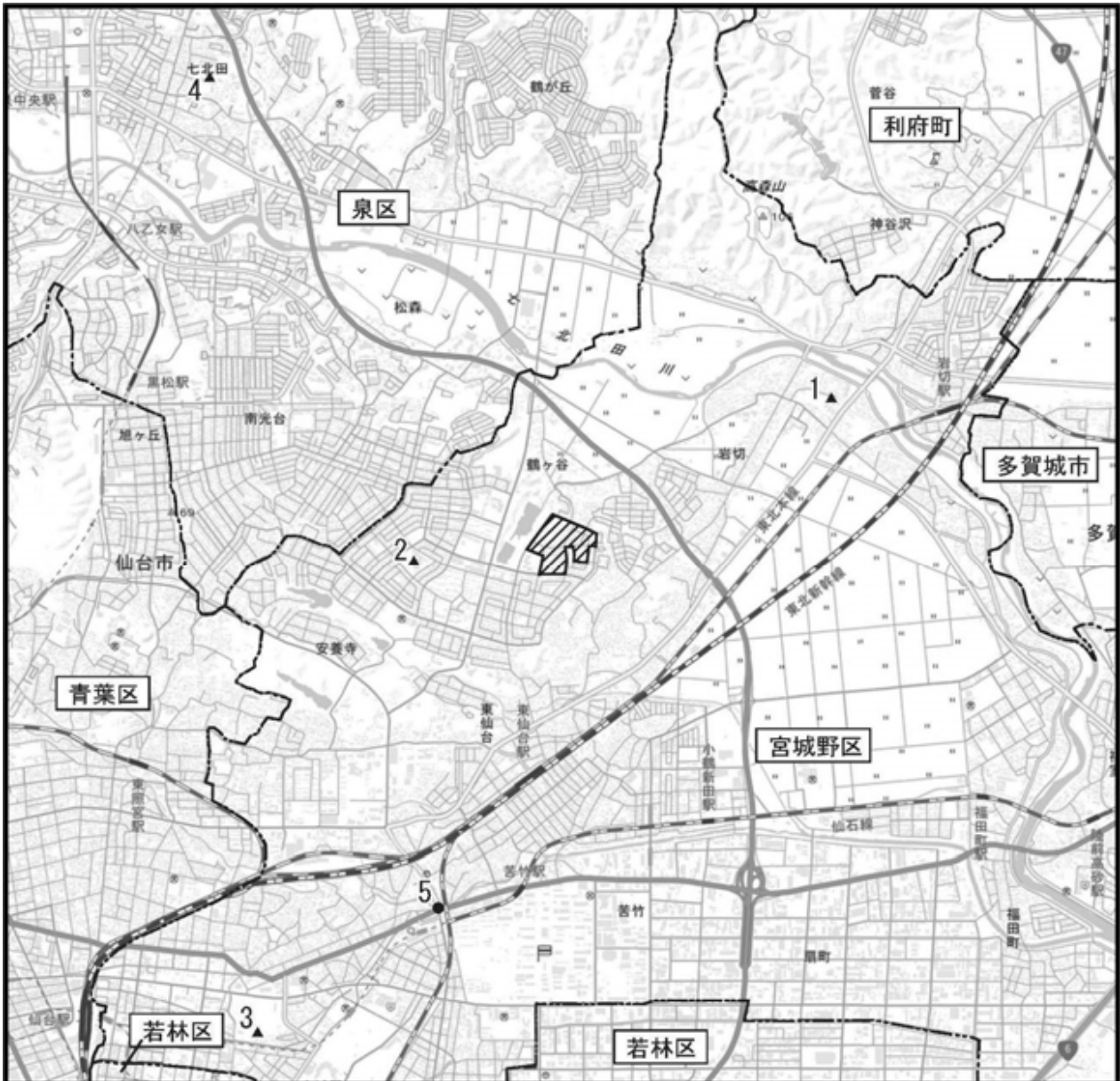
調査範囲内には、大気汚染常時監視測定局として、一般環境大気測定局が 4 局（岩切、鶴谷、榴岡、七北田）、自動車排出ガス測定局が 1 局（苦竹）設置されている。

表 3.1-3 大気汚染常時監視測定局の測定項目





測定局種別	No. ※	測定局名	二酸化硫黄	二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	一酸化炭素	微小粒子状物質	非メタン炭化水素
一般環境大気	1	岩切	-	-	○	○	-	○	-
	2	鶴谷	-	○	○	○	-	-	-
	3	榴岡	○	○	○	○	-	○	○
	4	七北田	-	○	○	○	-	○	-
自動車排出ガス	5	苦竹	○	○	-	○	○	-	

※：表中の No. は、図 3.1-2に対応する。

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

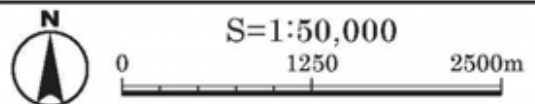


凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 一般環境大気測定局 (図中番号: 1~4)
-  : 自動車排出ガス測定局 (図中番号: 5)

※: 図中の番号は表3.1-3に対応する。  
 出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)

図 3.1-2 大気質の測定地点位置





## 二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)

平成 28 年度における二酸化硫黄測定結果は表 3.1-4、平成 24 年度～平成 28 年度までの 5 年間における年平均値及び日平均値の 2%除外値の経年変化は表 3.1-5に示すとおりである。

いずれの測定局においても、短期的評価及び長期的評価とも環境基準を満足している。また、経年変化は年平均値及び日平均値の 2%除外値ともに、いずれの測定局でも横ばい傾向を示している。

表 3.1-4 二酸化硫黄測定結果（平成 28 年度）

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価		
						1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.04ppm を超えた日数
						時間	%	日	%	ppm	ppm	有×・無○	日
一般環境	榴岡	近隣商業	359	8602	0.001	0	0.0	0	0.0	0.007	0.001	○	0
自排	苦竹	商業	361	8580	0.000	0	0.0	0	0.0	0.007	0.001	○	0
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること										

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-5 二酸化硫黄経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：ppm

種別	測定局	項目	年度				
			24	25	26	27	28
一般環境	榴岡	年平均値	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001
		日平均値の 2%除外値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001
自排	苦竹	年平均値	(0.001)	0.000	0.000	0.001	0.000
		日平均値の 2%除外値	(0.002)	0.002	0.002	0.002	0.001

※：（ ）内は、有効測定時間未満の測定値

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

## 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)

平成 28 年度における二酸化窒素測定結果は表 3.1-6、平成 24 年度～平成 28 年度までの 5 年間における年平均値及び日平均値の年間 98% 値の経年変化は表 3.1-7 に示すとおりである。

いずれの測定局においても環境基準を満足している。また、経年変化は年平均値及び日平均値の年間 98% 値とともに、いずれの測定局も減少傾向がみられる。

表 3.1-6 二酸化窒素測定結果（平成 28 年度）

種別	測定局	用途地域	有効測定日数		年平均値	1 時間値の最高値	1 時間値が 0.2ppm を超えた時間数とその割合		1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下の時間数とその割合		日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合		日平均値の年間 98% 値	98% 値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数
			日	時間			ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%		
一般環境	鶴谷	第一種低層 住居専用	362	8658	0.007	0.052	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0
	榴岡	近隣商業	256	6139	0.008	0.050	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.019	0
	七北田	第二種住居	360	8627	0.009	0.048	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0
自排	苦竹	商業	361	8630	0.014	0.054	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.028	0
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること													

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-7 二酸化窒素経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：ppm

種別	測定局	項目	年度				
			24	25	26	27	28
一般環境	鶴谷	年平均値	0.009	0.009	0.009	0.008	0.007
		日平均値の年間 98% 値	0.024	0.024	0.020	0.020	0.020
	榴岡	年平均値	0.011	0.011	0.010	0.009	0.008
		日平均値の年間 98% 値	0.026	0.028	0.022	0.022	0.019
	七北田	年平均値	0.011	0.011	0.010	0.010	0.009
		日平均値の年間 98% 値	0.026	0.027	0.023	0.024	0.022
自排	苦竹	年平均値	0.018	0.018	0.016	0.016	0.014
		日平均値の年間 98% 値	0.033	0.035	0.029	0.029	0.028

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

光化学オキシダント(O<sub>x</sub>)

平成 28 年度における光化学オキシダントの測定結果は表 3.1-8、平成 24 年度～平成 28 年度までの 5 年間に於ける 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数及び時間数の経年変化は表 3.1-9 に示すとおりである。

平成 28 年度における昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間は、岩切測定局では 28 時間（10 日）、鶴谷測定局では 103 時間（30 日）、榴岡測定局では 107 時間（24 日）、七北田測定局では 140 時間（35 日）発生し、昼間の 1 時間値の最高値は岩切測定局では 0.073ppm、鶴谷測定局では 0.078ppm、榴岡測定局では 0.079ppm、七北田測定局では 0.078ppm と環境基準（0.06ppm）を満足していない。また、経年変化はいずれの測定局においても、1 時間値が 0.06ppm を超えた日数及び時間数ともに平成 27 年度が最多となっている。

表 3.1-8 光化学オキシダント測定結果（平成 28 年度）

種別	測定局	用途地域	昼間の測定日数	昼間の測定時間	昼間の 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数と時間数		昼間の 1 時間値の最高値	昼間の日最高 1 時間値の平均値
			日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
一般環境	岩切	第一種住居	338	4991	0.028	10	28	0	0	0.073	0.038
	鶴谷	第二種低層住居専用	365	5408	0.034	30	103	0	0	0.078	0.044
	榴岡	近隣商業	365	5409	0.033	24	107	0	0	0.079	0.043
	七北田	第二種住居	365	5412	0.034	35	140	0	0	0.078	0.045
環境基準			1 時間値が 0.06ppm 以下であること								

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-9 光化学オキシダント経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

種別	測定局	項目	年度					
			24	25	26	27	28	
一般環境	岩切	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数（日）	8	12	19	20	10
			時間数（時間）	29	45	96	97	28
	鶴谷	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数（日）	27	20	42	49	30
			時間数（時間）	88	76	238	279	103
	榴岡	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数（日）	15	19	47	49	24
			時間数（時間）	44	73	237	285	107
	七北田	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数（日）	37	31	43	52	35
			時間数（時間）	140	123	264	270	140

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

### 浮遊粒子状物質 (SPM)

平成 28 年度における浮遊粒子状物質の測定結果は表 3.1-10、平成 24 年度～平成 28 年度までの5年間における年平均値及び日平均値の2%除外値の経年変化は表 3.1-11に示すとおりである。

いずれの測定局においても、環境基準の短期的評価及び長期的評価を満足している。また、経年変化は年平均値が平成 24 年度から平成 28 年度にかけて、いずれの測定局も減少傾向がみられる。

表 3.1-10 浮遊粒子状物質測定結果 (平成 28 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価		
						1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
						時間	%	日	%	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	有×・無○	日
一般環境	岩切	第一種住居	360	8686	0.013	0	0.0	0	0.0	0.120	0.032	○	0
	鶴谷	第二種低層住居専用	364	8716	0.014	0	0.0	0	0.0	0.092	0.031	○	0
	榴岡	近隣商業	362	8692	0.010	0	0.0	0	0.0	0.068	0.027	○	0
	七北田	第一種住居	364	8706	0.010	0	0.0	0	0.0	0.074	0.023	○	0
自排	苦竹	商業	359	8638	0.018	0	0.0	0	0.0	0.115	0.042	○	0
環境基準			1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること										

出典：「公害関係資料集 (平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-11 浮遊粒子状物質経年変化 (平成 24 年度～平成 28 年度)

単位：mg/m<sup>3</sup>

種別	測定局	項目	年度				
			24	25	26	27	28
一般環境	岩切	年平均値	0.016	0.017	0.018	0.016	0.013
		日平均値の2%除外値	0.039	0.042	0.044	0.039	0.032
	鶴谷	年平均値	0.018	0.019	0.018	0.017	0.014
		日平均値の2%除外値	0.037	0.044	0.043	0.046	0.031
	榴岡	年平均値	0.013	0.013	0.014	0.012	0.010
		日平均値の2%除外値	0.035	0.048	0.044	0.042	0.027
七北田	年平均値	0.016	0.017	0.017	0.014	0.010	
	日平均値の2%除外値	0.042	0.043	0.044	0.038	0.023	
自排	苦竹	年平均値	0.021	0.021	0.021	0.021	0.018
		日平均値の2%除外値	0.053	0.059	0.054	0.051	0.042

出典：「公害関係資料集 (平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

### 一酸化炭素(CO)

「公害関係資料集」(平成 28 年度測定結果)(仙台市環境局)によると、調査範囲では一酸化炭素の測定は行われていない。

### 微小粒子状物質(PM2.5)

平成 28 年度における微小粒子状物質の測定結果は表 3.1-12、平成 24 年度～平成 28 年度までの5年間における年平均値及び日平均値の年間98%値の経年変化は表 3.1-13に示すとおりである。

平成 28 年度における測定結果は、いずれの測定局においても、環境基準の長期基準及び短期基準ともに満足している。なお、日平均値が  $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$  を超えた日数は、榴岡測定局で 2 日、苦竹測定局で 1 日であった。また、経年変化は年平均値、日平均値の 98%値ともに、いずれの測定局においても横ばい傾向が見られる。

表 3.1-12 微小粒子状物質測定結果（平成 28 年度）

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	年平均値	日平均値の年間 98%値	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合	
			日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%
一般環境	岩切	第一住	341	8.2	20.4	0	0.0
	榴岡	近隣商業	361	11.1	25.7	2	0.6
	七北田	第二住	363	8.0	19.2	0	0.0
自排	苦竹	商業	359	10.5	24.8	1	0.3
環境基準		1 年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。*					

※長期基準及び短期基準の評価を各々実施した上で両者の基準の達成状況から評価する。

・長期基準は年平均値を環境基準 ( $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$  以下) と比較して評価する。

・短期基準は日平均値の年間 98%値を日平均値の代表値として環境基準 ( $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$  以下) と比較して評価する。

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-13 微小粒子状物質経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

種別	測定局	項目	年度				
			24	25	26	27	28
一般環境	岩切	年平均値	-	-	(9.4)	10.1	8.2
		日平均値の年間 98%値	-	-	(27.8)	28.1	20.4
	榴岡	年平均値	11.6	12.0	11.5	12.9	11.1
		日平均値の年間 98%値	29.6	34.8	30.5	34.3	25.7
	七北田	年平均値	-	-	(9.4)	9.6	8.0
		日平均値の年間 98%値	-	-	(26.3)	26.8	19.2
自排	苦竹	年平均値	13.2	12.9	13.2	12.7	10.5
		日平均値の年間 98%値	30.4	36.1	32.0	33.4	24.8

※：（ ）内は有効測定日数未滿の測定値

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

### 非メタン炭化水素(NMHC)

平成 28 年度における非メタン炭化水素の測定結果は表 3.1-14、平成 24 年度～平成 28 年度までの5年間における年平均値及び日平均値の年間98%値の経年変化は表 3.1-15に示すとおりである。

非メタン炭化水素には環境基準が設定されていないが、光化学オキシダントの生成防止のための「大気中鉛の健康影響について及び光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について(中央公害対策審議会答申)」(昭和 51 年 8 月 17 日 環大企 220 号)として「6～9 時の 3 時間平均値が 0.20～0.31ppmC の範囲にあること」と示されている。

平成 28 年度における 6～9 時の 3 時間平均値が 0.31ppmC を越えた日数は、榴岡測定局で 1 日発生している。また、経年変化は、年平均値、6～9 時における年平均値ともに、榴岡測定局においては概ね横ばい傾向を示している。

表 3.1-14 非メタン炭化水素測定結果(平成 28 年度)

種別	測定局	用途地域	測定時間 時間	年平均値 ppmC	6～9 時 における 年平均値 ppmC	6～9 時 測定日数 日	6～9 時の 3 時間平均値		6～9 時の 3 時間平均 値が 0.20ppmC を越え た日数とその割合		6～9 時の 3 時間平均 値が 0.31ppmC を越え た日数とその割合	
							最高値	最低値	日	%	日	%
							ppmC	ppmC	日	%	日	%
一般環境	榴岡	近隣商業	8323	0.09	0.10	350	0.34	0.04	14	4.0	1	0.3

出典：「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-15 非メタン炭化水素経年変化(平成 24 年度～平成 28 年度)

種別	測定局	項目	年度					
			24	25	26	27	28	
一般環境	榴岡	年平均値(ppmC)	0.06	0.06	0.11	0.09	0.09	
		6～9 時における年平均値(ppmC)	0.07	0.07	0.12	0.10	0.10	
		6～9 時 3 時間 平均値	0.20ppmC を越えた日数(日)	13	8	18	14	14
			その割合(%)	3.8	2.3	6.5	3.9	4.0
			0.31ppmC を越えた日数(日)	2	0	0	3	1
			その割合(%)	0.6	0.0	0.0	0.8	0.3

出典：「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)

### イ．大気質に係る苦情の状況

仙台市における平成 24 年度～平成 28 年度の大気質に係る苦情件数の推移は表 3.1-16、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の大気質に係る苦情件数の推移は表 3.1-17に示すとおりである。

仙台市では、ばい煙の苦情件数が年間 4 件～15 件、粉じんの苦情件数が年間 9 件～25 件で推移している。多賀城市では、大気汚染の苦情件数が年間 1 件～5 件で推移している。なお、利府町では大気汚染に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-16 大気質に係る苦情件数の経年変化（仙台市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ばい煙		15	4	4	8	5
粉じん		25	20	16	15	9

出典：「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-17 大気質に係る苦情件数の経年変化（多賀城市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

市町村	項目	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
多賀城市	大気汚染		1	1	5	2	1

※：ばい煙、粉じんの内訳は、宮城県環境対策課では把握されていない。

出典：「公害苦情調査結果報告書（平成 24 年度～平成 28 年度）」（宮城県環境生活部環境対策課）



ウ．発生源の状況

仙台市における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設数及び事業場数並びに一般粉じん発生施設数及び事業場数は表 3.1-18、多賀城市における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設数及び事業場数並びに一般粉じん発生施設数及び事業場数は表 3.1-19、利府町における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設数及び事業場数並びに一般粉じん発生施設数及び事業場数は表 3.1-20のとおりである。

関係地域内では表 3.1-21に示すばい煙発生施設を有する事業場が存在しており、その位置は図 3.1-3に示すとおりである。なお一般粉じん発生施設は存在しない。

表 3.1-18 仙台市内のばい煙及び一般粉じんの発生施設数及び事業者数（平成 28 年度）

単位：件

項目	年度	平成 28 年度	
	ばい煙	発生施設数（事業場数）	1,590 (709)
粉じん	126 (19)		

出典：「公害関係資料集」（平成 28 年度測定結果）（仙台市環境局）

表 3.1-19 多賀城市内のばい煙及び一般粉じんの発生施設数及び事業者数（平成 26 年度）

単位：件

項目	年度	平成 26 年度	
	ばい煙	発生施設数（事業場数）	120 (39)
粉じん	15 (1)		

出典：「平成 26 年度宮城県公害資料（大気編）」（宮城県環境生活部環境対策課）

表 3.1-20 利府町内のばい煙及び一般粉じんの発生施設数及び事業者数（平成 26 年度）

単位：件

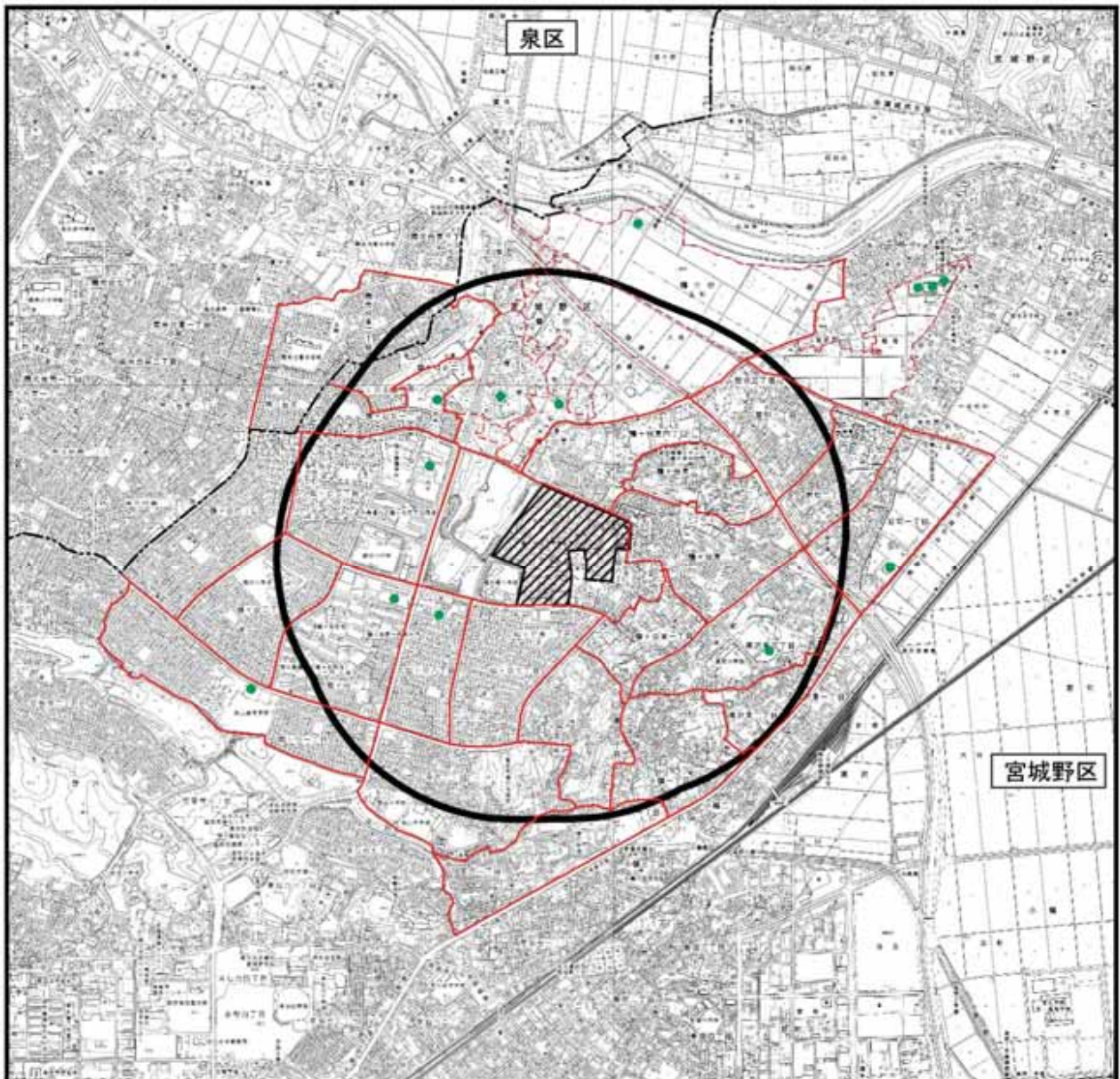
項目	年度	平成 26 年度	
	ばい煙	発生施設数（事業場数）	55 (22)
粉じん	26 (2)		

出典：「平成 26 年度宮城県公害資料（大気編）」（宮城県環境生活部環境対策課）







表 3.1-21 大気汚染防止法（ばい煙）に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業所数	施設数	
			総数	内訳
宮城野区	燕沢東三丁目	1	1	ボ イ ラ ー：1
	岩切一丁目	1	2	ボ イ ラ ー：2
	岩切字稲荷	3	4	ボ イ ラ ー：4
	鶴ヶ谷一丁目	1	2	ボ イ ラ ー：2
	鶴ヶ谷五丁目	1	9	ボ イ ラ ー：6 ディーゼル機関：3
	鶴ヶ谷字館下	1	2	ボ イ ラ ー：2
	鶴ヶ谷字京原	1	1	ボ イ ラ ー：1
	鶴ヶ谷字金堀	1	1	ガスタービン：1
	鶴ヶ谷二丁目	1	1	ディーゼル機関：1
	鶴ヶ谷八丁目	1	2	ボ イ ラ ー：2
鶴ヶ谷北一丁目	1	2	ボ イ ラ ー：2	

出典：「大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）  
「大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）



凡 例

-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設

出典：「大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設一覧」(平成30年3月31日現在 仙台市)  
「大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設一覧」(平成30年3月31日現在 仙台市)

図 3.1-3 大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設



S=1:25,000  
0 500 1000m

(3) 騒音

ア. 騒音の状況

環境騒音

「公害関係資料集」(平成 28 年度測定結果)(仙台市環境局)によると、調査範囲では環境騒音の測定は行われていない。

道路交通騒音

調査範囲において、平成 28 年度に道路交通騒音測定が 7 地点で実施されている。平成 28 年度の道路交通騒音測定結果は表 3.1-22、道路交通騒音調査路線位置図は図 3.1-4に示すとおりである。

各路線の環境基準達成状況は 74~100%であり、昼間・夜間ともに達成した評価区間は、No.4(国道 45 号)、No.6(仙台北環状線)及びNo.7(宮城野通線)の 3 区間であった。

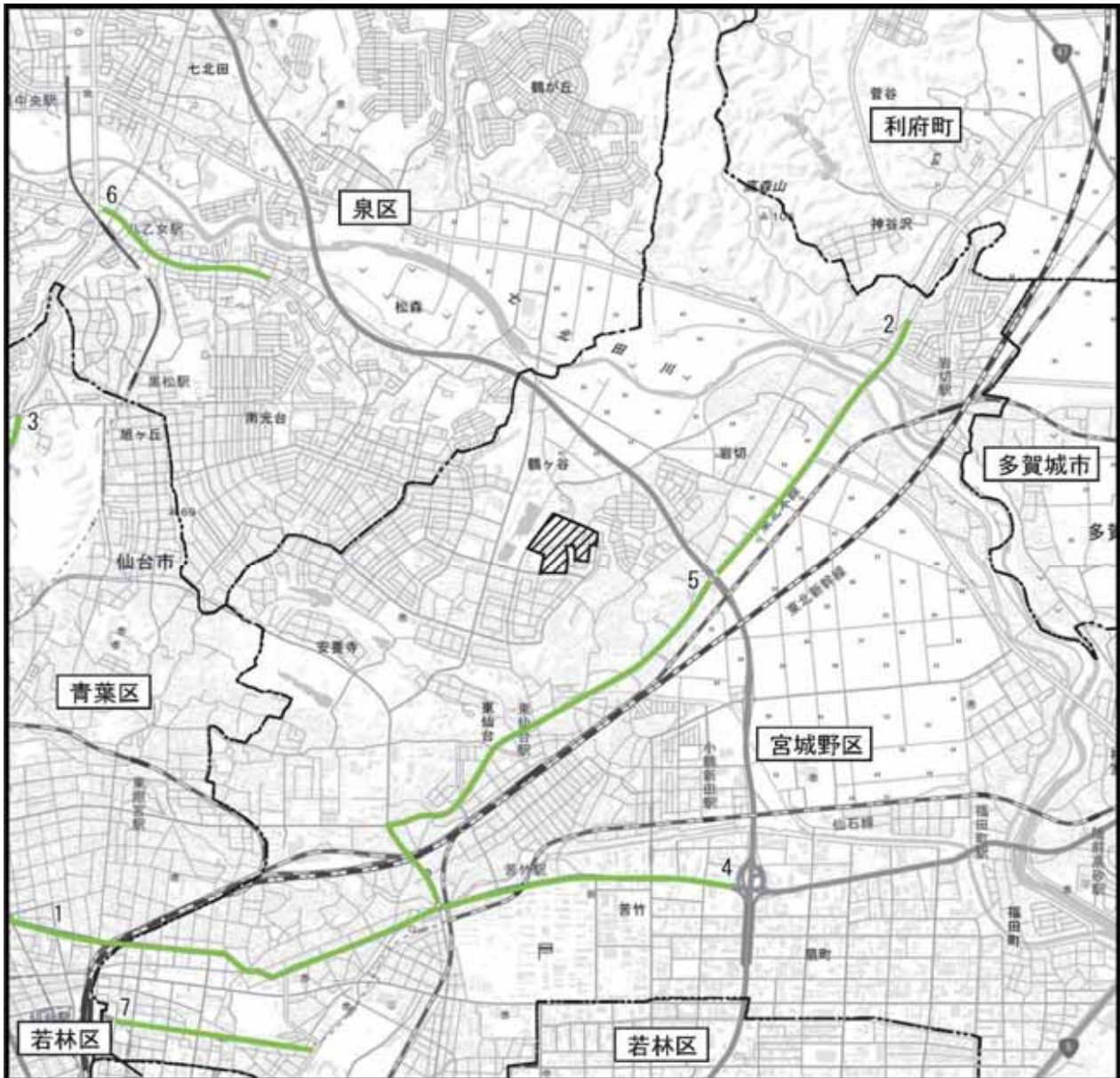
表 3.1-22 道路交通騒音測定結果(平成 28 年度)

路線 No.*	評価対象道路					評価結果		
	評価 区間 番号	路線名	評価区間 (上段:始点) (下段:終点)	評価 区間 の延長	評価 対象 住居等 戸数	環境基準達成状況		
						昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
						達成率 (%)	達成率 (%)	達成率 (%)
(km)	(戸)	達成戸数 (戸)	達成戸数 (戸)	達成戸数 (戸)				
1	1010	国道 45 号	仙台市青葉区 本町 1 丁目 15	3.4	3,704	74	2	0
			仙台市宮城野区 原町 3 丁目 7			2,747	89	0
2	4002	仙台 松島線	仙台市宮城野区 岩切 1 丁目 1	2.6	297	76	10	0
			仙台市宮城野区 岩切羽黒前			226	31	0
3	4009001	仙台泉線	仙台市青葉区 昭和町 3	2.4	1,439	84	6	0
			仙台市青葉区 双葉ヶ丘 1 丁目 1			1,204	87	0
4	1011	国道 45 号	仙台市宮城野区 原町 6 丁目 1	2.3	912	100	0	0
			仙台市宮城野区 日の出町 1 丁目 5			912	0	0
5	4011	仙台松島線	仙台市宮城野区 原町 3 丁目 8	3.9	1,566	94	5	0
			仙台市宮城野区 燕沢東 2 丁目 9			1,475	86	0
6	4021	仙台 北環状線	仙台市泉区 八乙女 3 丁目 12	1.6	1,156	100	0	0
			仙台市泉区 八乙女中央 1 丁目 6			1,154	0	2
7	31388	宮城野通線	仙台市宮城野区 榴岡 2 丁目 5	1.5	814	100	0	0
			仙台市宮城野区 宮城野 1 丁目 9			814	0	0




※:表中の No. は、図 3.1-4に対応する。

出典:「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)



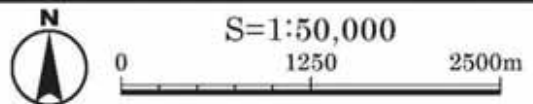


凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 道路交通騒音調査路線 (図中番号: 1~7)

※: 図中の番号は表3.1-22に対応する。  
 出典: 「公害関係資料集」(平成24年度~平成28年度測定結果 仙台市環境局)

図 3.1-4 道路交通騒音調査路線位置図



## イ．騒音に係る苦情の状況

仙台市における平成 24 年度～平成 28 年度の騒音に係る苦情件数の推移は表 3.1-23、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の騒音に係る苦情件数の推移は表 3.1-24に示すとおりである。

仙台市では騒音の苦情件数が年間 109 件～148 件で推移しており、多賀城市では年間 5 件～24 件で推移している。なお、利府町では騒音に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-23 騒音に係る苦情件数の経年変化（仙台市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
騒音	121	128	139	148	109

出典：「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-24 騒音に係る苦情件数の経年変化（多賀城市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
騒音	24	13	12	10	5

出典：「公害苦情調査結果報告書（平成 24 年度～平成 28 年度）」（宮城県環境生活部環境対策課）

## ウ．発生源の状況

仙台市における騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況は表 3.1-25、多賀城市及び利府町における騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況は表 3.1-26に示すとおりである。

仙台市の平成 28 年度の届出は、全 213 件のうち、工事種別ではビル等工事が 130 件（61％）を占めている。また、作業内容別ではさく岩機を使用する作業が 132 件（62％）を占めている。

また、関係地域内における騒音規制法に基づく特定施設の届出があった事業場は、表 3.1-27及び図 3.1-5に示すとおりである。宮城県公害防止条例（騒音）に基づく特定施設の届出があった事業場は、表 3.1-28及び図 3.1-6に示すとおりである。

表 3.1-25 仙台市内の騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況（平成 28 年度）

単位：件

作業内容	工事種別	ビル等 工事	上下水道 等工事	道路河川 等工事	その他の 工事	合計
くい打機・くい抜機を使用する作業		12	1	5	-	18
びょう打機を使用する作業		-	-	-	-	-
さく岩機を使用する作業		87	4	16	25	132
空気圧縮機を使用する作業		11	2	7	5	25
コンクリートプラントを設けて行う作業		1	-	-	-	1
バックホウを使用する作業		19	3	5	9	36
トラクターショベルを使用する作業		-	-	-	-	-
ブルドーザーを使用する作業		-	-	-	1	1
計		130	10	33	40	213

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-26 多賀城市及び利府町内の騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況（平成 27 年度）

単位：件

作業内容	市町村	多賀城市	利府町
くい打機・くい抜機を使用する作業		3	0
びょう打機を使用する作業		0	0
さく岩機を使用する作業		2	2
空気圧縮機を使用する作業		4	0
コンクリートプラントを設けて行う作業		0	0
バックホウを使用する作業		3	2
トラクターショベルを使用する作業		0	0
ブルドーザーを使用する作業		2	2
計		14	6

※：工事種別の内訳は、公表されていない。

出典：「平成 27 年度 宮城県公害資料（騒音・振動・悪臭編）」（宮城県環境生活部環境対策課）

表 3.1-27 騒音規制法に基づく特定施設の状況

区名	事業場所在地	事業場数	施設数		
			総数	内訳	
宮城野区	鶴ヶ谷五丁目	2	2	送 風 機	: 2
	鶴ヶ谷字館下	1	1	送 風 機	: 1
	鶴ヶ谷北一丁目	1	1	送 風 機	: 1
	鶴ヶ谷東三丁目	1	1	送 風 機	: 1
	鶴ヶ谷東二丁目	1	1	機 械 プ レ ス	: 1

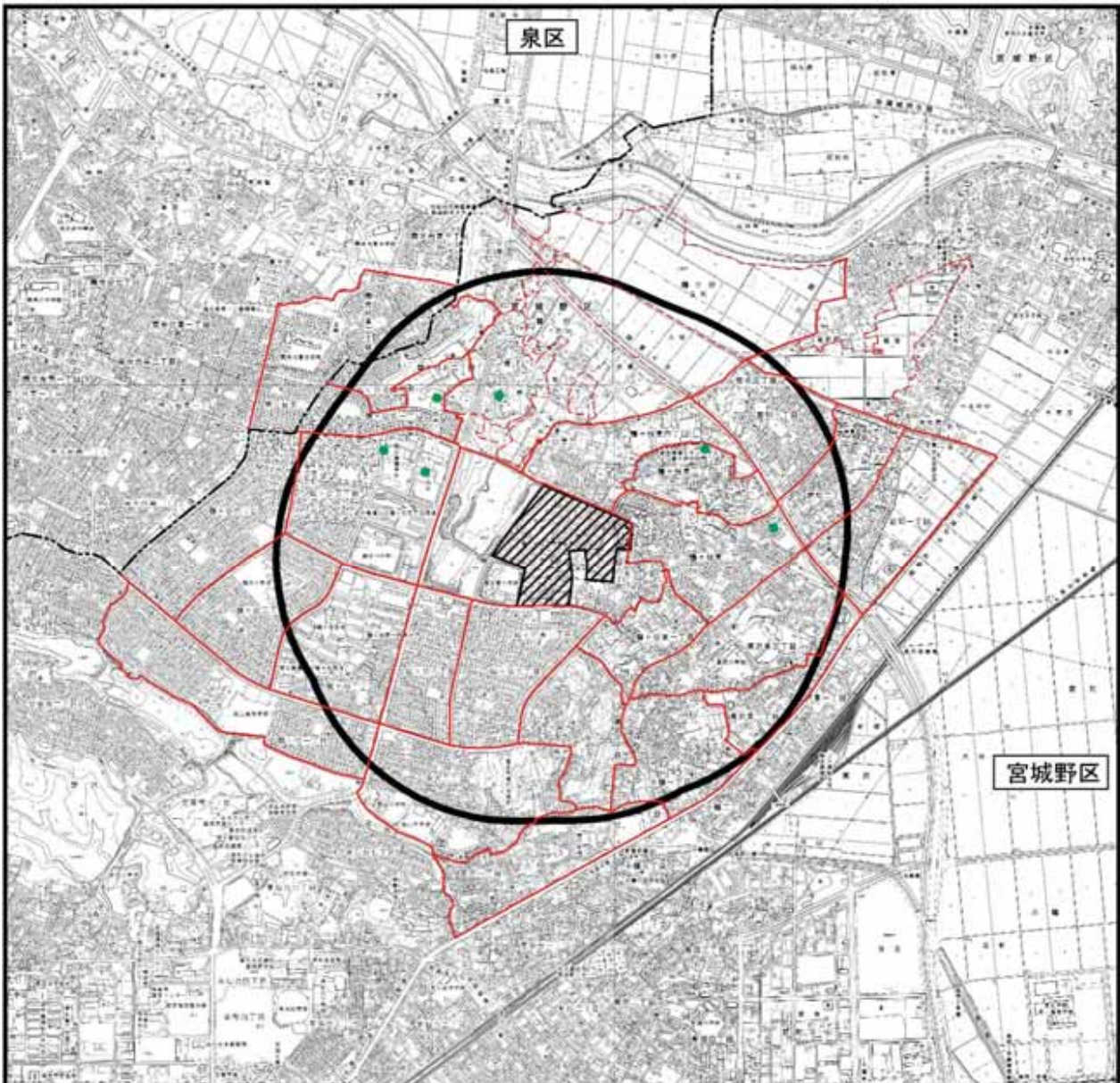
出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）

表 3.1-28 宮城県公害防止条例（騒音）に基づく特定施設の状況







区名	事業場所在地	事業所数	施設数	
			総数	内訳
宮城野区	岩切一丁目	1	2	クーリングタワー：1 バ ー ナ ー：1
	岩切字稲荷	2	4	クーリングタワー：2 バ ー ナ ー：2
	鶴ヶ谷一丁目	1	1	バ ー ナ ー：1
	鶴ヶ谷二丁目	2	4	クーリングタワー：2 バ ー ナ ー：2
	鶴ヶ谷五丁目	2	3	クーリングタワー：1 バ ー ナ ー：2
	鶴ヶ谷八丁目	1	1	バ ー ナ ー：1
	鶴ヶ谷字京原	1	1	バ ー ナ ー：1

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）





凡 例

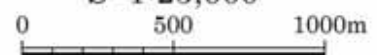
-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 騒音規制法に基づく特定施設

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

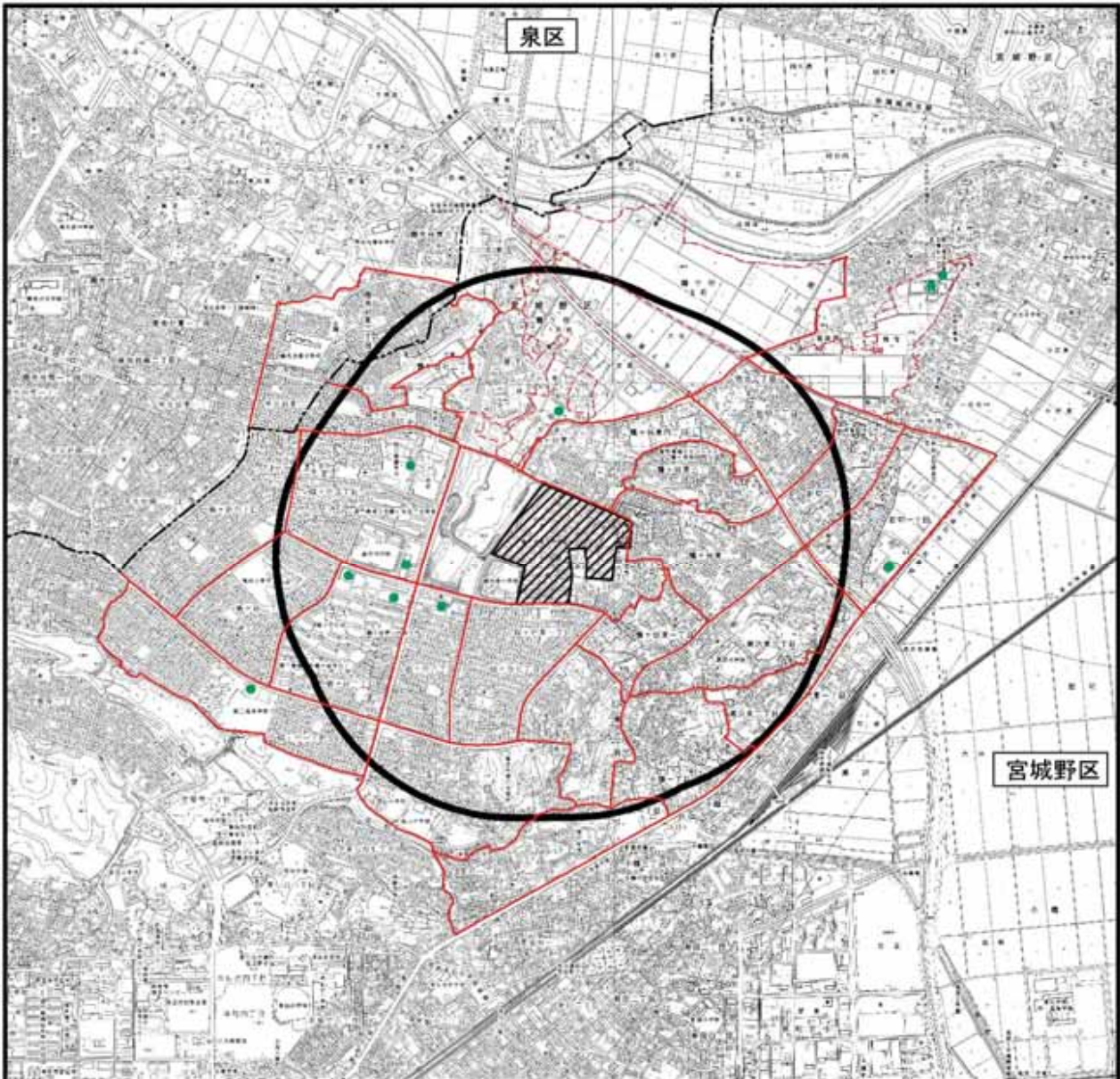
図 3.1-5 騒音規制法に基づく特定施設









S=1:25,000





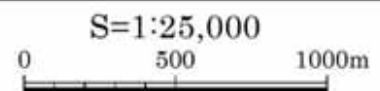


凡例

-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 宮城県公害防止条例(騒音)に基づく特定施設

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

図 3.1-6 宮城県公害防止条例（騒音）に基づく特定施設



(4) 振動

ア．振動の状況

環境振動

「公害関係資料集」(平成 28 年度測定結果)(仙台市環境局)によると、調査範囲において、環境振動の測定は行われていない。

道路交通振動

「公害関係資料集」(平成 28 年度測定結果)(仙台市環境局)によると、調査範囲において、道路交通振動の測定は行われていない。

イ．振動に係る苦情の状況

仙台市における、平成 24 年度～平成 28 年度の振動に係る苦情件数の推移は表 3.1-29、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の振動に係る苦情件数の推移は表 3.1-30に示すとおりである。

仙台市では振動の苦情件数が年間 9 件～18 件で推移しており、多賀城市では平成 26 年度、平成 27 年度を除き振動の苦情が 1 件報告されている。なお、利府町では振動に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-29 振動に係る苦情件数の経年変化(仙台市内：平成 24 年度～平成 28 年度)

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
振動	15	11	11	9	18

出典：「公害関係資料集(平成 24 年度～平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-30 振動に係る苦情件数の経年変化(多賀城市内：平成 24 年度～平成 28 年度)

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
振動	1	1	-	-	1

出典：「公害苦情調査結果報告書(平成 24 年度～平成 28 年度)」(宮城県環境生活部環境対策課)

## ウ．発生源の状況

仙台市における振動規制法に基づく特定建設作業届出状況は表 3.1-31、多賀城市及び利府町における振動規制法に基づく特定建設作業届出状況は表 3.1-32に示すとおりである。

仙台市の平成 28 年度の届出は、全 160 件のうち、工事種別ではビル等工事が 109 件（68％）を占めている。また、作業内容別ではブレーカーを使用する作業が 119 件（74％）を占めている。

また、関係地域内における振動規制法に基づく特定施設の届出があった事業場は、表 3.1-33及び図 3.1-7に示すとおりである。宮城県公害防止条例（振動）に基づく特定施設の届出があった事業場は、表 3.1-34及び図 3.1-8に示すとおりである

表 3.1-31 仙台市内の振動規制法に基づく特定建設作業届出状況（平成 28 年度）

単位：件

作業内容	工事種別	ビル等 工事	上下水道 等工事	道路河川 等工事	その他 の工事	合計
くい打機・くい抜機を使用する作業		30	1	6	3	40
鋼球を使用して建築物その他の工作物を破壊する作業		-	-	-	-	-
舗装版破砕機を使用する作業		-	-	-	1	1
ブレーカーを使用する作業		79	-	14	26	119
計		109	1	20	30	160

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-32 多賀城市及び利府町内の振動規制法に基づく特定建設作業届出状況（平成 27 年度）

単位：件

作業内容	市町村	多賀城市	利府町
くい打機・くい抜機を使用する作業		4	1
鋼球を使用して建築物その他の工作物を破壊する作業		0	0
舗装版破砕機を使用する作業		2	1
ブレーカーを使用する作業		4	5
計		10	7

※：ビル工事、上下水道等工事、等の内訳は公表されていない。

出典：「平成 27 年度 宮城県公害資料（騒音・振動・悪臭編）」（宮城県環境生活部環境対策課）

表 3.1-33 振動規制法に基づく特定施設の状況

区名	事業場所在地	事業場数	施設数	
			総数	内訳
宮城野区	鶴ヶ谷東二丁目	1	1	機械プレス：1

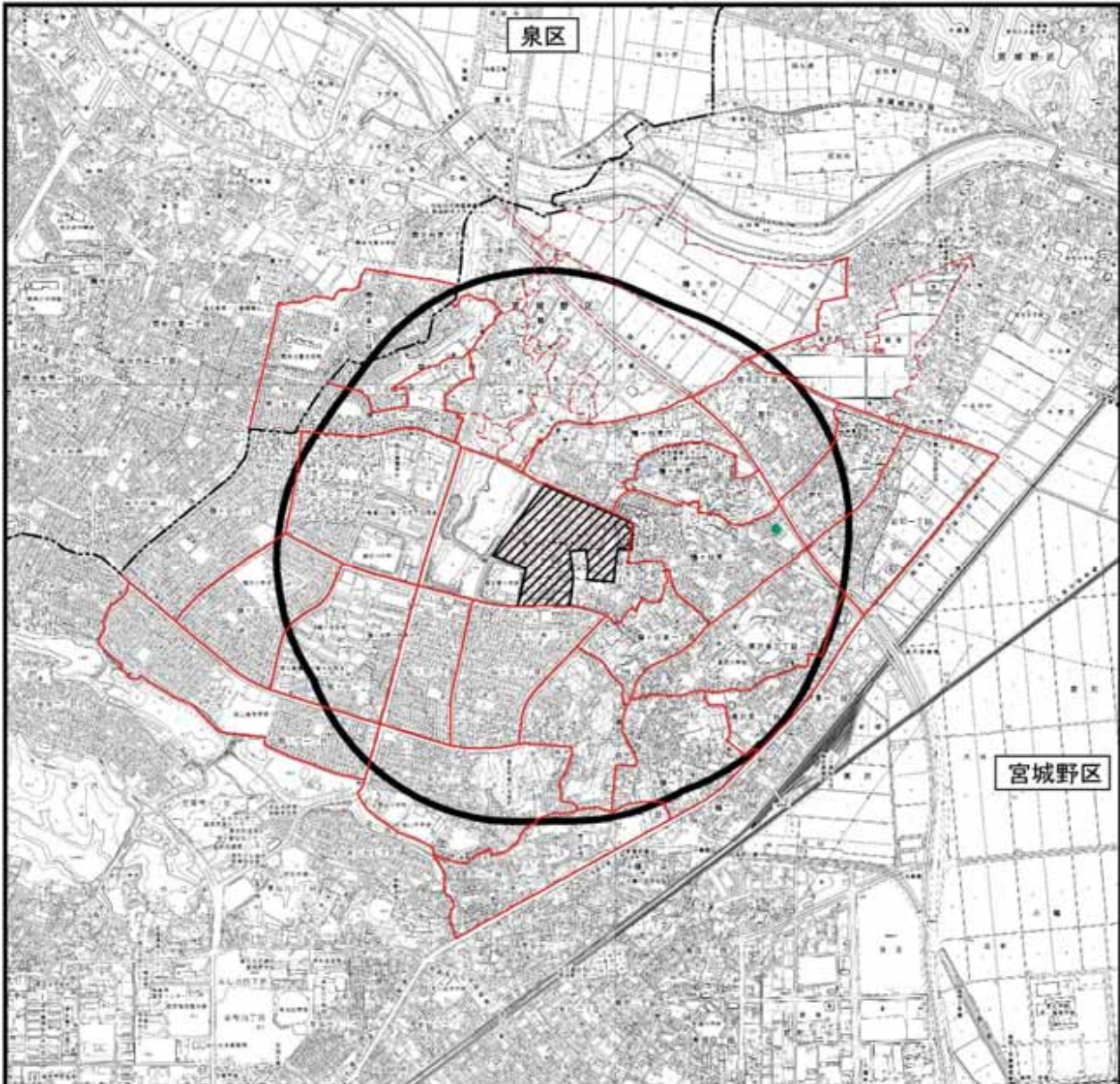
出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）

表 3.1-34 宮城県公害防止条例（振動）に基づく特定施設の状況







区名	事業場所在地	事業所数	施設数	
			総数	内訳
宮城野区	岩切一丁目	2	2	冷凍機：2
	岩切字稲荷	1	1	冷凍機：1
	鶴ヶ谷一丁目	1	1	冷凍機：1
	鶴ヶ谷二丁目	1	1	冷凍機：1
	鶴ヶ谷五丁目	4	4	冷凍機：4
	鶴ヶ谷六丁目	2	2	冷凍機：2
	鶴ヶ谷字京原	1	1	冷凍機：1
	鶴ヶ谷東四丁目	1	1	冷凍機：1

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市）





凡 例

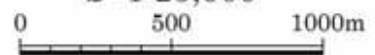
-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 振動規制法に基づく特定施設

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

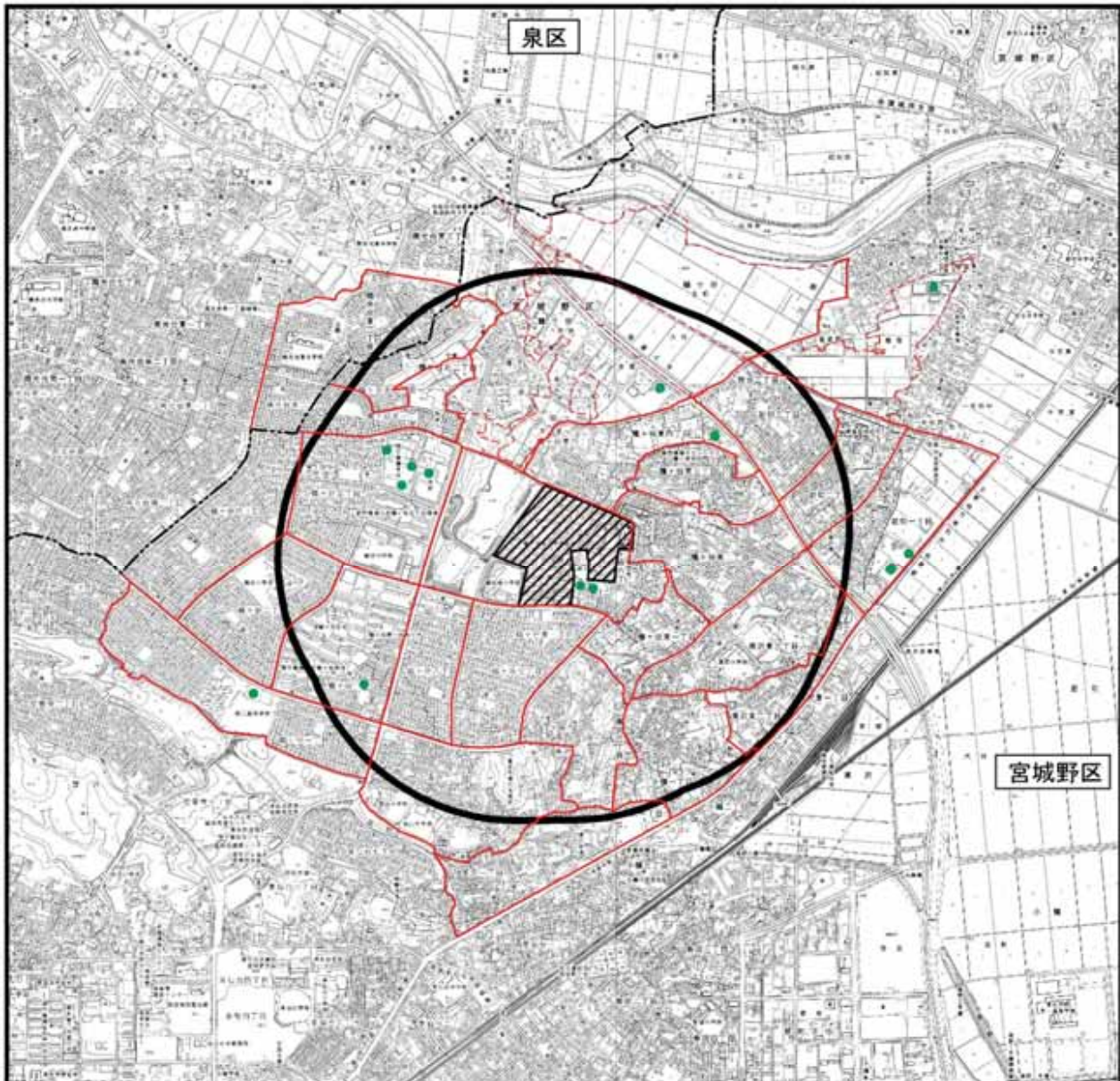
図 3.1-7 振動規制法に基づく特定施設









S=1:25,000







凡 例

-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 大字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 宮城県公害防止条例(振動)に基づく特定施設

出典：「騒音振動特定施設一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

図 3.1-8 宮城県公害防止条例（振動）に基づく特定施設



S=1:25,000  
0 500 1000m

(5) 低周波音

ア．低周波音に係る苦情の状況

仙台市における平成 24 年度～平成 28 年度の低周波音に係る苦情件数の推移は表 3.1-35、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の低周波音に係る苦情件数の推移は表 3.1-36に示すとおりである。

仙台市では、低周波音の苦情件数が平成 24 年度に 1 件、平成 28 年度に 2 件報告されている。多賀城市では、平成 24 年度に低周波音に係る苦情が 1 件報告されている。なお、利府町では、低周波音に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-35 仙台市における低周波音に係る苦情件数の経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
低周波音	1	0	0	0	2

出典：「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-36 多賀城市における低周波音に係る苦情件数の経年変化（平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
低周波音	1	0	0	0	0

出典：「公害苦情調査結果報告書（平成 24 年度～平成 28 年度）」（宮城県環境生活部環境対策課）

イ．発生源の状況

調査範囲における低周波音の発生源は、東北新幹線や JR 東北本線の高架部、「(3)騒音 ウ．発生源の状況」や「(4)振動 ウ．発生源の状況」に示す特定施設の届出のあった事業場等がある。

(6) 悪臭

ア．悪臭に係る苦情の状況

仙台市における平成 24 年度～平成 28 年度の悪臭に係る苦情件数の推移は表 3.1-37、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の悪臭に係る苦情件数の推移は表 3.1-38に示すとおりである。

仙台市では、平成 24 年度～平成 28 年度の苦情件数が年間 20～39 件で推移している。多賀城市では、平成 24 年度～平成 28 年度の苦情件数が 4～14 件で推移している。なお、利府町では、悪臭に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-37 悪臭に係る苦情件数の経年変化（仙台市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

発生源区分	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
畜産農業		-	2	1	1	-
資料・肥料製造工場		-	-	-	-	1
食料品製造工場		-	1	-	1	1
化学工場		-	-	-	-	-
その他の製造工場		2	4	-	-	3
サービス業・その他		14	6	5	5	7
移動発生源		-	-	-	-	-
建設作業現場		1	2	2	1	-
下水・用水		-	-	-	-	1
ごみ集積所		-	1	-	-	-
個人住宅・アパート・寮		8	8	7	6	2
不明		14	6	11	14	5
計		39	30	26	28	20

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-38 悪臭に係る苦情件数の経年変化（多賀城市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

発生源区分	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
悪臭		14	7	6	9	4

※：発生源区分は公表されていない。

出典：「公害苦情調査結果報告書（平成 28 年度）」（宮城県環境生活部環境対策課）

イ．発生源の状況

仙台市では、「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）によると、悪臭に係る苦情件数が多い発生源区分は表 3.1-37に示すとおり、サービス業・その他である。サービス業・その他の発生源としては廃棄物処理業、飲食店、医療機関等である。多賀城市の悪臭に係る苦情の内訳は公表されていない。なお、関係地域内では悪臭に係る特定施設はない。



### 3.1.2 水環境

#### (1) 水質

##### ア. 水質汚濁の状況

調査範囲では、計画地の北側から南側を流れる七北田川の七北田橋・今市橋・福田大橋、七北田川の支流である要害川、高柳川及び仙台川の最下流、計画地の南側を流れる梅田川の大田見橋・福田橋、梅田川の支流である高野川最下流の計 9 地点で水質測定が実施されている。また、湖沼ではひょうたん池・安養寺大堤・与兵衛沼の 3 地点で実施されている。水質調査地点は図 3.1-9 に示すとおりである。

平成 24 年度から平成 28 年度における各測定地点の測定結果は表 3.1-39～表 3.1-41 に示すとおりである。

調査結果は、生活環境影項目については、七北田橋で BOD 及び大腸菌群数、今市橋で pH、BOD、SS 及び大腸菌群数、福田大橋で BOD、SS 及び大腸菌群数、高柳川最下流で BOD 及び大腸菌群数、大田見橋で pH 及び BOD、福田橋で pH、BOD 及び SS が環境基準を満足しない月がみられる。健康項目については、全調査地点においていずれの測定項目も環境基準を満足している。

表 3.1-39(1) 河川・湖沼の水質調査結果(生活環境項目)(1/12)

河川名		七北田川					環境基準 (A)
地点名		七北田橋(No. 1)					
環境基準類型		A					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.4～8.2 (7.7)	7.1～8.1 (7.6)	7.2～8.1 (7.5)	7.1～7.7 (7.5)	7.3～7.8 (7.5)	6.5 以上 8.5 以下
DO (mg/L)		8.2～14 (11)	8.7～16 (11)	8.2～14 (11)	8.2～14 (11)	8.3～13 (11)	7.5 以上
BOD (mg/L)		<0.5～1.5 (1.1)	0.8～6.5 (2.0)	1.0～3.2 (1.8)	<0.5～5.3 (1.7)	0.7～3.9 (2.2)	2 以下
SS (mg/L)		1～19 (5)	<1～15 (5)	<1～11 (4)	1～14 (5)	1～19 (5)	25 以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		$1.7 \times 10^2 \sim$ $3.3 \times 10^4$ ( $7.8 \times 10^3$ )	$4.9 \times 10 \sim$ $7.0 \times 10^4$ ( $1.0 \times 10^4$ )	$1.3 \times 10^2 \sim$ $3.3 \times 10^4$ ( $5.0 \times 10^3$ )	$3.3 \times 10^2 \sim$ $3.3 \times 10^4$ ( $6.1 \times 10^3$ )	$4.9 \times 10^2 \sim$ $1.7 \times 10^5$ ( $3.6 \times 10^4$ )	1,000 以下

表 3.1-39(2) 河川・湖沼の水質調査結果(生活環境項目)(2/12)

河川名		七北田川					環境基準 (B)
地点名		今市橋(No. 2)					
環境基準類型		B					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.4～8.0 (7.6)	6.9～9.0 (7.6)	7.2～8.5 (7.5)	7.1～8.9 (7.7)	7.4～8.1 (7.6)	6.5 以上 8.5 以下
DO (mg/L)		8.8～13 (11)	8.0～15 (11)	8.6～13 (11)	8.4～13 (11)	8.0～13 (10)	5 以上
BOD (mg/L)		0.7～2.8 (1.5)	1.0～5.2 (2.1)	0.5～6.3 (2.0)	0.6～5.5 (2.2)	1.0～3.2 (2.0)	3 以下
SS (mg/L)		1～12 (5)	1～24 (9)	1～34 (8)	<1～37 (9)	2～70 (13)	25 以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		$4.9 \times 10^2 \sim$ $2.2 \times 10^4$ ( $6.0 \times 10^3$ )	$4.9 \times 10 \sim$ $1.7 \times 10^4$ ( $4.6 \times 10^3$ )	$1.7 \times 10^2 \sim$ $4.9 \times 10^4$ ( $1.2 \times 10^4$ )	$2.3 \times 10^2 \sim$ $7.9 \times 10^4$ ( $1.1 \times 10^4$ )	$2.4 \times 10^3 \sim$ $1.7 \times 10^5$ ( $3.1 \times 10^4$ )	5,000 以下

※1：表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

※2：環境基準欄の類型は以下のとおり(河川)。

AA…水道 1 級、自然環境保全及び A 以下の欄に掲げるもの A…水道 2 級、水産 1 級、水浴及び B 以下の欄に掲げるもの

B…水道 3 級、水産 2 級及び C 以下の欄に掲げるもの C…水産 3 級、工業用水 1 級及び D 以下の欄に掲げるもの

D…工業用水 2 級、農業用水及び E の欄に掲げるもの E…工業用水 3 級、環境保全

出典：「公害関係資料集(平成 24 年度～平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-39(3) 河川・湖沼の水質調査結果 (生活環境項目)(3/12)

河川名		七北田川					環境基準 (B)
地点名		福田大橋(No. 3)					
環境基準類型		B					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.2～8.3 (7.7)	6.9～8.4 (7.5)	7.1～8.2 (7.5)	7.0～7.7 (7.4)	7.2～7.8 (7.5)	6.5以上 8.5以下
DO (mg/L)		6.9～13 (10.0)	5.5～17 (9.9)	5.7～14 (9.7)	5.1～14 (9.6)	7.3～12 (9.7)	5以上
BOD (mg/L)		<0.5～9.9 (1.8)	0.9～16 (2.6)	0.8～3.7 (1.5)	<0.5～3.0 (1.6)	0.7～3.2 (1.5)	3以下
SS (mg/L)		2～10 (5)	1～33 (9)	1～18 (8)	1～12 (5)	2～17 (7)	25以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		3.3×10 <sup>3</sup> ～ 1.3×10 <sup>4</sup> (3.9×10 <sup>3</sup> )	2.3×10 <sup>3</sup> ～ 1.1×10 <sup>5</sup> (1.2×10 <sup>4</sup> )	1.3×10 <sup>2</sup> ～ 1.7×10 <sup>4</sup> (2.6×10 <sup>3</sup> )	4.9×10 <sup>3</sup> ～ 4.9×10 <sup>4</sup> (5.6×10 <sup>3</sup> )	3.3×10 <sup>2</sup> ～ 1.1×10 <sup>5</sup> (1.3×10 <sup>4</sup> )	5,000以下

表 3.1-39(4) 河川・湖沼の水質調査結果 (生活環境項目)(4/12)

河川名		高柳川					環境基準 (A)
地点名		高柳川最下流(No. 4)					
環境基準類型		A					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.7～8.3 (7.9)	7.3～8.5 (7.8)	7.4～7.9 (7.6)	7.3～8.2 (7.6)	7.4～7.7 (7.6)	6.5以上 8.5以下
DO (mg/L)		9.4～13 (11)	8.1～14 (11)	8.3～14 (11)	8.3～13 (10)	8.1～13 (10)	7.5以上
BOD (mg/L)		0.7～1.5 (1.0)	0.8～1.8 (1.2)	0.8～3.5 (1.4)	0.8～3.3 (1.8)	<0.5～2.9 (1.4)	2以下
SS (mg/L)		1～5 (2)	<1～6 (3)	1～9 (3)	1～5 (3)	1～9 (3)	25以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		7.9×10 <sup>3</sup> ～ 3.3×10 <sup>4</sup> (6.6×10 <sup>3</sup> )	7.9×10 <sup>3</sup> ～ 1.7×10 <sup>4</sup> (4.7×10 <sup>3</sup> )	1.3×10 <sup>2</sup> ～ 2.8×10 <sup>4</sup> (5.1×10 <sup>3</sup> )	1.7×10 <sup>2</sup> ～ 4.6×10 <sup>4</sup> (6.8×10 <sup>3</sup> )	6.3×10 <sup>3</sup> ～ 1.7×10 <sup>4</sup> (4.4×10 <sup>3</sup> )	1,000以下

表 3.1-39(5) 河川・湖沼の水質調査結果 (生活環境項目)(5/12)

河川名		仙台川				
地点名		仙台川最下流(No. 5)				
環境基準類型		-				
年度		H24	H25	H26	H27	H28
pH	最大～最小 (年平均)	7.5～8.5 (7.8)	7.4～8.1 (7.8)	7.6～8.5 (7.9)	7.6～8.6 (7.9)	7.5～8.6 (8.0)
DO (mg/L)		7.5～15 (11)	8.7～13 (11)	9.5～15 (11)	8.8～14 (11)	9.1～15 (12)
BOD (mg/L)		<0.5～2.2 (1.1)	0.5～2.3 (1.2)	<0.5～2.7 (1.0)	<0.5～1.9 (1.1)	0.6～7.1 (1.6)
SS (mg/L)		1～6 (2)	2～7 (3)	1～7 (2)	1～5 (2)	1～41 (5)
大腸菌群数 (MPN/100mL)		1.3×10 <sup>3</sup> ～ 1.7×10 <sup>5</sup> (3.2×10 <sup>4</sup> )	4.9×10 <sup>2</sup> ～ 4.9×10 <sup>4</sup> (1.9×10 <sup>4</sup> )	2.4×10 <sup>2</sup> ～ 3.3×10 <sup>4</sup> (9.3×10 <sup>3</sup> )	1.7×10 <sup>3</sup> ～ 3.1×10 <sup>4</sup> (9.0×10 <sup>3</sup> )	4.9×10 <sup>2</sup> ～ 3.3×10 <sup>4</sup> (9.8×10 <sup>3</sup> )

※1：表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

※2：環境基準欄の類型は以下のとおり（河川）。

- AA…水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの    A…水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの  
 B…水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの    C…水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの  
 D…工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの    E…工業用水3級、環境保全

出典：「公害関係資料集（平成24年度～平成28年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-39(6) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(6/12)

河川名		要害川				
地点名		要害川最下流(No. 6)				
環境基準類型		-				
年度		H24	H25	H26	H27	H28
pH	最大～最小 (年平均)	7.8～8.7 (8.2)	7.6～8.9 (8.1)	7.8～8.3 (8.0)	7.8～8.3 (8.1)	7.5～8.7 (8.1)
DO (mg/L)		8.7～16 (12)	8.7～17 (12)	9.6～15 (12)	8.8～14 (11)	8.9～15 (12)
BOD (mg/L)		0.6～2.4 (1.5)	0.5～3.2 (1.6)	0.6～2.7 (1.2)	<0.5～1.9 (1.2)	0.6～7.3 (1.9)
SS (mg/L)		1～8 (3)	1～8 (4)	1～6 (2)	<1～6 (2)	1～11 (3)
大腸菌群数 (MPN/100mL)		4.5×10 <sup>3</sup> ～ 1.7×10 <sup>5</sup> (3.5×10 <sup>4</sup> )	3.3×10 <sup>3</sup> ～ 1.7×10 <sup>5</sup> (3.0×10 <sup>4</sup> )	1.3×10 <sup>3</sup> ～ 4.9×10 <sup>4</sup> (1.2×10 <sup>4</sup> )	2.4×10 <sup>3</sup> ～ 7.9×10 <sup>4</sup> (1.9×10 <sup>4</sup> )	2.4×10 <sup>3</sup> ～ 3.5×10 <sup>5</sup> (6.0×10 <sup>4</sup> )

表 3.1-39(7) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(7/12)

河川名		梅田川					環境基準 (C)
地点名		大田見橋(No. 7)					
環境基準類型		C					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.6～8.4 (7.9)	7.4～8.8 (7.9)	7.4～8.6 (7.8)	7.5～8.5 (7.8)	7.4～8.1 (7.7)	6.5以上 8.5以下
DO (mg/L)		6.8～14 (11)	8.4～15 (12)	8.6～15 (11)	8.8～14 (11)	8.5～14 (11)	5以上
BOD (mg/L)		<0.5～2.3 (0.9)	0.5～1.7 (1.0)	<0.5～3.9 (1.2)	<0.5～5.7 (1.3)	<0.5～4.4 (1.1)	5以下
SS (mg/L)		<1～7 (2)	1～7 (3)	<1～7 (2)	<1～8 (3)	<1～11 (4)	50以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		4.9×10 <sup>2</sup> ～ 3.5×10 <sup>5</sup> (6.8×10 <sup>4</sup> )	1.3×10 <sup>2</sup> ～ 7.0×10 <sup>4</sup> (1.2×10 <sup>4</sup> )	1.7×10 <sup>2</sup> ～ 7.9×10 <sup>4</sup> (1.5×10 <sup>4</sup> )	4.9×10 <sup>2</sup> ～ 9.2×10 <sup>5</sup> (8.7×10 <sup>4</sup> )	1.3×10 <sup>2</sup> ～ 1.4×10 <sup>5</sup> (2.1×10 <sup>4</sup> )	-

表 3.1-39(8) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(8/12)

河川名		梅田川					環境基準 (C)
地点名		福田橋(No. 8)					
環境基準類型		C					
年度		H24	H25	H26	H27	H28	
pH	最大～最小 (年平均)	7.3～8.6 (7.7)	7.2～7.9 (7.6)	7.3～7.8 (7.5)	7.3～7.8 (7.5)	7.3～7.8 (7.5)	6.5以上 8.5以下
DO (mg/L)		5.8～14 (9.4)	6.1～12 (9.0)	5.9～13 (9.3)	5.5～13 (9.1)	6.5～12 (9.1)	5以上
BOD (mg/L)		0.6～9.3 (2.2)	0.8～3.9 (1.9)	0.8～3.9 (1.6)	0.5～4.4 (1.8)	0.6～3.7 (1.7)	5以下
SS (mg/L)		3～20 (10)	3～83 (16)	2～54 (11)	2～140 (18)	3～230 (19)	50以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)		1.3×10 <sup>2</sup> ～ 1.6×10 <sup>6</sup> (8.2×10 <sup>4</sup> )	3.3×10 <sup>2</sup> ～ 9.4×10 <sup>4</sup> (1.9×10 <sup>4</sup> )	2.8×10 <sup>2</sup> ～ 2.4×10 <sup>5</sup> (3.0×10 <sup>4</sup> )	7.9×10 <sup>2</sup> ～ 9.2×10 <sup>5</sup> (9.0×10 <sup>4</sup> )	2.2×10 <sup>2</sup> ～ 2.8×10 <sup>5</sup> (3.1×10 <sup>4</sup> )	-

※1：表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

※2：環境基準欄の類型は以下のとおり（河川）。

- AA…水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの    A…水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの  
 B…水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの    C…水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの  
 D…工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの    E…工業用水3級、環境保全

出典：「公害関係資料集（平成24年度～平成28年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-39(9) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(9/12)

河川名	高野川					
地点名	高野川最下流(No. 9)					
環境基準類型	-					
年度	H24	H25	H26	H27	H28	
pH	7.3~7.7 (7.5)	7.2~7.7 (7.5)	7.3~7.6 (7.4)	7.3~7.6 (7.5)	7.3~7.9 (7.5)	
DO (mg/L)	3.5~11 (7.8)	5.9~12 (8.7)	5.9~12 (8.9)	5.9~12 (8.9)	6.7~13 (9.6)	
BOD (mg/L)	<0.5~1.7 (1.0)	0.6~3.5 (1.4)	<0.5~3.5 (1.5)	0.6~4.3 (1.8)	0.7~2.5 (1.2)	
SS (mg/L)	1~21 (10)	2~51 (16)	2~78 (14)	4~43 (15)	2~100 (19)	
大腸菌群数 (MPN/100mL)	4.9×10 <sup>2</sup> ~ 3.3×10 <sup>4</sup> (1.1×10 <sup>4</sup> )	3.3×10 <sup>2</sup> ~ 7.9×10 <sup>4</sup> (1.4×10 <sup>4</sup> )	3.3×10 <sup>2</sup> ~ 7.9×10 <sup>4</sup> (1.6×10 <sup>4</sup> )	4.6×10 <sup>2</sup> ~ 4.9×10 <sup>4</sup> (1.6×10 <sup>4</sup> )	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 7.9×10 <sup>4</sup> (1.6×10 <sup>4</sup> )	

表 3.1-39(10) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(10/12)

河川名	ひょうたん池					
地点名	ひょうたん池出口(No. 10)					
環境基準類型	-					
年度	H24	H25	H26	H27	H28	
pH	7.1~7.8 (7.5)	-	-	-	-	
DO (mg/L)	2.1~11 (8.5)	-	-	-	-	
COD (mg/L)	7.1~9.9 (8.1)	-	-	-	-	
SS (mg/L)	5~14 (10)	-	-	-	-	
大腸菌群数 (MPN/100mL)	7.0×10~ 1.7×10 <sup>4</sup> (4.5×10 <sup>3</sup> )	-	-	-	-	

表 3.1-39(11) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(11/12)

河川名	安養寺大堤					
地点名	安養寺大堤池出口(No. 11)					
環境基準類型	-					
年度	H24	H25	H26	H27	H28	
pH	7.6~7.9 (7.7)	-	-	-	-	
DO (mg/L)	7.6~11 (9.4)	-	-	-	-	
COD (mg/L)	7.2~19 (11)	-	-	-	-	
SS (mg/L)	14~33 (20)	-	-	-	-	
大腸菌群数 (MPN/100mL)	2.4×10 <sup>2</sup> ~ 4.9×10 <sup>3</sup> (2.0×10 <sup>3</sup> )	-	-	-	-	

※：上記表に記載の調査地点において、環境基準の類型指定はされていない。

出典：「公害関係資料集（平成24年度～平成28年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-39(12) 河川・湖沼の水質調査結果（生活環境項目）(12/12)

河川名	与兵衛沼				
地点名	与兵衛沼池出口(No. 12)				
環境基準類型	-				
年度	H24	H25	H26	H27	H28
pH	7.4~7.9 (7.7)	-	-	-	-
DO (mg/L)	7.9~14 (10)	-	-	-	-
BOD (mg/L)	8.9~28 (15)	-	-	-	-
SS (mg/L)	7~58 (26)	-	-	-	-
大腸菌群数 (MPN/100mL)	7.9×10~ 2.5×10 <sup>3</sup> (9.3×10 <sup>2</sup> )	-	-	-	-

※：上記表に記載の調査地点において、環境基準の類型指定はされていない。

出典：「公害関係資料集（平成24年度～平成28年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-40(1) 水質測定結果 (健康項目) (1/6)

項目	河川名		七北田川							環境基準
	測定地点		七北田橋(No.1)							
	年度		H24		H25			H26		
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	0.008	0.006	<0.005	0.008	0.005	<0.005	0.005	0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロ メタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03mg/L 以下
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.36	1.00	0.69	0.33	0.81	0.53	0.34	0.73	0.48	10mg/L 以下
フッ素	<0.08	0.09	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下
ホウ素	0.11	0.14	0.13	0.1	0.17	0.15	0.08	0.19	0.13	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

※: 「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典: 「公害関係資料集」(平成24年度~平成28年度測定結果)(仙台市環境局)

表 3.1-40(2) 水質測定結果 (健康項目)(2/6)

項目	河川名 測定地点 年度		七北田川				環境基準
			七北田橋(No.1)				
			H27		H28		
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	0.006	0.005	<0.005	0.005	0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロ エチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/L 以下
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.21	0.71	0.42	0.24	0.60	0.42	10mg/L 以下
フッ素	<0.08	0.09	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下
ホウ素	0.14	0.23	0.19	0.11	0.20	0.15	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

※：「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典：「公害関係資料集」(平成24年度～平成28年度測定結果)(仙台市環境局)

表 3.1-40(3) 水質測定結果 (健康項目) (3/6)

項目	河川名		七北田川							環境基準
	測定地点		福田大橋(No. 3)							
	年度		H24		H25			H26		
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03mg/L 以下
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/ L以下
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.35	0.87	0.58	0.091	0.89	0.59	0.067	0.85	0.59	10mg/L 以下
フッ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8mg/L 以下
ホウ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

※：「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典：「公害関係資料集」(平成24年度～平成28年度測定結果)(仙台市環境局)



表 3.1-40(4) 水質測定結果 (健康項目)(4/6)

項目	河川名 測定地点 年度		七北田川				環境基準
			福田大橋(No.3)				
			H27		H28		
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロ エチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/L 以下
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	<0.015	1.0	0.54	0.30	1.0	0.67	10mg/L 以下
フッ素	-	-	-	-	-	-	0.8mg/L 以下
ホウ素	-	-	-	-	-	-	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

※：「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典：「公害関係資料集」(平成24年度～平成28年度測定結果)(仙台市環境局)

表 3.1-40(5) 水質測定結果 (健康項目) (5/6)

項目	河川名		梅田川							環境基準		
	測定地点		福田橋 (No. 8)									
	年度		H24			H25			H26			
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値			
カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下		
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと		
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下		
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下		
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下		
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下		
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと		
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと		
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下		
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下		
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下		
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下		
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下		
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下		
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下		
トリクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03mg/L 以下		
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下		
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下		
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下		
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下		
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下		
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下		
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下		
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.13	0.95	0.40	0.20	1.70	0.77	0.25	1.70	0.64	10mg/L 以下		
フッ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8mg/L 以下		
ホウ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1mg/L 以下		
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下		

※: 「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典: 「公害関係資料集」 (平成24年度～平成28年度測定結果) (仙台市環境局)

表 3.1-40(6) 水質測定結果 (健康項目)(6/6)

項目	河川名 測定地点 年度		梅田川				環境基準
	福田橋(No. 8)						
	H27			H28			
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロ エタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロ エチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジ クロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリ クロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリ クロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロ エチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/L 以下
テトラクロロ エチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロ プロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チラウム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.25	1.4	0.66	0.10	2.2	0.53	10mg/L 以下
フッ素	-	-	-	-	-	-	0.8mg/L 以下
ホウ素	-	-	-	-	-	-	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

※：「ND」とは定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

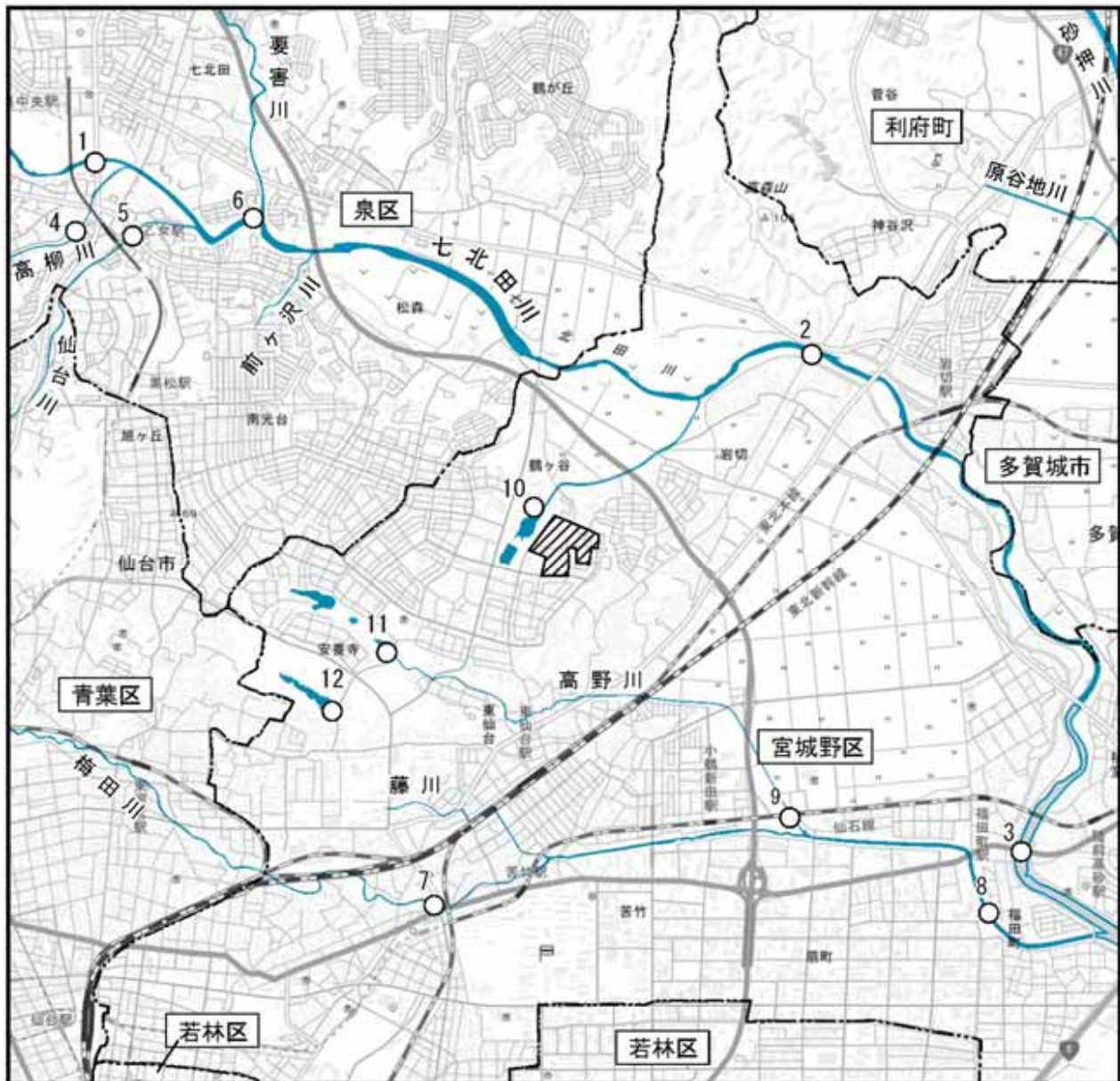
全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典：「公害関係資料集」(平成24年度～平成28年度測定結果)(仙台市環境局)


表 3.1-41 水質測定結果（健康項目-亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素）

年度 測定 地点	H24			H25			H26			H27			H28		
	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値
今市橋 (No. 2)	0.44	0.85	0.63	0.015	1.0	0.66	0.27	0.74	0.55	<0.015	0.96	0.49	0.46	1.0	0.64
高柳川 最下流 (No. 4)	0.085	0.73	0.40	0.055	0.68	0.48	0.17	0.67	0.46	0.075	1.0	0.58	0.26	0.53	0.36
仙台川 最下流 (No. 5)	<0.015	0.75	0.42	0.035	1.1	0.51	0.15	0.74	0.47	0.015	0.62	0.29	<0.015	0.82	0.33
要害川 最下流 (No. 6)	0.092	0.94	0.60	0.028	1.2	0.68	0.50	0.82	0.65	0.27	0.75	0.56	0.22	0.84	0.61
大田見橋 (No. 7)	0.18	0.50	0.35	0.035	0.86	0.40	0.24	0.50	0.37	0.065	0.60	0.27	0.075	0.80	0.33
高野川 最下流 (No. 9)	0.095	1.3	0.49	0.46	2.2	0.98	0.44	1.0	0.73	0.37	1.0	0.71	0.015	1.4	0.58
ひょうた ん池出口 (No. 10)	<0.015	0.53	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安養寺大 堤池出口 (No. 11)	<0.015	0.085	0.033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
与兵衛沼 出口 (No. 12)	<0.015	0.15	0.054	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-


出典：「公害関係資料集」（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）（仙台市環境局）



凡 例

 : 計画地

----- : 市区町界

 : 河川・湖沼

○ : 水質調査地点 (図中番号: 1~12)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| No. 1 : 七北田橋   | No. 7 : 大田見橋      |
| No. 2 : 今市橋    | No. 8 : 福田橋       |
| No. 3 : 福田大橋   | No. 9 : 高野川最下流    |
| No. 4 : 高柳川最下流 | No. 10 : ひょうたん池出口 |
| No. 5 : 仙台川最下流 | No. 11 : 安養寺大堤池出口 |
| No. 6 : 要害川最下流 | No. 12 : 与兵衛沼池出口  |

出典: 「公害関係資料集」(平成24年度~平成28年度測定結果)(仙台市環境局)

図 3.1-9 水質調査地点位置図



S=1:50,000

0 1250 2500m

## イ．水質に係る苦情の状況

仙台市における平成 24 年度～平成 28 年度の水質に係る苦情件数の推移は表 3.1-42、多賀城市における平成 24 年度～平成 28 年度の水質に係る苦情件数の推移は表 3.1-43に示すとおりである。

仙台市では水質の苦情件数が年間 1 件～6 件で推移しており、多賀城市では年間 0 件～3 件で推移している。なお、利府町では水質汚濁に係る苦情は報告されていない。

表 3.1-42 水質に係る苦情件数の経年変化（仙台市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
水質	1	0	1	2	6

出典：「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-43 水質に係る苦情件数の経年変化（多賀城市内：平成 24 年度～平成 28 年度）

単位：件

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
水質	3	1	0	1	0

出典：「公害苦情調査結果報告書（平成 24 年度～平成 28 年度）」（宮城県環境生活部環境対策課）

## ウ．発生源の状況

関係地域内での水質汚濁防止法による特定施設及びその位置図は、表 3.1-44及び図 3.1-10に示すとおりである。また、関係地域内での下水道法による特定施設及びその位置図は、表 3.1-45及び図 3.1-11に示すとおりである。

表 3.1-44 水質汚濁防止法による特定施設

No.	施設名称	施設数
23の2(イ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ) 自動式フィルム現像洗浄施設	1
66の3	旅館業（旅館業法（昭和二十三年法律第百三十八号）第2条第1項に規定するもの（下宿営業を除く。）をいう。）の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ) ちゅう房施設 (ロ) 洗濯施設 (ハ) 入浴施設	2
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	1
68の2 (イ) (ロ) (ハ)	病院（医療法（昭和二十三年法律第二百五号）第1条の5第1項に規定するものをいう。以下同じ。）で病床数が300以上であるものに設置される施設であつて、次に掲げるもの (イ) ちゅう房施設 (ロ) 洗浄施設 (ハ) 入浴施設	1
71	自動式車両洗浄施設	5
71の2(イ)	科学技術（人文科学のみに係るものを除く。）に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるものに設置されるそれらの業務の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ) 洗浄施設 (ロ) 焼入れ施設	1
計		11

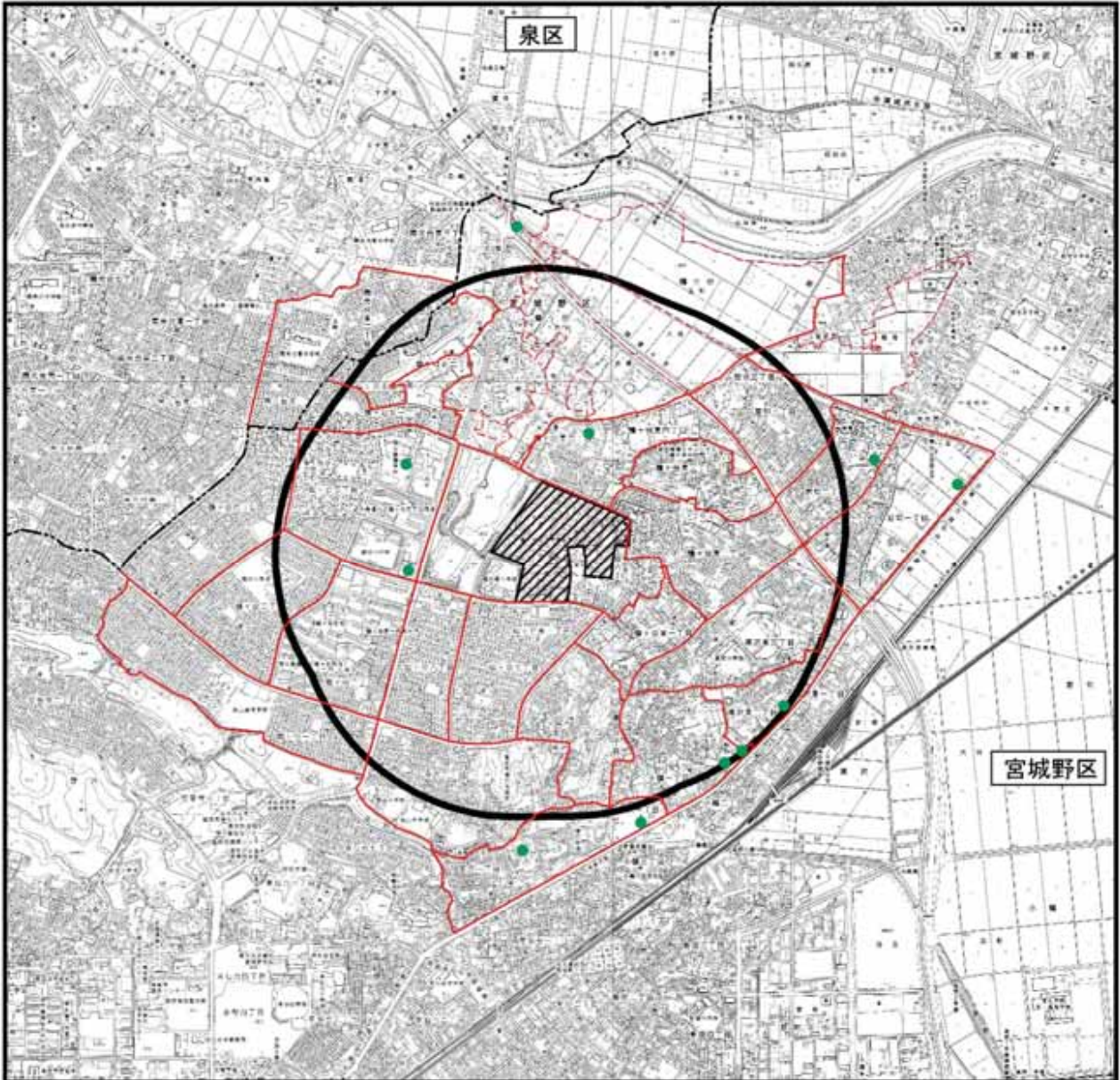
出典：「水質汚濁防止法に基づく特定施設届出一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

表 3.1-45 下水道法による特定施設







No.	施設名称	施設数
23 の 2 (イ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業で次に掲げるもの (イ)自動式フィルム現像洗浄施設	1
66 の 5	総床面積が 360m <sup>2</sup> 以上の弁当仕出屋又は弁当製造業の用に供するちゅう房施設	1
66 の 6	総床面積が 420m <sup>2</sup> 以上の飲食店(66 の 7 及び 66 の 8 に掲げるものを除く)に設置されるちゅう房施設	1
67	洗たく業の用に供する洗浄施設	2
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	1
68 の 2 (イ) (ロ) (ハ)	病院(医療法(昭和 23 年法律第 205 号)第 1 条の 5 第 1 項に規定するものをいう)で病床数が 300 以上であるもの (イ)ちゅう房施設 (ロ)洗浄施設 (ハ)入浴施設	1
71	自動式車両洗浄施設	2
71 の 2 (イ)	科学技術(人文科学のみに係るものを除く)に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う以下の 1～13 の事業場に設置されるそれらの業務の用に供する施設であって、次に掲げるもの (イ)洗浄施設 (ロ)焼入れ施設  1. 国又は地方公共団体の試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 2. 大学及びその附属試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 3. 学術研究(人文科学のみに係るものを除く)又は製品の製造若しくは技術の改良、考案、若しくは発明に係る試験研究を行う研究所(1・2 に該当するものを除く) 4. 農業・水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校、職員訓練施設又は職業訓練施設 5. 保健所 6. 検疫所 7. 動物検疫所 8. 植物検疫所 9. 家畜保健衛生所 10. 検査業に属する事業場 11. 商品検査業に属する事業場 12. 臨床検査業に属する事業場 13. 犯罪鑑識施設	1
計		10

出典：「下水道法に基づく特定施設届出一覧」(平成 30 年 3 月 31 日現在 仙台市)





凡 例

-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 水質汚濁防止法に基づく特定施設

出典：「水質汚濁防止法に基づく特定施設届出一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

図 3.1-10 水質汚濁防止法に基づく特定施設

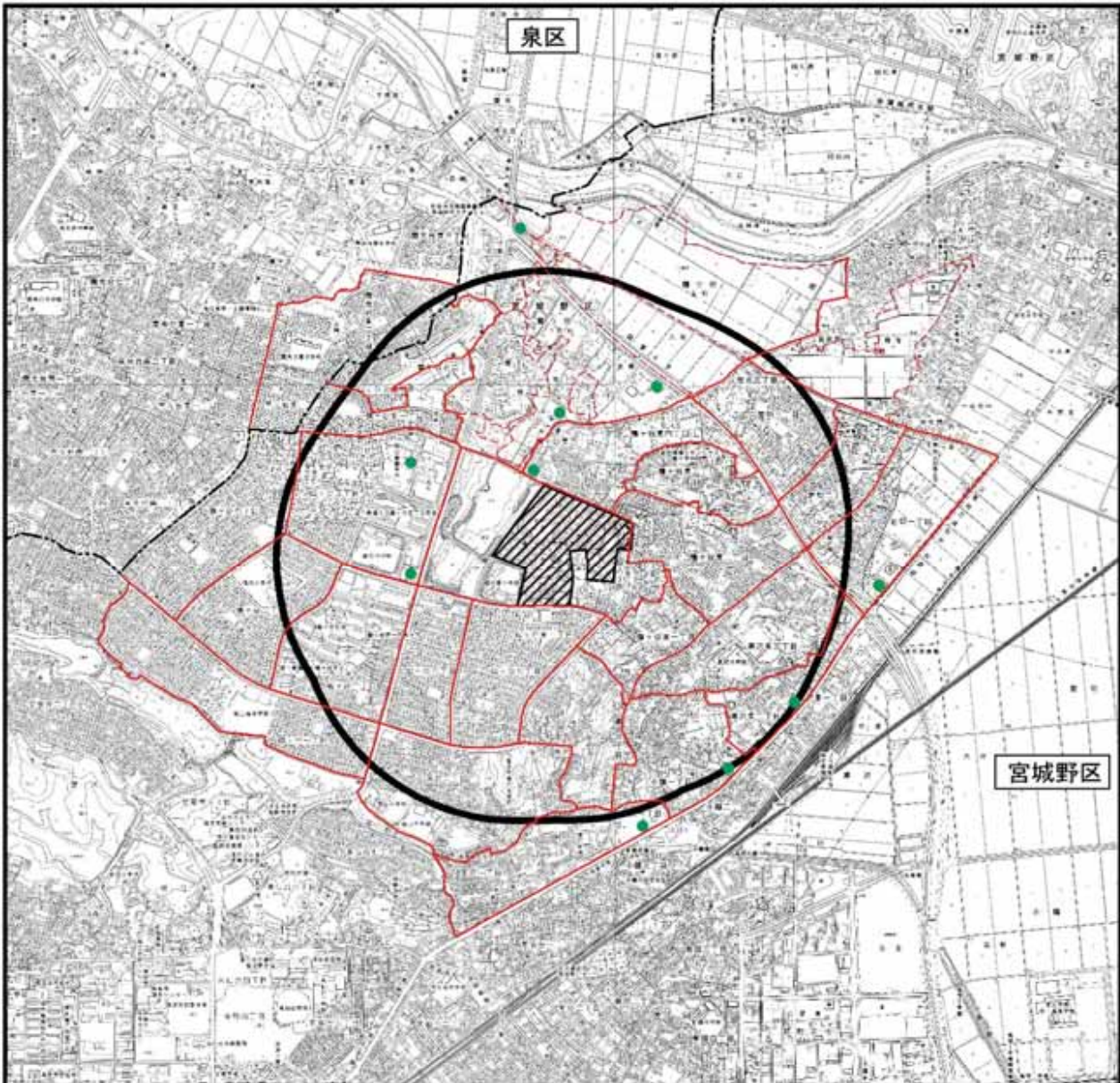


S=1:25,000







0 500 1000m

E





凡 例

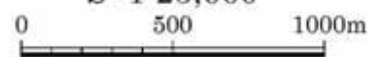
-  : 計画地
-  : 区界
-  : 大字界
-  : 小字界
-  : 関係地域の範囲(800m)
-  : 下水道法に基づく特定施設

出典：「下水道法に基づく特定施設届出一覧」（平成30年3月31日現在 仙台市）

図 3.1-11 下水道法に基づく特定施設



S=1:25,000



(2) 底質

ア．底質の状況

調査範囲において、前掲図 3.1-9に示す水質調査地点のうち、福田大橋、福田橋の 2 地点で底質調査及び底質のダイオキシン類監視調査が実施されている。平成 28 年度における河川の底質調査結果は表 3.1-46、底質のダイオキシン類監視結果は表 3.1-47に示すとおりである。

底質のダイオキシン類は、環境基準を満足している。

表 3.1-46 河川の底質調査結果（平成 28 年度）

水域名・地点名		七北田川	梅田川
		福田大橋	福田橋
pH	H <sub>2</sub> O	7.3	7.2
	KCl	6.0	6.0
COD	(mg/kg)	<2000	<2000
n-ヘキサン抽出物質	(mg/kg)	<25	89
全窒素	(mg/kg)	66	87
全リン	(mg/kg)	150	150
カドミウム	(mg/kg)	<0.05	<0.05
鉛	(mg/kg)	2.8	4
砒素	(mg/kg)	2.6	3.2
総水銀	(mg/kg)	<0.01	0.01
全クロム	(mg/kg)	4	6
硫化物	(mg/kg)	<20	25

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

表 3.1-47 底質のダイオキシン類監視結果（平成 28 年度）

水域名・地点名		七北田川	梅田川
		福田大橋	福田橋
ダイオキシン類	(pg-TEQ/g)	0.26	0.34
環境基準	(pg-TEQ/g)	150 以下	

イ．発生源の状況

調査範囲において、水質汚濁防止法・下水道法による届出が出されている特定施設は「3.1.2 水環境 (1)水質」に示すとおりである。また、土壤汚染対策法に基づく要措置区域並びに形質変更時要届出区域に指定されている箇所は「3.1.3 土壤環境 (3)土壤汚染」に示すとおりである。

### (3) 地下水汚染

#### ア．地下水汚染の状況

「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）によると、調査範囲では、地下水概況調査（環境基準項目及び要監視項目）が 11 箇所、地下水概況調査（環境基準項目）が 19 箇所、ダイオキシン類に関する地下水水質調査が 7 箇所、地下水継続監視調査が 26 箇所を実施されている。

平成 24 年度～平成 28 年度における各測定地点の測定結果は表 3.1-48～表 3.1-51、地下水水質調査位置（三次メッシュコード）は図 3.1-12に示すとおりである。なお、平成 28 年度における地下水調査位置は二次メッシュコードによる表記となり、調査範囲すべてが「5740-37」に含まれる。

平成 28 年度の調査結果から、調査範囲が含まれる「5740-37」で環境基準を満足しなかった項目及び地点数は、地下水概況調査において砒素が宮城野区の 1 箇所であり、地下水継続監視調査において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が宮城野区の 2 箇所、砒素が宮城野区の 1 箇所、ふっ素が泉区の 1 箇所である。また、要監視項目の指針値を超過した項目及び地点数は、地下水概況調査において全マンガンが宮城野区の 1 箇所であった。なお、計画地が含まれる宮城野区(5740-37-43)では、平成 26 年度に地下水概況調査（環境基準項目）が実施されており、環境基準値を超過した項目はない。

表 3.1-48(1) 地下水概況調査結果 (環境基準項目・要監視項目)(1/2)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区	宮城野区	宮城野区	泉区	宮城野区		
		5740-37-55	5740-37-07	5740-37-07	5740-37-70	5740-37-02		
		H24. 12. 20	H24. 12. 21	H25. 10. 30	H25. 10. 28	H26. 11. 11		
調査項目・基準値、指針値 <sup>※2</sup>								
水温		-	12.8	13.1	15.0	16.3	18.0	
pH		-	6.9	7.8	8.2	6.9	7.8	
環境基準項目	カドミウム	0.003mg/L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.001	
	全シアン	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	
	鉛	0.01mg/L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	六価クロム	0.05mg/L 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	砒素	0.01mg/L 以下	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005	
	総水銀	0.0005mg/L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	
	PCB	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	
	ジクロロメタン	0.02mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素	0.002mg/L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L 以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン	0.03mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム	0.006mg/L 以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン	0.003mg/L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ	0.02mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン	0.01mg/L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン	0.01mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L 以下	3.9	0.035	0.035	1.8	0.17	
	ふっ素	0.8mg/L 以下	0.17	0.20	0.14	<0.08	<0.08	
	ほう素	1mg/L 以下	0.04	0.13	0.11	0.01	0.02	
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	要監視項目	クロロホルム	0.06mg/L 以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		1,2-ジクロロプロパン	0.06mg/L 以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		p-ジクロロベンゼン	0.2mg/L 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		イソキサチオン	0.008mg/L 以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
		ダイアジノン	0.005mg/L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
フェントロチオン(MEP)		0.003mg/L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
イソプロチオラン		0.04mg/L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
オキシ銅(有機銅)		0.04mg/L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
クロタロニル(TPN)		0.05mg/L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
プロピサミド		0.008mg/L 以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	
EPN		0.006 mg/L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ジクロロボス(DDVP)		0.008mg/L 以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	
フェノブカルブ(BPMC)		0.03mg/L 以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
イプロベンホス(IPB)		0.008mg/L 以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	
クロルニトロフェン(CNP)		-	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.001	
トルエン		0.6mg/L 以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	
キシレン		0.4mg/L 以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
フタル酸ジエチルヘキシル		0.06mg/L 以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
ニッケル		-	0.008	0.001	<0.001	0.002	<0.001	
モリブデン		0.07mg/L 以下	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	
アンチモン		0.02mg/L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
エピクロロヒドリン		0.0004 mg/L 以下	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004	
全マンガン		0.2mg/L 以下	<0.02	0.03	0.03	<0.02	<0.02	
ウラン		0.002mg/L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	

※1: 「単位: mg/L」は水温(℃)、pHを除く。

※2: 環境基準項目については基準値、要監視項目については指針値である。

※3: 「ND」とは、定量下限値未満を示す。定量下限値は次の通り。全シアン(0.1mg/L)、アルキル水銀(0.0005mg/L)、PCB(0.0005mg/L)

出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-48(2) 地下水概況調査結果 (環境基準項目・要監視項目) (2/2)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区	泉区	泉区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	
		5740-37-07	5740-37-63	5740-37-80	5740-37-26	5740-37	5740-37	
		H26. 11. 12	H26. 11. 10	H26. 11. 10	H27. 11. 12	H28. 11. 9	H28. 11. 9	
調査項目・基準値、指針値 <sup>※2</sup>								
水温		-	14.1	16.0	15.8	15.4	15.0	15.9
pH		-	7.9	8.9	9.4	7.6	8.3	6.5
環境基準項目	カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	全シアン	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	<0.1	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>
	鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム	0.05mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素	0.01mg/L以下	0.009	<0.005	0.013	<0.005	<0.005	<0.005
	総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	<0.0005	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>
	PCB	検出されないこと	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>	<0.0005	ND <sup>※3</sup>	ND <sup>※3</sup>
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	0.025	<0.015	0.035	<0.015	<0.015	3.5
	ふっ素	0.8mg/L以下	0.23	0.09	0.21	0.10	0.09	<0.08
	ほう素	1mg/L以下	0.14	0.02	0.74	0.04	0.02	0.04
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
要監視項目	クロロホルム	0.06mg/L以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	1,2-ジクロロプロパン	0.06mg/L以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	p-ジクロロベンゼン	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	イソキサチオン	0.008mg/L以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	ダイアジノン	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	フェントロチオン(MEP)	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	イソプロチオラン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	オキシ銅(有機銅)	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	クロタロニル(TPN)	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	プロピサミド	0.008mg/L以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	EPN	0.006 mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ジクロルボス(DDVP)	0.008mg/L以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	フェノブカルブ(BPMC)	0.03mg/L以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	イプロベンホス(IPB)	0.008mg/L以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	クロルニトロフェン(CNP)	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トルエン	0.6mg/L以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	キシレン	0.4mg/L以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	フタル酸ジエチルヘキシル	0.06mg/L以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	ニッケル	-	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
	モリブデン	0.07mg/L以下	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
	アンチモン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	エビクロロヒドリン	0.0004 mg/L以下	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004
	全マンガン	0.2mg/L以下	0.03	<0.02	<0.02	0.21	0.34	<0.02
	ウラン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

※1: 「単位: mg/L」は水温(℃)、pHを除く。

※2: 環境基準項目については基準値、要監視項目については指針値である。

※3: 「ND」とは、定量下限値未満を示す。定量下限値は次の通り。全シアン(0.1mg/L)、アルキル水銀(0.0005mg/L)、PCB(0.0005mg/L)

※4: 表の網掛けされた箇所は、環境基準項目は環境基準を満足しなかったこと、要監視項目は指針値を超過したことを示す。

出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-49(1) 地下水概況調査結果(環境基準項目)(1/3)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	泉区	泉区	泉区	
		5740-37-02	5740-37-11	5740-37-33	5740-37-66	5740-37-74	5740-37-80	5740-37-82	
		H25. 1. 15	H25. 1. 24	H25. 1. 15	H25. 1. 15	H25. 1. 15	H25. 1. 15	H25. 1. 15	
調査項目・基準値									
水温	-	-	-	9.8	-	10.0	-	1.6	
pH	-	7.0	6.5	6.7	6.7	7.8	6.8	9.1	
環境基準項目	カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	全シアン	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	
	鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	0.087	<0.005	<0.005	<0.005	
	六価クロム	0.05mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	砒素	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	<0.005	
	総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	
	PCB	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	3.1	5.3	0.23	2.1	<0.015	2.1	0.09
	ふっ素	0.8mg/L以下	<0.08	<0.08	<0.08	0.14	0.09	<0.08	0.44
	ほう素	1mg/L以下	0.03	0.08	0.01	0.04	<0.01	0.01	0.15
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

※1: 「単位: mg/L」は水温(℃)、pHを除く。

※2: 「ND」とは、定量下限値未達を示す。定量下限値は次の通り。全シアン(0.1mg/L)、アルキル水銀(0.0005mg/L)、PCB(0.0005mg/L)

※3: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)



表 3.1-49(2) 地下水概況調査結果 (環境基準項目)(2/3)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		青葉区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区
		5740-37-21	5740-37-37	5740-37-43	5740-37-55	5740-37-65	5740-37-66
		H26. 1. 28	H27. 1. 13	H27. 1. 13	H27. 1. 13	H27. 1. 13	H27. 1. 14
調査項目・基準値							
水温	-	4.0	10.5	11.0	11.0	11.0	11.7
pH	-	7.0	6.8	6.1	7.5	7.7	7.1
環境基準項目	カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	全シアン	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>
	鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム	0.05mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	-	-	-	-
	PCB	検出されないこと	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※2</sup>
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	3.3	6.7	2.2	1.4	0.36	
ふっ素	0.8mg/L以下	0.12	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	
ほう素	1mg/L以下	0.07	0.02	<0.02	0.06	<0.02	
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pHを除く。

※2: 「ND」とは、定量下限値未満を示す。定量下限値は次の通り。全シアン (0.1mg/L)、アルキル水銀 (0.0005mg/L)、PCB (0.0005mg/L)

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度～平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-49(3) 地下水概況調査結果 (環境基準項目)(3/3)

単位: mg/L

区・メッシュコード・調査日		泉区	若林区	宮城野区	青葉区	宮城野区	宮城野区	
		5740-37-90	5740-37-06	5740-37-07	5740-37	5740-37	5740-37	
		H27. 1. 14	H27. 11. 26	H27. 11. 26	H28. 10. 24	H28. 10. 24	H28. 10. 24	
水温	-	14.8	15.2	15.3	14.9	17.2	15.5	
pH	-	8.9	7.8	7.6	7.2	6.4	7.8	
環境基準項目	カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	全シアン	検出されないこと	ND	<0.1	<0.1	ND	ND	ND
	鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム	0.05mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	0.011	<0.005	<0.005	0.011
	総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	検出されないこと	-	-	-	ND	ND	ND
	PCB	検出されないこと	ND	<0.0005	<0.0005	ND	ND	ND
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	0.042	<0.015	<0.015	0.54	0.82	<0.015
	ふっ素	0.8mg/L以下	1.7	<0.08	0.20	<0.08	<0.08	0.24
	ほう素	1mg/L以下	0.82	0.03	0.10	0.02	<0.02	0.11
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

※1: 「単位: mg/L」は水温(℃)、pHを除く。

※2: 「ND」とは、定量下限値未達を示す。定量下限値は次の通り。全シアン(0.1mg/L)、アルキル水銀(0.0005mg/L)、PCB(0.0005mg/L)

※3: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-50 ダイオキシン類に関する地下水水質調査結果

単位: pg-TEQ/L

区・メッシュコード・調査日		宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	泉区	宮城野区
		5740-37-07	5740-37-55	5740-37-07	5740-37-02	5740-37-07	5740-37-63	5740-37
		H24. 12. 21	H24. 12. 20	H25. 10. 30	H26. 11. 11	H26. 11. 12	H26. 11. 10	H28. 11. 9
ダイオキシン類年平均値	1以下	0.042	0.077	0.044	0.018	0.015	0.016	0.012

出典: 「公害関係資料集(平成24年度~平成28年度測定結果)」(仙台市環境局)

表 3.1-51(1) 地下水継続監視調査結果 (1/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区		宮城野区		宮城野区
		5740-37-23		5740-37-24		5740-37
		H26. 7. 29	H27. 10. 6	H24. 10. 26	H25. 7. 10	H28. 7. 19
調査項目・基準値						
水温 (°C)	-	16.5	17.6	17.0	16.9	16.5
pH	-	6.8	7.7	6.6	6.7	6.6
1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.01 以下	<0.002	<0.001	<0.002	<0.002	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01 以下	0.010	0.011	0.0077	0.0066	0.0097
1,4-ジオキサン	0.05 以下	<0.005	-	<0.005	<0.005	-
塩化ビニルモノマー	0.002 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pHを除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(2) 地下水継続監視調査結果 (2/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区				宮城野区		宮城野区	
		5740-37-32				5740-37-46		5740-37-56	
		H24. 11. 1	H25. 7. 10	H26. 7. 28	H27. 10. 6	H24. 10. 26	H25. 7. 10	H26. 7. 28	H27. 10. 6
調査項目・基準値									
水温 (°C)	-	16.6	17.3	16.1	17.4	17.8	18.9	21.3	15.8
pH	-	7.1	7.1	7.3	7.8	6.6	6.8	7.2	7.9
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下	1.2	1.4	1.0	1.1	49	14	4.3	3.9
亜硝酸性窒素	-	<0.005	0.006	<0.005	0.007	0.005	0.015	0.006	<0.005
アンモニア性窒素	-	<0.05	<0.05	0.06	-	<0.05	<0.05	<0.05	-

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pHを除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(3) 地下水継続監視調査結果 (3/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		宮城野区				宮城野区	宮城野区	宮城野区
		5740-37-76				5740-37	5740-37	5740-37
		H24. 10. 26	H25. 7. 10	H26. 7. 28	H27. 10. 6	H28. 7. 27	H28. 7. 27	H28. 7. 28
調査項目・基準値								
水温 (°C)	-	14.2	14.9	13.6	15.5	16.2	13.8	21.9
pH	-	5.8	5.9	5.9	6.4	7.4	6.2	6.8
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下	23	14	19	16	0.84	11	61
亜硝酸性窒素	-	<0.005	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
アンモニア性窒素	-	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pHを除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(4) 地下水継続監視調査結果 (4/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード・調査日		泉区		泉区			泉区	
		5740-37-81		5740-37-91			5740-37	
		H24. 10. 26	H25. 7. 10	H24. 10. 26	H25. 7. 10	H26. 7. 28	H27. 10. 5	H28. 7. 28
調査項目・基準値								
水温	-	14.2	17.0	13.6	16.7	15.1	16.4	16.0
pH	-	6.6	6.7	6.4	6.5	6.8	6.9	7.0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下	12	14	16	14	8.7	6.3	6.7
亜硝酸性窒素	-	0.007	0.010	<0.005	0.009	0.012	0.014	<0.005
アンモニア性窒素	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	-

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pHを除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(5) 地下水継続監視調査結果 (5/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード ・調査日 調査項目・基準値		宮城野区						宮城野区		宮城野区	宮城野区
		5740-37-12						5740-37-13		5740-37	5740-37
		H24. 11.1	H25. 7.11	H26. 7.29	H26. 7.29	H27. 10.6	H27. 10.6	H24. 11.1	H25. 7.11	H28. 7.22	H28. 7.22
水温 (°C)	-	14.9	16.4	14.6	16.0	15.8	15.5	14.7	16.5	15.3	15.2
pH	-	6.3	6.3	6.5	6.3	6.7	7.0	6.3	6.4	6.6	6.4
六価クロム	0.05 以下	0.07	0.02	0.05	<0.02	<0.02	0.05	0.04	0.02	0.04	0.02
全クロム	-	0.081	0.024	0.056	0.016	-	-	0.042	0.021	-	-

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pH を除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(6) 地下水継続監視調査結果 (6/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード ・調査日 調査項目・基準値		宮城野区			宮城野区
		5740-37-33			5740-37
		H25. 7. 10	H26. 7. 28	H27. 10. 6	H28. 7. 27
水温 (°C)	-	14.6	14.8	14.9	14.6
pH	-	6.5	6.9	7.4	7.0
鉛	0.01 以下	0.026	0.020	<0.005	0.006

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pH を除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(7) 地下水継続監視調査結果 (7/8)

単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード ・調査日 調査項目・基準値		宮城野区		宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区
		5740-37-17		5740-37	5740-37	5740-37	5740-37
		H26. 7. 29	H27. 10. 6	H28. 7. 26	H28. 7. 26	H28. 7. 22	H28. 7. 27
水温 (°C)	-	22.7	15.3	15.7	16.1	15.1	15.4
pH	-	8.0	8.2	7.8	7.8	8.1	7.8
砒素	0.01 以下	0.018	0.021	0.017	0.008	0.020	0.010

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pH を除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)

表 3.1-51(8) 地下水継続監視調査結果 (8/8)

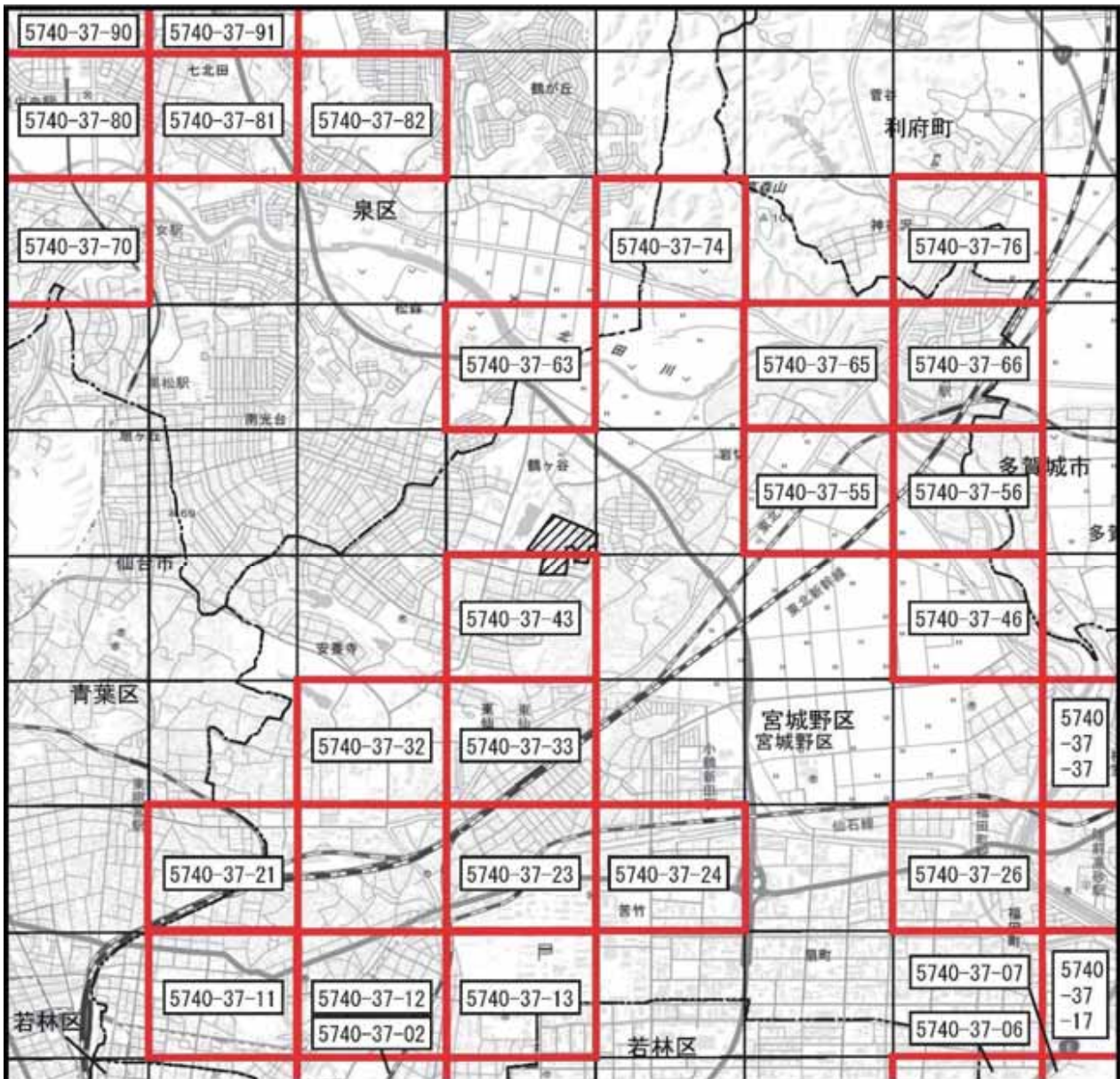
単位: mg/L<sup>※1</sup>

区・メッシュコード ・調査日 調査項目・基準値		泉区		泉区
		5740-37-90		5740-37
		H27. 10. 5		H28. 7. 28
水温 (°C)	-	20.6		22.0
pH	-	8.1		9.0
ふっ素	0.8 以下	1.7		1.8

※1: 「単位: mg/L」は水温 (°C)、pH を除く。

※2: 表の網掛けされた箇所は、環境基準を満足しなかったことを示す。

出典: 「公害関係資料集 (平成 24 年度~平成 28 年度測定結果)」 (仙台市環境局)



凡例

: 計画地

: 市区町界

: 調査地域 (三次メッシュ)

: 調査地域コード (三次メッシュ)

: 三次メッシュ

※ 三次メッシュは日本測地系

出典：「公害関係資料集（平成24年度～平成28年度測定結果）」（仙台市環境局）

図 3.1-12 地下水水質調査位置



S=1:50,000

0 1250 2500m

## イ．発生源の状況

関係地域内での水質汚濁防止法による特定施設及びその位置図は、前掲表 3.1-44及び図 3.1-10に示すとおりである。関係地域内での下水道法による特定施設及びその位置図は、前掲表 3.1-45及び図 3.1-11に示すとおりである。

(4) 水象

ア. 水象の状況

河川・湖沼等の概要

調査範囲の主な河川は表 3.1-52、河川の位置図は図 3.1-13に示すとおりである。七北田川が計画地の北側から東側を流れ、梅田川の支流である高野川が南側を流れている。

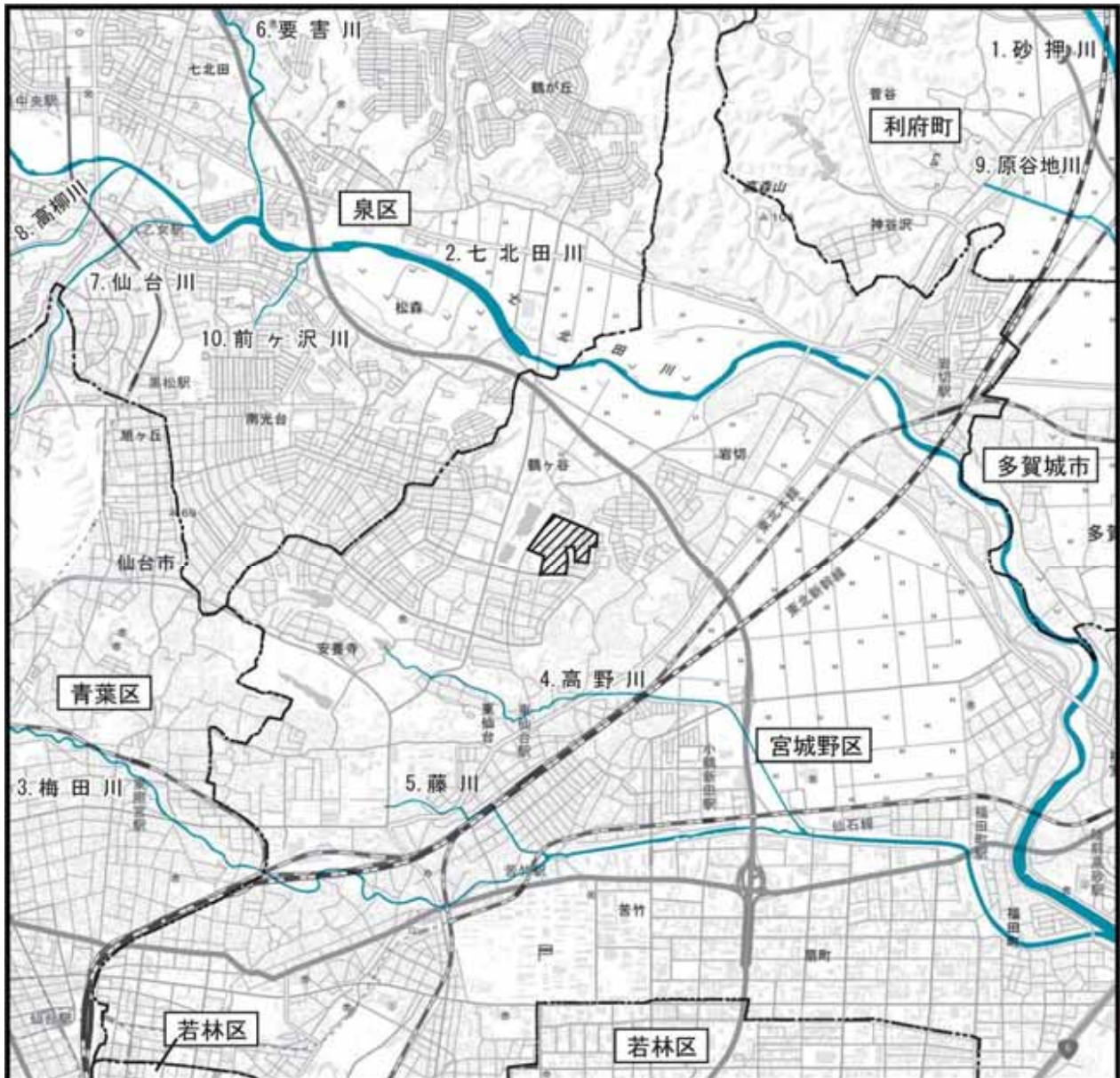
調査範囲の主な湖沼・ため池は表 3.1-53、湖沼・ため池の位置図は図 3.1-14に示すとおりである。計画地の西側には、鶴ヶ谷大堤溜池が位置する。

表 3.1-52 調査範囲の主な河川

No.	種別	河川名	総延長 (m)
1	二級河川	砂押川	14,491
2	二級河川	七北田川	40,899
3	二級河川	梅田川	13,035
4	二級河川	高野川	3,900
5	二級河川	藤川	1,500
6	二級河川	要害川	6,000
7	二級河川	仙台川	4,300
8	二級河川	高柳川	3,000
9	準用河川	原谷地川	1,400
10	準用河川	前ヶ沢川	510

出典：「宮城県河川・海岸図」（平成 29 年 4 月 宮城県土木部河川課）





凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 河川

出典：「宮城県河川・海岸図」（平成29年4月 宮城県土木部河川課）

図 3.1-13 計画地周辺の河川の位置図

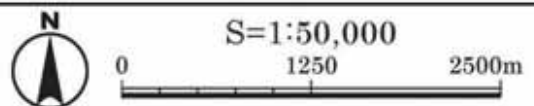




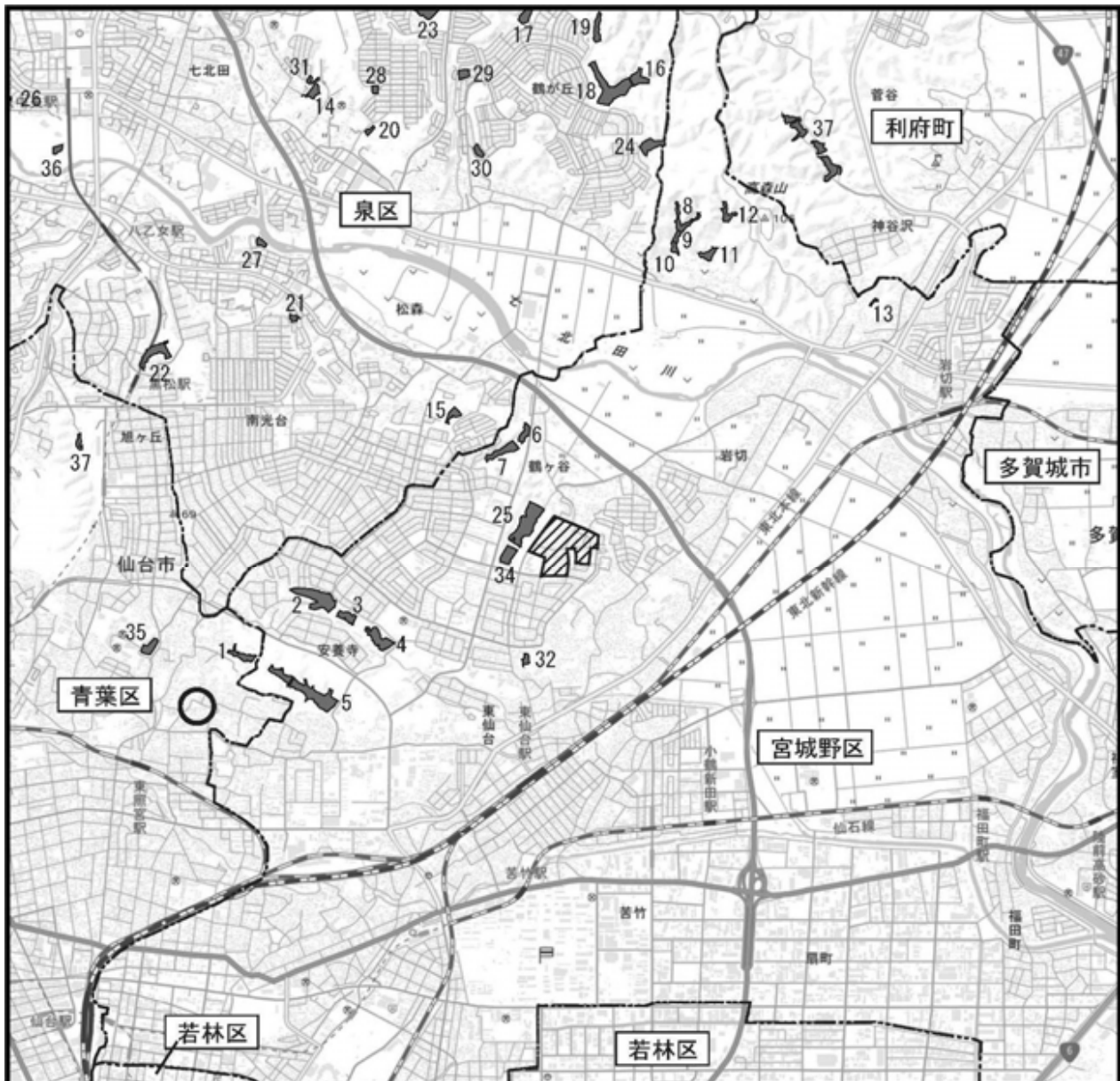
表 3.1-53 調査範囲の主な湖沼・ため池

No.※	名称	所在地	No.※	名称	所在地
1	新堤溜池	小松島新堤 25-1	20	不詳	松森字鹿島
2	安養寺上溜池	安養寺 2 丁目 4-1	21	前ヶ沢溜池	-
3	安養寺中溜池	安養寺 2 丁目 7-1	22	真美沢溜池	-
4	安養寺下溜池	安養寺 2 丁目 13	23	松森調整池	-
5	与平衛沼溜池	蟹沢 15	24	仏沢堤溜池	-
6	北の下溜池	鶴ヶ谷北 2 丁目 1-1	25	鶴ヶ谷大堤溜池	-
7	北の中溜池	鶴ヶ谷北 2 丁目 5	26	朴木沢調整池	-
8	入生沢上溜池	岩切字入生沢 85	27	八乙女調整池	-
9	入生沢中溜池	岩切字入生沢 86	28	百合ヶ丘調整池	-
10	入生沢下溜池	岩切字入生沢 87	29	鶴が丘第 2 号調整池	-
11	西沢下溜池	岩切字台屋敷 3	30	鶴が丘第 3 号調整池	-
12	西沢上溜池	岩切字入生沢 81	31	青葉台調整池	-
13	志波入溜池	岩切字羽黒前 116	32	小僧沢下溜池	-
14	苗代田溜池	天神沢 1 丁目	33	不詳	-
15	長岫堤調整池	松森字長岫	34	不詳	-
16	戌亥沢溜池	松森字戌亥沢	35	不詳	-
17	朴手沢溜池	松森字朴手	36	不詳	-
18	洞ヶ沢溜池	松森字戌亥沢	37	菅野沢溜池	-
19	新堤溜池	松森字戌亥沢			





※：表中の No. は、図 3.1-14 に対応する。

出典：「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月 仙台市）

No. 37（菅野沢溜池）は、「仙台市都市計画基本図 利府」（平成 28 年度作成 仙台市）により位置を確認



凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 湖沼・溜池(図中番号:1~37)
-  : 湧水地点(野田の清水)

※: 図中の番号は表3.1-52に対応する。

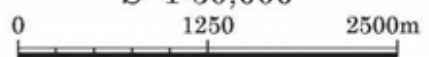
出典: 「平成27年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成28年3月 仙台市)

No. 37(菅野沢溜池)は「仙台市都市計画基本図 利府」(平成28年度作成 仙台市)により位置を確認

図 3.1-14 計画地周辺の湖沼・ため池の位置図



S=1:50,000



### 水源地の概要

農業用水取水施設の概要は表 3.1-54、農業用水取水位置図は図 3.1-15に示すとおりである。

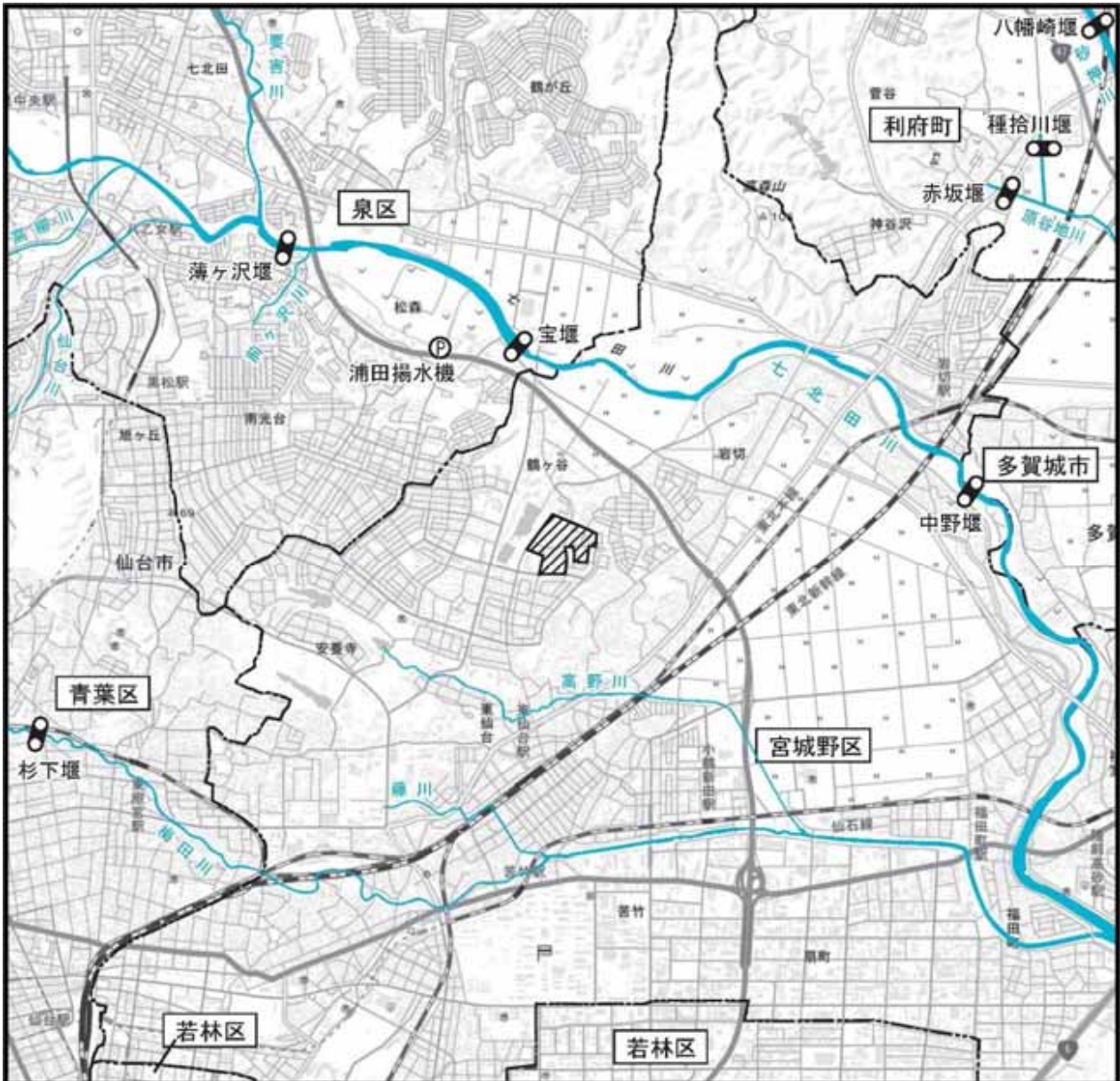
調査範囲では、砂押川水系の砂押川及び原谷地川、七北田川水系の七北田川及び梅田川に農業用の頭首工や取水口が設置されている。

「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂五版(平成20年3月)」(宮城県農林水産部農村振興課)によると、調査範囲で最大の取水施設は七北田川の薄ヶ沢堰で、取水量は2.0480m<sup>3</sup>/sとされている。

表 3.1-54 農業用水取水施設の概要

水系	河川名	河川区分	施設名	用排区分	左右岸別	施設所在地	取水量 (最大 m <sup>3</sup> /s)			施設管理者
							代掻き期	普通期	非かんがい期	
砂押	砂押川	二級	八幡崎堰	用	両	利府町利府字松本地内	0.2400	0.2000	不明	利府町
	原谷地川	準用	赤坂堰	用	左	利府町菅谷	0.0300	0.0200	不明	利府町
			種拾川堰	用	両	利府町菅谷字東浦	0.0500	0.0400	不明	利府町
七北田	七北田川	二級	中野堰	用	左	多賀城市後新田14	0.8000	0.4300	不明	高砂水利組合
			宝堰	用	左	仙台市泉区七北田字松森	0.7000	0.6000	0.6000	宝堰加瀬溜井管理組合
			浦田揚水機	用	右	仙台市泉区松森字上河原	0.0200	0.0200	0.0200	斉藤長志
			薄ヶ沢堰	用	右	仙台市泉区	2.0480	1.4800	不明	仙台市岩切土地改良区
	梅田川	二級	杉下堰	用	左	仙台市青葉区梅田町	0.2000	0.2000	0.2000	四ッ谷堰協会

出典：「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂五版」(平成20年3月 宮城県農林水産部農村振興課)



凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 河川
-  : 堰・頭首工
-  : 揚水機場

出典：「河川取水施設図」（平成20年3月 宮城県農林水産部）

図 3.1-15 農業用水取水位置図



S=1:50,000

0 1250 2500m

### 湧水の概要

調査範囲の湧水の位置は表 3.1-55及び前掲図 3.1-14に示すとおりであり、野田の清水がある。仙台市における飲用井戸の設置数は、表 3.1-56に示すとおりである。仙台市全体では5,325箇所飲用井戸が設置されており、そのうち、計画地が位置する宮城野区は41箇所であり、市全体の0.8%を占めている。

表 3.1-55 調査範囲における湧水地点

No.	名称	所在地	現状	概要
a	野田の清水	青葉区高松二丁目	現存井戸水	万寿寺境内に保存されている。伊達家のせん茶用として使用されていたとされる。かつては飲料水や生活用水として使用されていた。

出典：「平成27年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成28年3月 仙台市）

表 3.1-56 飲用井戸設置数

区	飲用井戸数（箇所）
仙台市	5,325
青葉区	1,035
宮城野区	41
若林区	2,087
太白区	1,816
泉区	346

出典：「飲用井戸数等調査報告書」（平成13年3月 仙台市）

### 3.1.3 土壌環境

#### (1) 地形・地質

##### ア．地形・地質の状況

###### 現況地形・地質

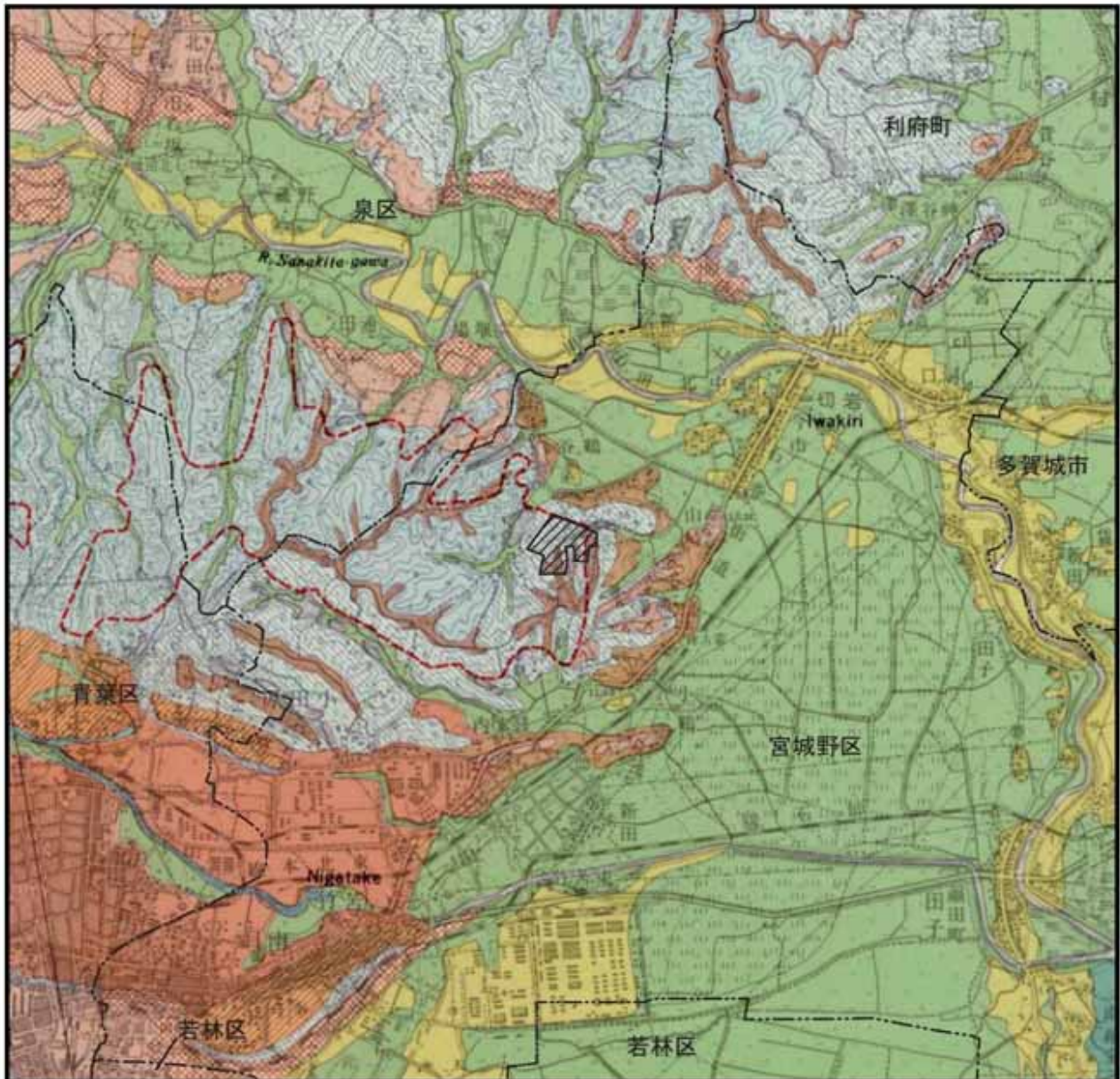
調査範囲の地形・地質の状況は、図 3.1-16及び図 3.1-17に示すとおりである。

仙台市の地形は、西部の奥羽山脈東麓に沿って広がる陸前丘陵、中央部を西から東に流下する七北田川、広瀬川、名取川の川沿いに発達する海岸段丘、東部の仙台湾に沿って広がる沖積平野に大別され、西側から東側に移行するにつれて標高が低くなっている。

調査範囲の地形は、七北田川沿いに低地が広がり、その周囲に丘陵地が分布する地形となっている。計画地は「丘陵地（急斜面（谷密度 80 以上）」）に位置している。

調査範囲の表層地質は、七北田川上流の川沿いに礫層、砂層、粘土層からなる河岸段丘堆積物が分布し、七北田川下流に砂及び粘土からなる沖積層が分布している（図 3.1-16参照）。また、図幅中央から七北田川を挟み、北側に七北田層（砂岩）、西側に滝の口層（シルト岩、凝灰岩等）、南西側に河岸段丘堆積物が分布する。計画地周辺は主に中央に七北田層、南東側に亀岡層が分布しており、パッチ上に埋谷土がみられる（図 3.1-17参照）。





出典：「5万分の1都道府県土地分類基本調査(仙台)」(昭和41年 国土交通省)

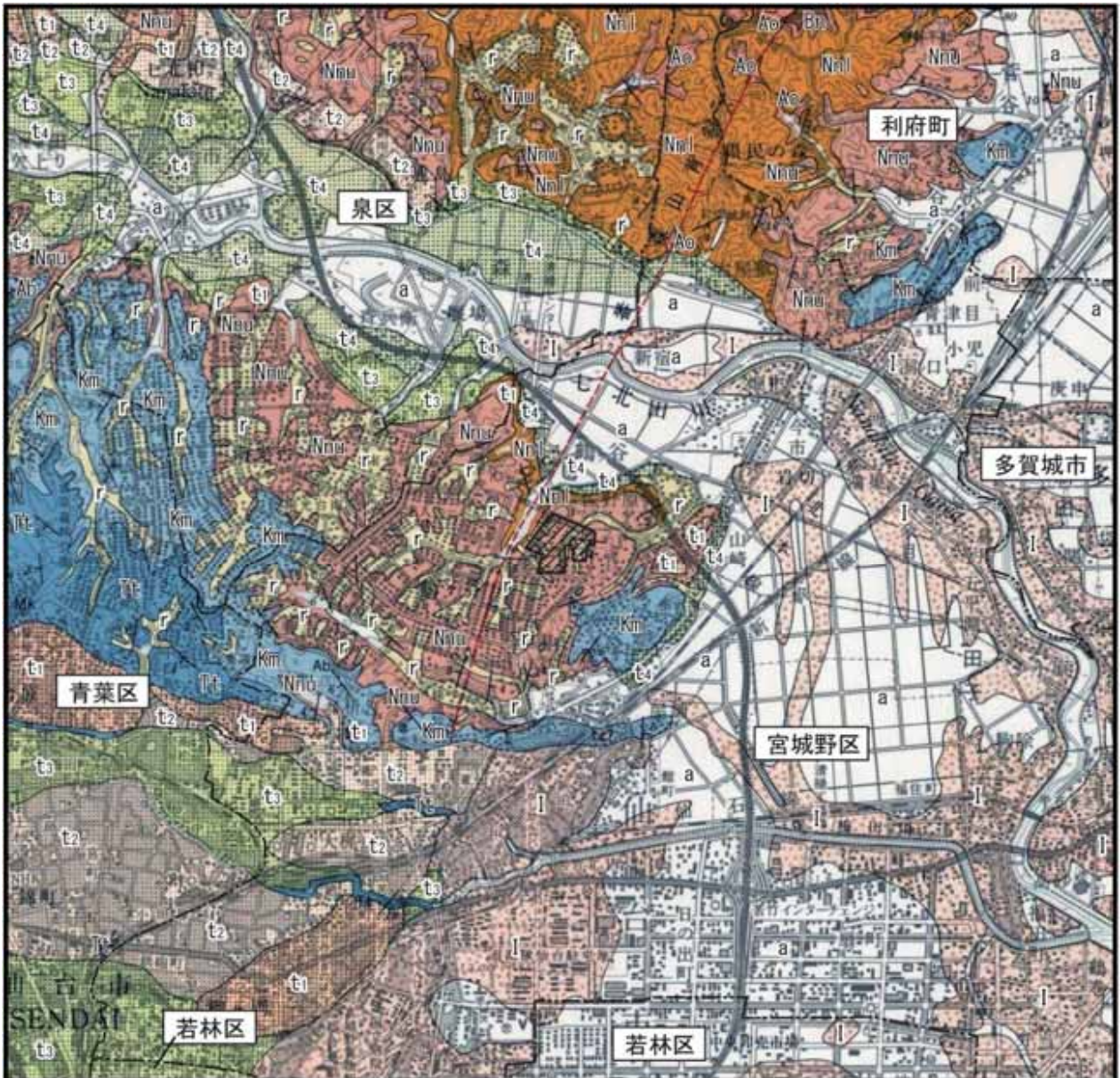
図 3.1-16 計画地周辺の地形分類図



S=1:50,000

0 1250 2500m

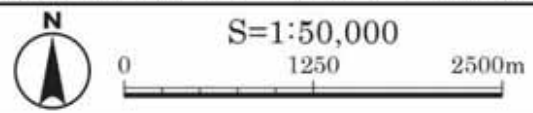




凡例		
	: 計画地	
	: 市区町界	
埋谷土		
	: 土砂	
沖積層		
	: 砂及び粘土	
	: 砂	
海岸段丘堆積物		
		: 礫層・砂層 及び粘土層
青葉山層		
	: 礫層・砂層及び粘土層	
向山層		
	: 砂岩・シルト岩 亜炭・凝灰岩及び礫岩	
滝の口層		
	: シルト岩・砂質シルト岩 凝灰岩及び砂岩	
亀岡層		
	: 砂岩・凝灰岩・シルト岩 亜炭及び礫岩又は礫混じり砂岩	
七北田層		
	: 砂岩（凝灰岩薄層を挟む）	
	: 砂岩・軽石凝灰岩及び礫岩	
青麻層		
	: 砂岩・シルト岩及び凝灰岩	
番ヶ森山層		
	: 軽石質砂岩及び礫岩	

出典：「5万分の1地形図（仙台）」（昭和61年3月 地質調査所）

図 3.1-17 計画地周辺の表層地質図





### 注目すべき地形・地質

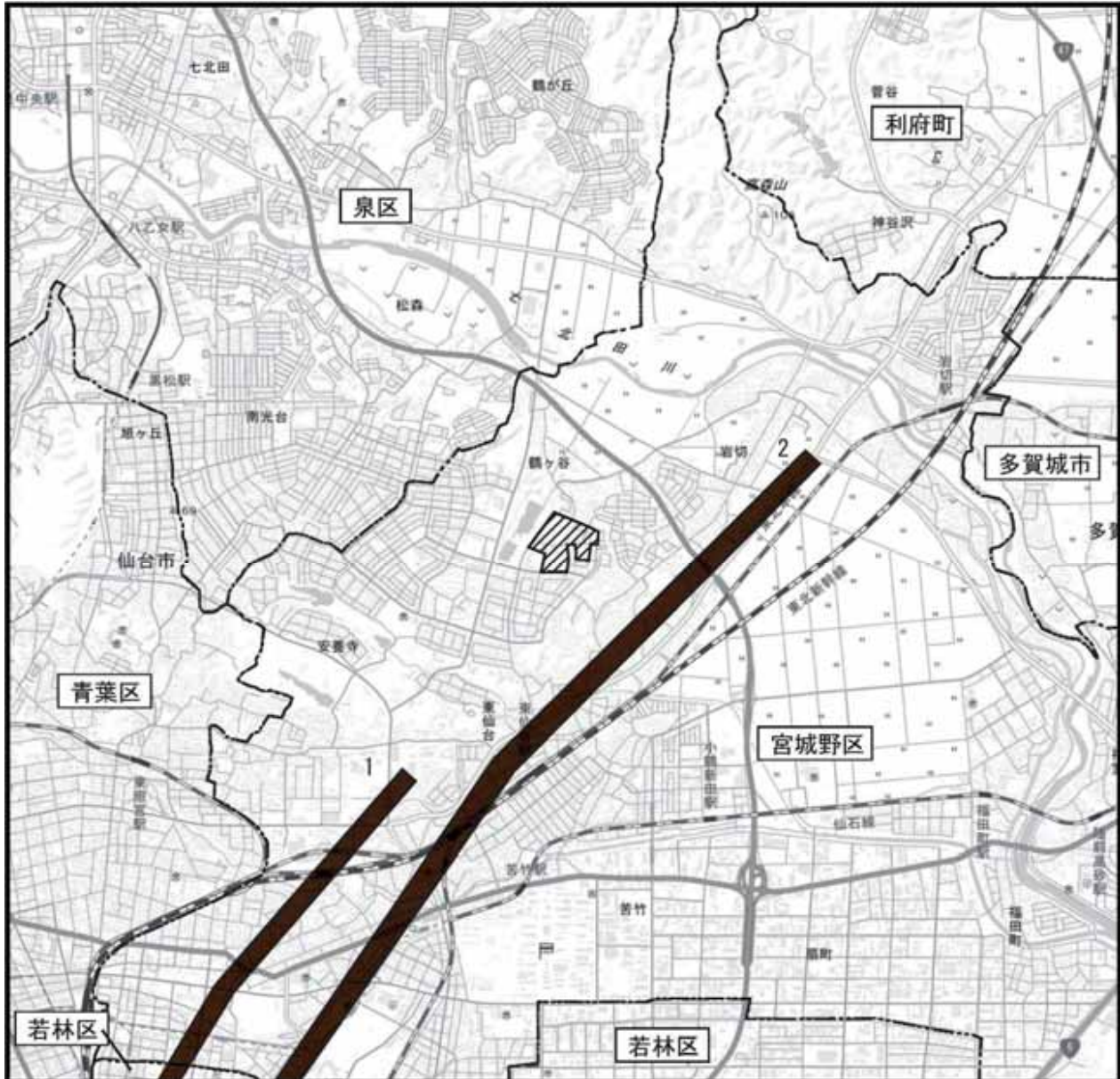
調査範囲の注目すべき地形・地質の状況は、表 3.1-57及び図 3.1-18に示すとおりである。調査範囲には、活断層地形である「長町・利府」及び「大年寺山」が存在する。

表 3.1-57 注目すべき地形・地質




No. *	名称	備考
1	長町・利府	活断層地形
2	大年寺山	活断層地形

※：表中の No. は、図 3.1-18に対応する。

出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）



凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 注目すべき地形・地質 (図中番号: 1~2)

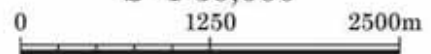
※: 図中の番号は表3.1-56に対応する。

出典: 「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年3月 仙台市)

図 3.1-18 注目すべき地形・地質



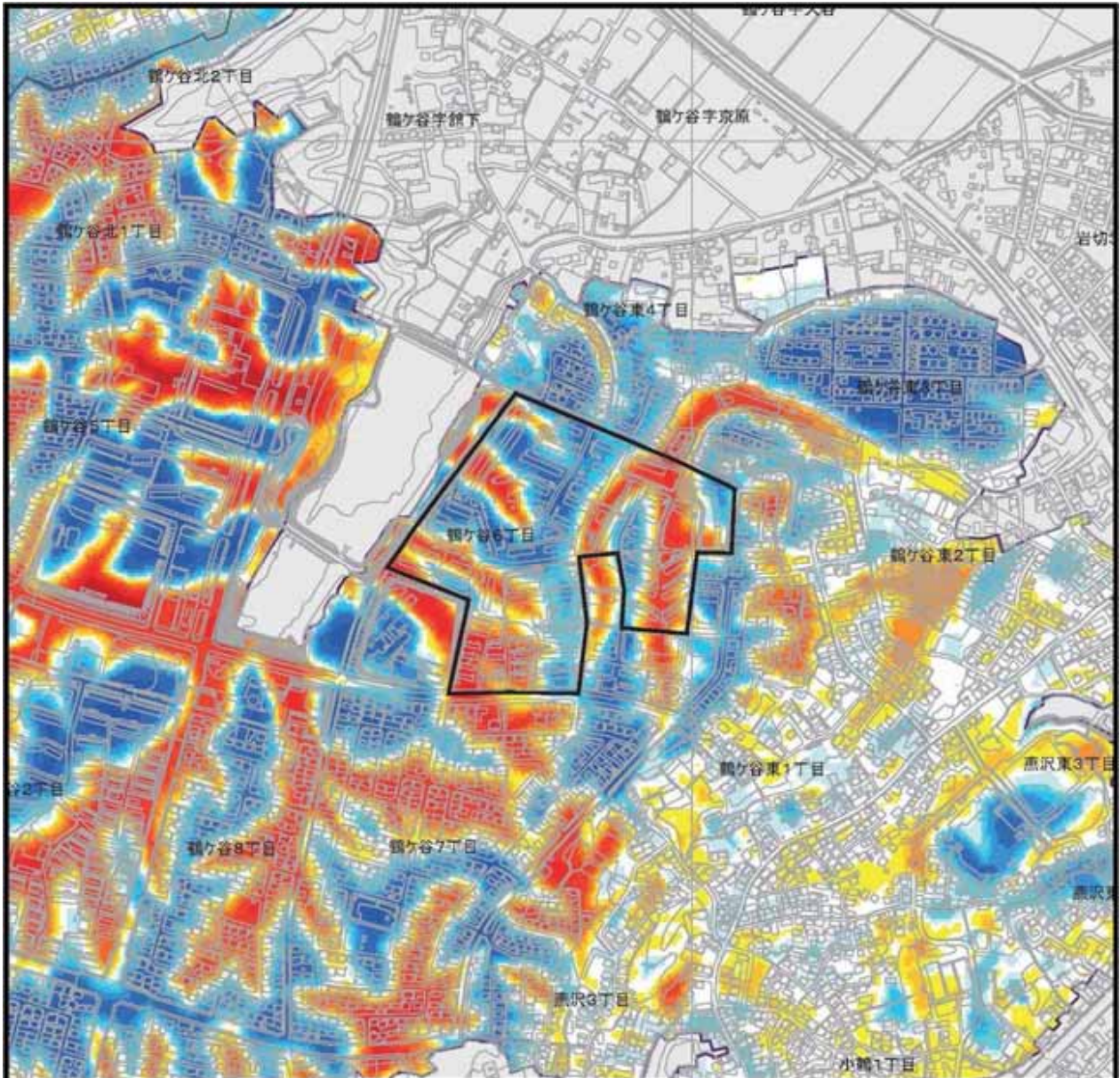
S=1:50,000



### 切土・盛土区分の状況

計画地及びその周辺の宅地造成等に伴う切土・盛土の状況は、図 3.1-19に示すとおりである。  
計画地内には、谷部を 10m 以上埋め立てて造成した谷埋め盛土地盤が分布している。





凡 例

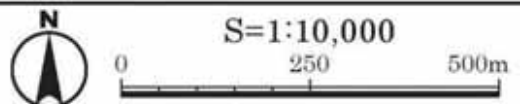
□ : 計画地

〔切土・盛土区分〕

■ : 切土30m以上	■ : 盛土1~3m
■ : 切土20~30m	■ : 盛土3~5m
■ : 切土15~20m	■ : 盛土5~7m
■ : 切土10~15m	■ : 盛土7~10m
■ : 切土7~10m	■ : 盛土10~15m
■ : 切土5~7m	■ : 盛土15~20m
■ : 切土3~5m	■ : 盛土20~30m
■ : 切土1~3m	■ : 盛土30m以上
□ : 切土1m~盛土1m	□ : 切土・盛土区分範囲外

出典：「1/10,000 仙台市宅地造成履歴等情報マップ（切土・盛土図）」（平成25年3月 仙台市）

図 3.1-19 切土・盛土図



## 災害履歴

調査範囲において近年発生した災害は、昭和 53 年の宮城県沖地震や平成 15 年の宮城県北部地震、平成 17 年の宮城地震等がある。宮城県沖地震では、計画地の位置する仙台市内で震度 5 が観測され、宮城地震では震度 5 強を観測している。

平成 23 年 3 月 11 日には「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」が発生した。この地震は三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 という巨大地震で、計画地の位置する仙台市内をはじめ、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度 6 強など広い範囲で強い揺れを観測した。また、太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では大きな被害があった。計画地においては、東北地方太平洋沖地震によって市営住宅 2 棟を建替えるとともに、一部の住棟や擁壁を改修する必要があるほどの被害が生じた。

## (2) 地盤沈下

### ア．地盤沈下の状況

#### 規制地域の指定状況

仙台市では、「工業用水法」(昭和 31 年 6 月 11 日法律第 146 号)の第 3 条第 1 項で定める指定地域が指定されている。計画地は「工業用水法」に基づく指定地域に含まれない。

また、調査範囲は「建築物用地下水の採取に関する法律」(昭和 37 年 5 月 1 日法律第 100 号)の第 3 条第 1 項で定める指定地域に含まれない。

地下水の採取に係る条例として、仙台市では「宮城県公害防止条例」(昭和 46 年 3 月 18 日条例第 12 号)において地下水採取規制を行っており、新增設井戸の届出、地下水採取量の記録、報告の義務付けを行うとともに、知事による地下水採取量の削減と水源転換等の指導を行っている。計画地は「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採取規制の対象地域に含まれない。

#### 地盤沈下の観測

「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)によると、調査範囲において地盤沈下の観測が実施された情報はない。

#### 地下水位の観測

「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)によると、調査範囲において地下水位の観測が実施された情報はない。

#### 累積地盤収縮量の推移

「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)によると、調査範囲において累積地盤収縮量の観測が実施された情報はない。

### イ．地盤沈下に係る苦情件数

仙台市では、「公害関係資料集(平成 28 年度測定結果)」(仙台市環境局)によると、平成 28 年度における地盤沈下に係る苦情は出されていない。多賀城市及び利府町では、「公害苦情調査結果報告書」(宮城県環境生活部環境対策課)によると、平成 28 年度における地盤沈下に係る苦情は出されていない。

(3) 土壌汚染

ア. 土壌汚染の状況

土壌のダイオキシン類調査結果

土壌のダイオキシン類の調査結果は表 3.1-58、調査地点位置図は図 3.1-20に示すとおりである。

調査範囲では平成 24 年度～平成 28 年度に土壌のダイオキシン類調査が実施されている。

調査結果はいずれの地点においても環境基準を満足している。

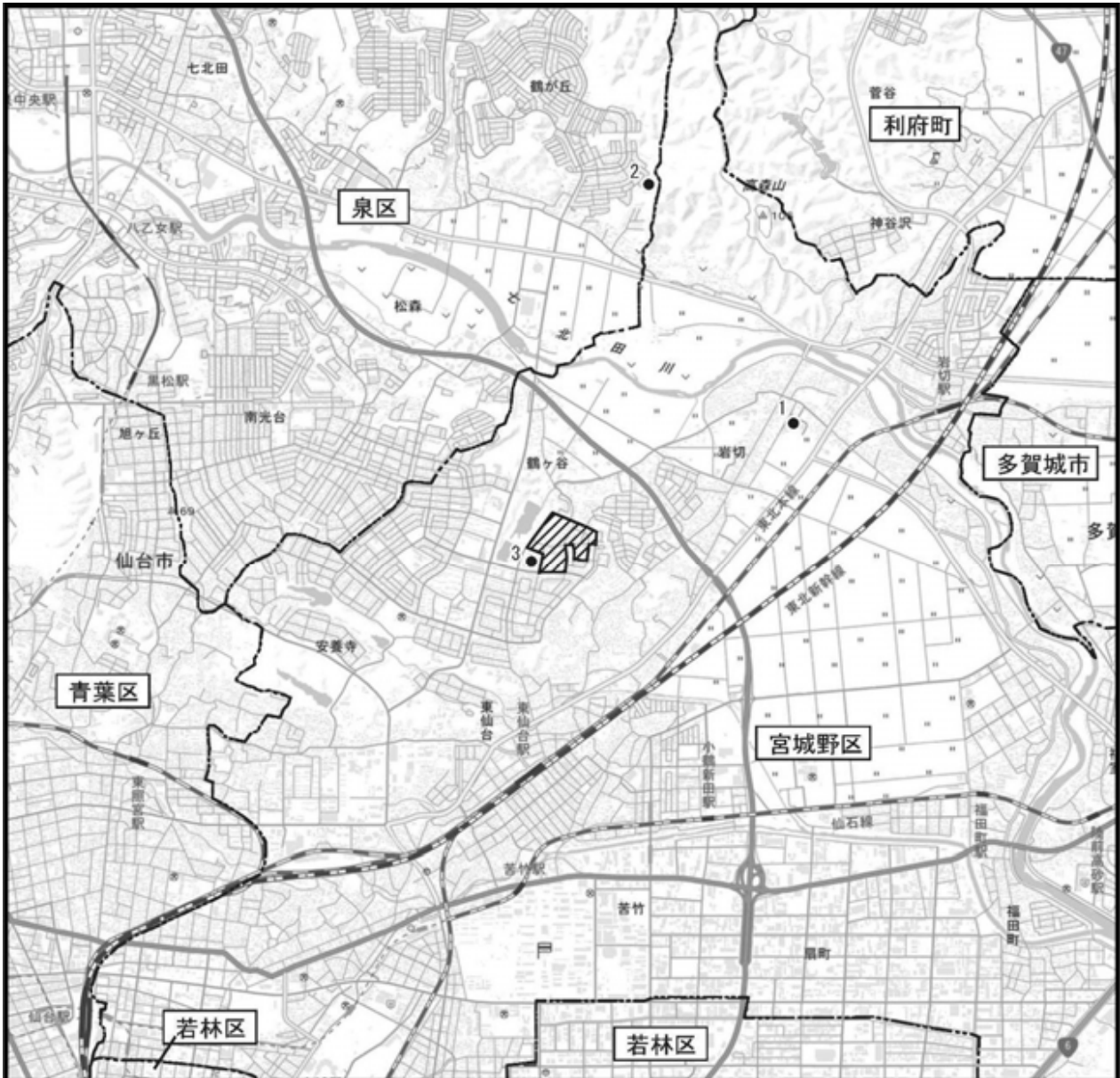
表 3.1-58 土壌のダイオキシン類の調査結果

単位：pg-TEQ/g

調査項目・環境基準	調査地点名 調査年月日	岩切小学校 (No. 1 <sup>※</sup> )	鶴ヶ丘小学校 (No. 2 <sup>※</sup> )	鶴谷東小学校 (No. 3 <sup>※</sup> )
		H28. 8. 19	H27. 8. 20	H26. 10. 15～16
ダイオキシン類	1,000 以下	0.011	1.3	0.028

※：表中の No. は、図 3.1-20に対応する。

出典：「公害関係資料集（平成 24 年度～平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）



凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

● : 土壌のダイオキシン類調査地点 (図中番号 : 1~3)

※ : 図中の番号は表3.1-57に対応する。

出典 : 「公害関係資料集」(平成24年度~28年度測定結果)(仙台市環境局)

図 3.1-20 土壌のダイオキシン類調査地点位置図



S=1:50,000

0 1250 2500m



### 土壌汚染対策法施行状況

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの仙台市における土壌汚染対策法の施行状況は、表 3.1-59に示すとおりである。

施行件数が最も多いものは、法第 4 条の「一定規模（3,000m<sup>2</sup>）以上の土地の形質の変更の届出」の 50 件である。

調査範囲における土壌汚染対策法施行状況は、表 3.1-60及び図 3.1-21に示すとおりである。調査範囲内には、法第 6 条に基づく要措置区域に指定された区域は存在せず、法第 11 条に基づく形質変更時要届出区域に指定された区域は 7 件である。

表 3.1-59 土壌汚染対策法施行状況（仙台市全体）

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

内容		件数
法第 3 条	有害物質使用特定施設の廃止件数	28
	調査結果報告件数	11
	調査猶予件数	19
法第 4 条	一定規模（3,000m <sup>2</sup> ）以上の土地の形質の変更届出	50
	調査命令発出件数	0
	調査結果報告書件数	0
法第 5 条	調査命令発出件数	0
	調査結果報告書件数	0
法第 6 条	要措置区域に指定した件数	0
	要措置区域を解除した件数	2
法第 11 条	形質変更時要届出区域に指定した件数	2
	形質変更時要届出区域を解除した件数	1
法第 14 条	指定の申請件数	2

※：法第 3 条については、土壌汚染対策法施行後から平成 29 年 3 月 31 日までの累計件数。有害物質使用特定施設の廃止年度と調査結果報告・調査猶予の年度が異なる場合があること、また、調査猶予の取り消し後に調査結果報告を行う場合があることから、結果報告件数と調査猶予件数の合計が有害物質使用特定施設の廃止件数と一致しない場合がある。

出典：「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）

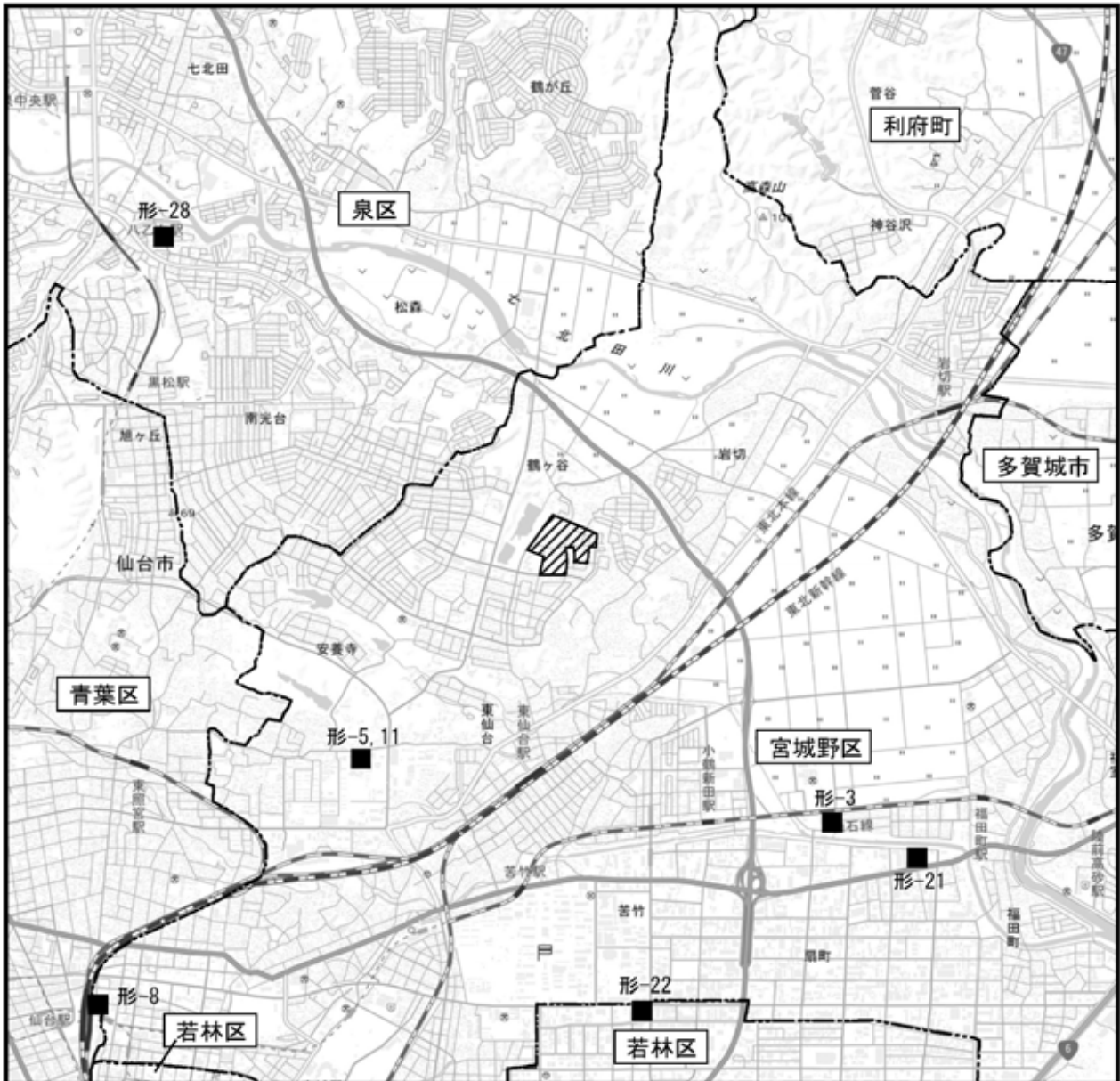
表 3.1-60 土壌汚染対策法施行状況（調査範囲）

条項	指定※ 番号	指定年月日 (告示番号)	所在地（地番）	指定面積 (㎡)	基準を超過した 特定有害物質の種類	その他 必要な事項 (告示番号)
法 第 11 条	形-3	平成 24 年 11 月 5 日 (第 491 号)	宮城野区仙石 16 番 1 の一部	1,500	砒素及びその化合物	
	形-5	平成 24 年 11 月 26 日 (第 511 号)	宮城野区幸町四丁目 1 番 2 の一部	1,300	鉛及びその化合物 砒素及びその化合物 ふっ素及びその化合物	
	形-11	平成 25 年 7 月 9 日 (第 339 号)		5,313.27		
	形-8	平成 25 年 3 月 13 日 (第 114 号)	青葉区中央一丁目 100 番 10 及び 100 番 17 並びに宮城野区榴 岡一丁目 11 番 8、11 番 9 及び 11 番 11 の 各一部	100	鉛及びその化合物	一部指定解除 平成 29 年 3 月 8 日 (第 87 号)
	形-21	平成 27 年 3 月 20 日 (第 118 号)	宮城野区扇町一丁目 8 番 4、8 番 5、8 番 6、 8 番 7、8 番 40 及び 8 番 41 の各一部	993.6	砒素及びその化合物	
	形-22	平成 28 年 1 月 21 日 (第 13 号)	若林区卸町四丁目 6 番 6 の一部	100	鉛及びその化合物	一部指定解除 平成 29 年 6 月 23 日 (第 305 号)
	形-28	平成 30 年 6 月 6 日 (第 307 号)	泉区八乙女中央四丁 目 118 番 1	657.81	クロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン テトラクロロエチレン トリクロロエチレン	




※：表中の指定番号は、図 3.1-21に対応する。

出典：「土壌汚染対策法に基づく要措置区域等」（平成 30 年 10 月閲覧 仙台市）

<http://www.city.sendai.jp/suishitsu/kurashi/machi/kankyohozen/kogai/osentaisaku/sochikuiki.html>



凡 例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 形質変更時要届出区域（法第11条）

※：図中の番号は表3.1-59に対応する。

出典：「土壌汚染対策法に基づく要措置区域等」（仙台市）

<http://www.city.sendai.jp/suishitsu/kurashi/machi/kankyohozen/kogai/osentaisaku/sochikuiki.html>

図 3.1-21 土壌汚染対策法施行状況



S=1:50,000

0 1250 2500m

#### イ．土壤汚染に係る苦情件数

仙台市では「公害関係資料集（平成 28 年度測定結果）」（仙台市環境局）によると、平成 28 年度における土壤汚染に関する苦情件数は出されていない。多賀城市及び利府町では、「公害苦情調査結果報告書」（宮城県環境生活部環境対策課）によると、平成 28 年度における土壤汚染に関する苦情は出されていない。

#### ウ．発生源の状況

調査範囲において、水質汚濁防止法・下水道法による届出が出されている特定施設は「3.1.2 水環境（1）水質」に示すとおりである。また、土壤汚染対策法に基づく要措置区域並びに形質変更時届出区域に指定されている箇所は、前掲表 3.1-60及び図 3.1-21に示すとおりである。

### 3.1.4 生物環境

#### (1) 植物

##### ア．植物相及び注目すべき種の状況

###### 植物相

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）によれば、仙台市は海岸から奥羽脊梁山脈まで市域が広がっており、仙台市で最も標高の高い船形山（標高 1500.2m）の山頂付近ではキンロバイ、ウスユキソウ、コケモモなどの高山から亜高山帯の植物、沿岸部ではアカガシ、シロダモなどの暖地系の植物が生育している等、植物相が多様である。また、丘陵地帯は暖温帯と冷温帯の間に位置する中間地帯と呼ばれる領域で、しかもその領域が広い面積を占めることが特徴である。この領域ではモミ-イヌブナ林の発達がみられ、暖地系の植物、寒地系の植物の両方が見られる等、植物相は非常に多様である。

###### 注目すべき植物種

調査範囲内における注目すべき植物種は、表 3.1-61に示す基準により選定した。なお、「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）において「保全上重要な種」に挙げられている種は、計画地が「市街地地域」に位置していることから、該当する地域区分である「市街地地域」における減少種を「注目すべき植物種」として抽出した（表 3.1-62参照）。

調査範囲内における注目すべき植物種は、表 3.1-63に示すとおりである。

表 3.1-61 注目すべき種の選定基準

判断基準		番号・記号	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは生息地・生育地がごく限られている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限等の分布限界となっている種。	
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティー）となっている種	
		4	1、2、3 には該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種（継続的に観察・研究されている個体群が存在する種など）。	
	注目種 減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。	
		EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。	
		A	現在ほとんど見ることができない。あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれのある種。	
		B	減少が著しい。あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種。	
		C	減少している。あるいは近い将来減少のおそれがある種。	
		+	普通に見られる。あるいは近い将来減少のおそれがある種。	
		/	もともと生息・生育しない可能性が非常に大きい。	
	環境指標種		○	本市の各環境分類における環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標）
	レッドデータ等	国 RL（「環境省レッドリスト 2018」（平成 30 年環境省）掲載種）	EX	絶滅
EW			野生絶滅	
CR+EN			絶滅危惧Ⅰ類	
CR			絶滅危惧ⅠA類	
EN			絶滅危惧ⅠB類	
VU			絶滅危惧Ⅱ類	
NT			準絶滅危惧	
DD			情報不足	
LP			絶滅のおそれのある地域個体群	
県 RL（「宮城県レッドリスト 2016」（平成 28 年宮城県）掲載種）		EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
天記、種保存法		特天	『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）における天然記念物	
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成 4 年法律第 75 号）における国内希少野生動植物	
		国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成 4 年法律第 75 号）における国際希少野生動植物	

出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）

表 3.1-62 減少種の地域区分

番号	地域区分
1	山地地域
2	西部丘陵地・田園地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域（後背の樹林帯も含む）

※：計画地は、「3 市街地地域」に該当する。

出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）

「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2011-2020（改定版）」（平成 28 年 3 月 仙台市）

表 3.1-63 注目すべき植物種

No.	科名	種名	仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
			学術上重要な種	減少種					環境指標種	国RL	県RL	天記・種保存法	
				山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
1	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	1, 2		B	C	C						
2	ヒメシダ	ヒメワラビ	2		B	B	B						
3	サンショウモ	サンショウモ	1	EX	EX	EX	EX	EX		VU	NT		
4	ヤナギ	ネコヤナギ	4		C	C	C		○				
5	ブナ	アカガシ	2		C	C	C	C	○				
6		シラカシ	2		C	C	C	/	○				
7		ウラジログシ	2		C	C	C	/					
8	ニレ	エノキ	4		B	B	B						
9		ケヤキ		C	C	B	B		○				
10	イラクサ	トキホコリ	1		B	B				VU	VU		
11	クルミ	オニグルミ			B	B	B		○				
12	タデ	ミゾソバ			C	B	C		○				
13	スイレン	オニバス	1	EX	EX	EX	EX	EX		VU	EX		
14	ツバキ	ヤブツバキ			B	B	B	B	○				
15	アブラナ	ナズナ			B	B	B		○				
16	ユキノシタ	ユキノシタ			B	B							
17	マメ	タヌキマメ		EX	EX	EX	EX	EX			CR+EN		
18	ミズキ	アオキ			C	C	C	C	○				
19	ツツジ	ヤマツツジ			C	C		C	○				
20	ゴマノハグサ	イヌノフグリ	1			B				VU	VU		
21		カワヂシャ	1			B	B				NT	NT	
22	タヌキモ	フサタヌキモ	1	EX	EX	EX	EX	EX		EN	EX		
23	キク	フジバカマ			C	C				NT			
24		ノニガナ				C					NT		
25		カワラニガナ				B					NT	VU	
26		アオヤギバナ				B						VU	
27		エゾタンポポ				C	B	B	C	○			
28	ユリ	ヤマラッキョウ				B					VU		
29		カタクリ			B	B	B						
30		ニッコウキスゲ			B	B	B						
31	キンバイザサ	コキンバイザサ	1, 2	EX	EX	EX	EX	EX			EX		
32	アヤメ	ヒメシャガ			B	B			○	NT	NT		
33	イネ	ヒナザサ			B	B				NT	VU		
34		カゼクサ			B	C	C		○				
35		ウキガヤ				C	C					NT	
36		オギ				C	C	C	C	○			
37		ヨシ				C	C	C	C	○			
38		ツルヨシ				C	C	C		○			
39		シバ				B	B	B		○			
40	ガマ	ヒメガマ			C	C	C						
41		ガマ			C	C	C		○				
42	ラン	セッコク	1	EX	EX	EX	EX	EX			CR+EN		
43		ヤマトキソウ			A	A					CR+EN		
25 科		43 種	15	7	36	43	30	15	18	10	17	0	

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 29 年度生物リスト」（平成 29 年 10 月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。



## イ．植生及び保全上重要な植物の生育地の状況

### 植生

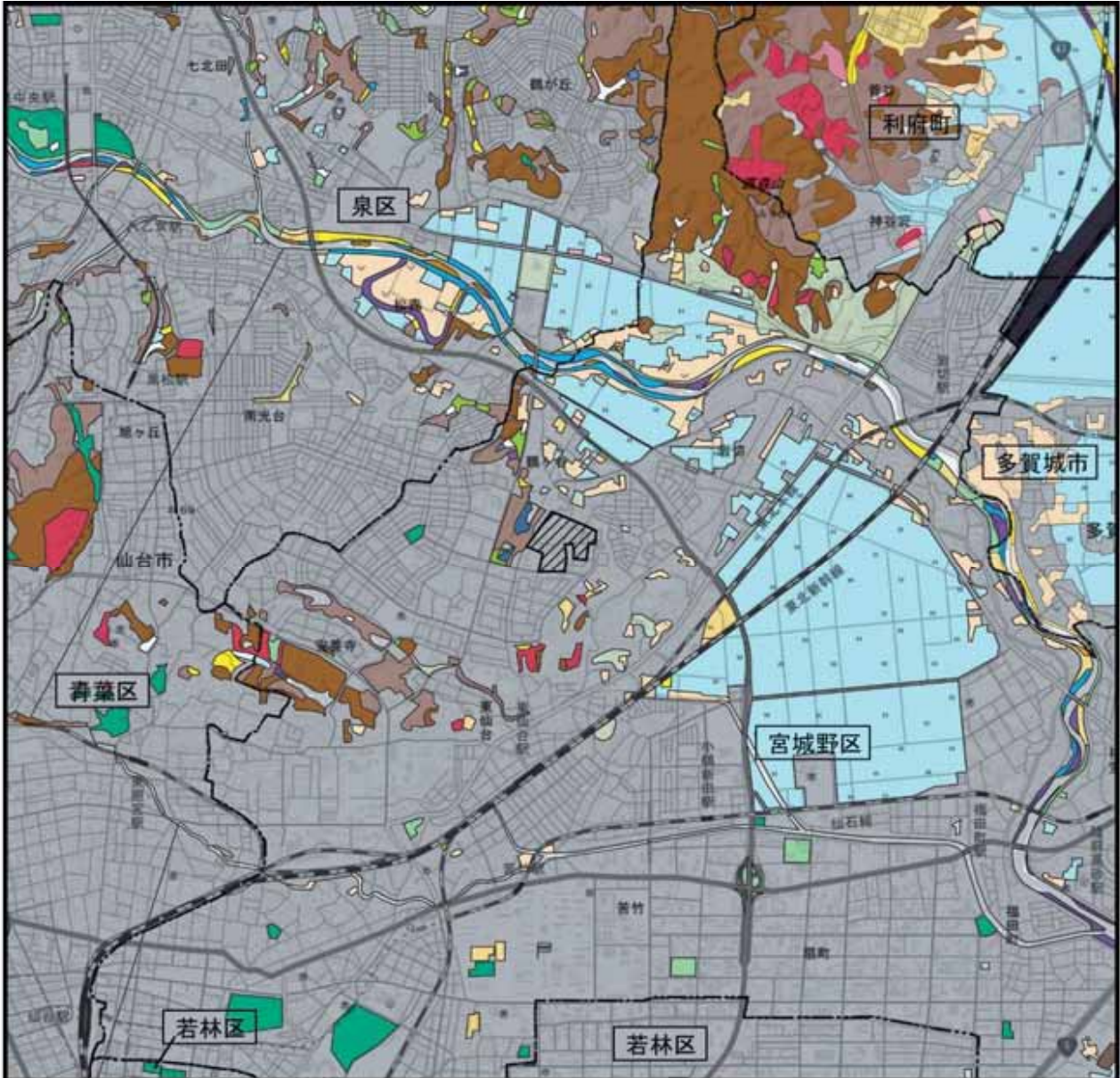
調査範囲の現存植生図は、図 3.1-22に示すとおりである。

計画地の植生は主に市街地である。計画地の西側にはクリ-コナラ群集及び植生自然の高い植生であるヒルムシロクラスが分布している。また、七北田川沿いにはヤナギ低木群落、ヨシクラス等の植生自然度の高い植生がみられる（表 3.1-64及び図 3.1-23参照）。なお、「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月 仙台市）では、環境省の植生自然度が 9 及び 10（自然植生）に該当する植生を、「自然性の高い植生」として位置づけている。

表 3.1-64 植生自然度区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリ-ミズナラ群落、クヌギ-コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

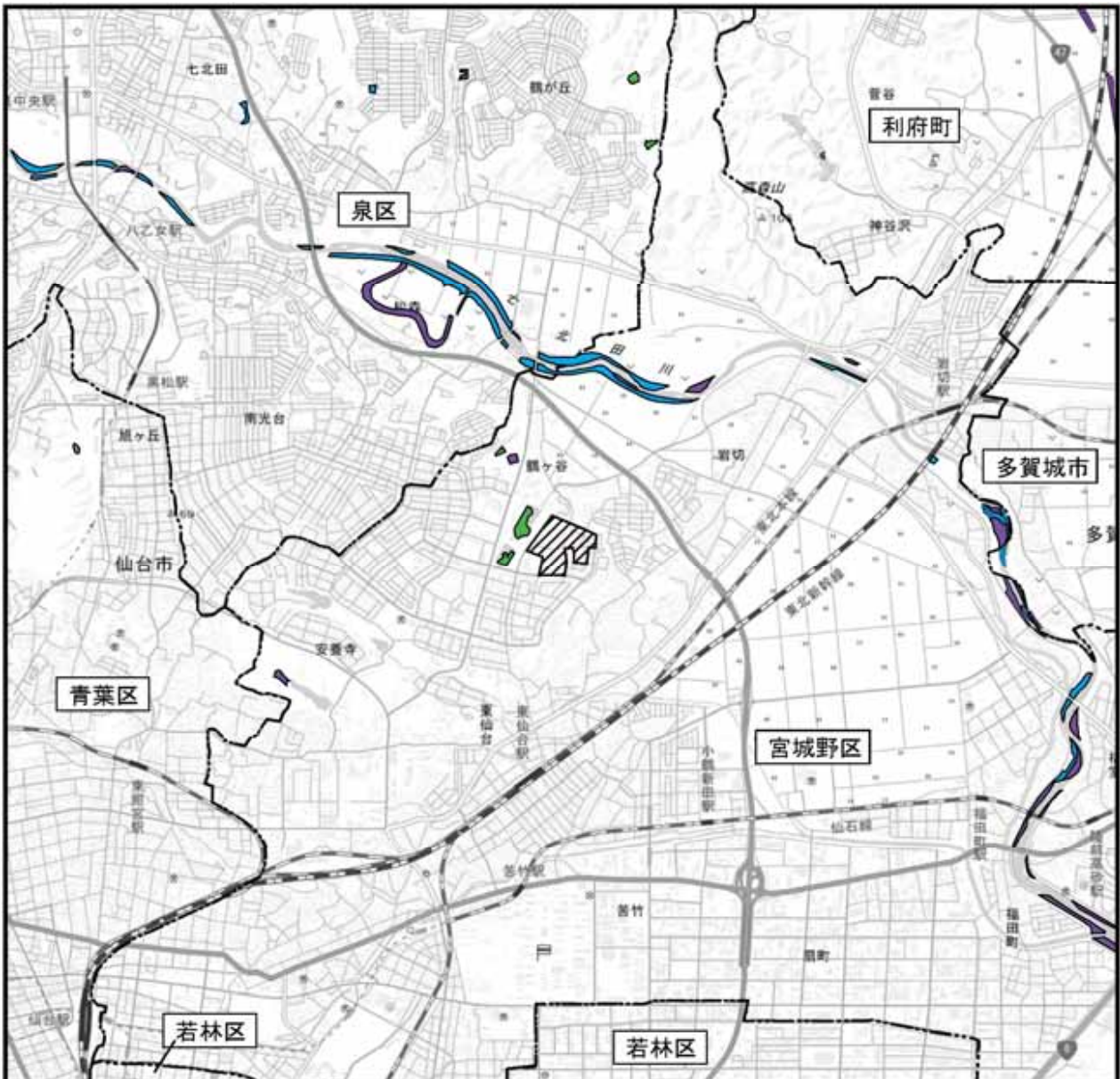
出典：「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月 仙台市）



出典: 「平成27年度 仙台市現存植生図」(平成30年8月閲覧 仙台市) [https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/tayose/ki\\_sochosa/index.html](https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/tayose/ki_sochosa/index.html)  
「生物多様性センター 植生調査(植生自然度調査)」(平成30年8月閲覧 環境省) [https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg\\_kiso.html#mainText](https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText)







凡例

▨ : 計画地

----- : 市区町界

植生自然度個別値 : 10

■ ヨシクラス

■ ヒルムシロクラス

植生自然度個別値 : 9

■ ヤナギ低木群落 (IV)

出典: 「平成27年度 仙台市現存植生図」 (平成30年8月閲覧 仙台市)

<https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/tayose/kisochoa/index.html>

「生物多様性センター 植生調査(植生自然度調査)」 (平成30年8月閲覧 環境省)

[https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg\\_kiso.html#mainText](https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText)

図 3.1-23 自然性の高い植生



S=1:50,000

0 1250 2500m

### 保全上重要な植物の生育地

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）では、表 3.1-65 に示す選定基準により植物生育地として重要な地域を選定している。調査範囲では、表 3.1-66 及び図 3.1-24 に示す植物生育地として重要な地域が存在している。

「宮城県のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（平成 28 年 3 月 宮城県）によれば、調査範囲には希少な植物群落が存在しない。

表 3.1-65 重要な地域の選定基準

番号	判断理由
1	保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域(動物の繁殖場、集団越冬地となっている地域など)
2	多様な生物相が保存されている地域
3	自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
4	湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
5	自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
6	環境教育の場としてふさわしい地域
7	郷土の特色が保存されている地域(里地里山・居久根等)
8	緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域(山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等)
9	海岸や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

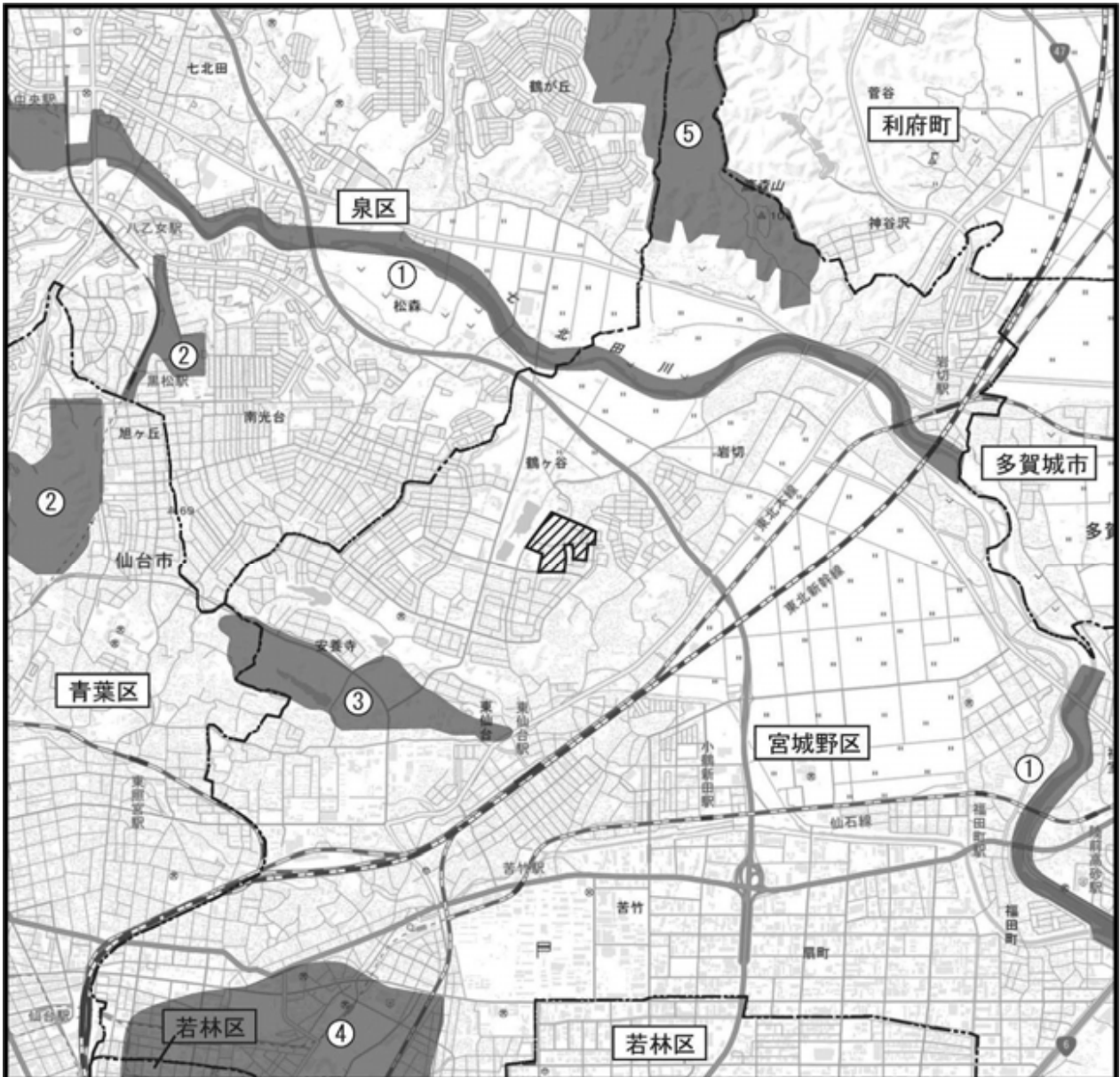
出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）

表 3.1-66 植物の重要な生育地

No. ※	件名	備考	判断理由
①	七北田川下流域の河畔植生	ヨシ群落自然植生度 10 のヨシクラスを主体とする河畔植生で、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。市民の憩いの場として極めて貴重。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	8, 9
②	台原森林公園・真美沢公園の里地・里山植生	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地、里地・里山植生。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールド、市街地にも近く、市街地の内部のとび石型生態系回廊（生態系コリドー）として重要。	7, 8
③	与兵衛沼周辺の里地・里山植生	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地・里地・里山植生。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールド、市街地にも近く、市街地の内部のとび石型生態系回廊（生態系コリドー）として重要。	7, 8
④	榴ヶ岡・新寺・木下地区の緑地	市街地内部に残された、段丘に沿った緑地と社寺林景観からなるまとまりのある緑地として重要。	7, 8
⑤	県民の森	県民の森緑地環境保全地域。仙台市北東部で市街地に隣接する緑地、公園。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要。	5, 6, 7

※：表中の No. は、図 3.1-24 に対応する。


出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）



凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

 : 植物の重要な生育地(図中番号:①~⑤)

※ : 図中の番号は表3.1-65に対応する。

出典 : 「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年3月 仙台市)

図 3.1-24 保全上重要な植物の生育地



S=1:50,000

0 1250 2500m

(2) 動物

ア. 動物相及び注目すべき種の状況

動物相

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）によれば、調査範囲である市街地や田園地域では、「人の生活空間の拡大や各種開発事業により、動物の良好な生息環境が減少しているが、公園や残された緑地等が、タヌキ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタなど多くの動物にとって貴重な生息場所となっており、これらの緑地を保全するとともに、周囲の丘陵地、田園地域との連続性に配慮した緑の創出を進める必要がある。」としている。

注目すべき動物種

調査範囲内における注目すべき動物種は、前掲表 3.1-61に示す基準により選定した。なお、「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）において「保全上重要な種」に挙げられている種は、計画地が「市街地地域」に位置していることから、該当する地域区分である「市街地地域」における減少種を「注目すべき動物種」として抽出した（前掲表 3.1-62 参照）。

調査範囲における注目すべき動物種数は表 3.1-67、分類ごとの注目すべき動物種は表 3.1-68～表 3.1-73に示すとおりである。

表 3.1-67 注目すべき動物種数

項目	目数	科数	種数	仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国 RL	県 RL	天記・種保存法
					山地	地・田園	西部丘陵	市街地	東部田園				
哺乳類	4	6	9	5	8	9	9	5	4	9	1	2	0
鳥類	13	27	64	44	36	57	64	53	44	40	20	24	4
両生類	2	6	11	1	11	11	11	10	11	8	4	5	0
爬虫類	1	5	8	2	5	7	8	6	3	6	0	1	0
魚類	8	10	15	10	12	14	15	15	14	10	13	10	0
昆虫類	5	18	26	19	5	20	26	15	3	11	11	17	0
合計	33	72	133	81	77	118	133	104	79	84	49	59	4

※1：国 RL：「環境省レッドリスト 2018」（平成 30 年 環境省）掲載種  
 県 RL：「宮城県レッドリスト 2016」（平成 28 年 宮城県）掲載種  
 天記：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）  
 種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成 4 年 法律第 75 号）  
 ※2：減少種の地域区分については、表 3.1-62を参照。



表 3.1-68 注目すべき動物種【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等					
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国 RL	県 RL	天記・種保存法		
					山地	地・田園	西部丘陵地	市街地	東部田園					海浜	
1	モグラ(食虫)	トガリネズミ	ホンシュウジネズミ		+	C	B	C		○					
2	コウモリ (翼手)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	1	C	C	C			○					
3			モモジロコウモリ	1,4	C	C	C			○					
4			ヤマコウモリ	1,4	C	C	C	C	C	○	VU	VU			
5			ヒナコウモリ	1,4	C	C	C		C	○		VU			
6	ネズミ(齧歯)	リス	ムササビ	1,4		C	C			○					
7			ネズミ	ハタネズミ		+	C	C	C	C	○				
8				ヒメネズミ		+	+	+	/		○				
9	ネコ(食肉)	イタチ	イタチ		C	C	C	C	C	○					
4目				6科	9種	5	8	9	9	5	4	9	1	2	0

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成29年度生物リスト」（平成29年10月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-69(1) 注目すべき動物種【鳥類】(1/2)

No.	目名	科名	種名	仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等				
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国 RL	県 RL	天記・種保存法	
					山地	地・田園	西部丘陵地	市街地	東部田園					海浜
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ			C	B	C	C	○				
2	コウノトリ	サギ	サンカノゴイ	1		B	A	B	B		EN	NT		
3			ヨシゴイ	1,4		C	B	C	C	○	NT	NT		
4			アマサギ	4			A	+			○			
5			チュウサギ	1,2,4			C	A	C	C		NT		
6			コサギ				C	B	+	+	○			
7	カモ	カモ	マガン	1,4			A	B	B		NT		天記	
8			オシドリ	1,4	+	C	B				DD			
9	タカ	タカ	オジロワシ	1,2,4		B	B	B	B		VU	VU	天記, 国内, 国際	
10			オオタカ	1,4	C	C	B	B	C	○	NT	NT		
11			ツミ	1,4	C	C	C	C	C			DD		
12			ハイトカ	1,4	C	C	C	C	C		NT	NT		
13			ノスリ		+	C	C	C			○			
14			サシバ	1,4	C	C	A	C	C		VU	VU		
15			チュウヒ	1,4		C	B	C	C	○	EN	NT		
16			ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	1,4	C	B	B	B	B		VU	NT
17		チョウゲンボウ			1,4		C	B	C	B				
18		チゴハヤブサ						B	B				要	
19	キジ	キジ	ウズラ	1,4	A	A	A	A	A		VU	CR+EN		
20	ツル	クイナ	クイナ	1,4		C	A	B	B			要		
21			ヒクイナ	1,4		C	B	B	B		NT	CR+EN		

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成29年度生物リスト」（平成29年10月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-69(2) 注目すべき動物種【鳥類】(2/2)

No.	目名	科名	種名	仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国RL	県RL	天記・種保存法
					山地	地・田園	西部丘陵	市街地	東部田園				
22	ツル	クイナ	バン	1,4		C	B	C	C	○			
23	チドリ	チドリ	イカルチドリ	1,4	C	C	B	B		○			
24		シギ	オオジシギ	1,4	B	B	A	B	B		NT	NT	
25		カモメ	コアジサシ	1,2,4			A	B	B		VU	VU	国際
26	カッコウ	カッコウ	カッコウ	1,4	C	C	B	C	C	○			
27			ホトトギス	1,4	+	+	C	C	C	○			
28	フクロウ	フクロウ	コミミズク	1		B	A	B	B	○		要	
29			オオコノハズク	1	C	C	C	B	B			要	
30			アオバズク	1		C	B	B	B	○		VU	
31			フクロウ	1	C	C	B	B	C	○			
32	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	1,4	+	C	B			○	NT	NT	
33	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	1,4			B			○		要	
34			カワセミ	1,4		C	C	C		○			
35	キツツキ	キツツキ	アオゲラ		+	C	B	C	C	○			
36			アカゲラ		+	C	B	C	C				
37	スズメ	ヒバリ	ヒバリ			C	B	C	C	○			
38		ツバメ	ツバメ			C	C	C		○			
39	スズメ	セキレイ	キセキレイ	1,4	+	C	C	C		○			
40			セグロセキレイ	4	C	C	C	C		○			
41		サンショウクイ	サンショウクイ		C	C	B	C	C		VU	VU	
42		モズ	チゴモズ	1,4		B	B	B			CR	CR+EN	
43			モズ	1	+	C	B	C	C	○			
44			アカモズ	1,4		B	B	B	B		EN	CR+EN	
45		カワガラス	カワガラス		+	C	B			○			
46		ツグミ	コルリ	1,4	+	C	B	C	C	○			
47			ルリビタキ		+	C	C	C	C				
48			トラツグミ		+	C	B	C	C	○			
49			クロツグミ	1,4	+	C	B	C	C	○			
50			シロハラ		+	C	B			○			
51		ウグイス	ウグイス	1,4	+	+	C	C	C	○			
52			コヨシキリ	1,4		C	A	C	C	○			
53			オオヨシキリ	1,4		C	B	C	C	○			
54			センダイムシクイ		+	C	B			○			
55			セッカ	1,4		C	B	C	C	○			
56		ヒタキ	キビタキ		+	C	B			○			
57			オオルリ	1,4	+	C	C	C	C	○			
58			コサメビタキ				B			○			
59		カササギヒタキ	サンコウチョウ	1		C	B			○			
60		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ		+		B			○			
61		ホオジロ	ホオジロ		+	+	B	C	C	○			
62			ホオアカ		B	C	A	C	B	○			
63			ノジコ	1,4	C	C	B				NT	要	
64			アオジ		C	C	C	C	C				
	13目	27科	64種	44	36	57	64	53	44	40	20	24	4

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成29年度生物リスト」（平成29年10月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-70 注目すべき動物種【両生類】

No.	目名	科名	種名	学術上重要種	仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等			
					減少種					環境指標種	国RL	県RL	天記・種保存法	
					山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜					
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	4	+	C	B	/	/	○	NT	NT		
2			クロサンショウウオ		+	C	A	/	/	○	NT	LP		
3			イモリ	アカハライモリ		+	C	A	C	/	○	NT	LP	
4	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル		+	C	B	C	/					
5			アマガエル	ニホンアマガエル		+	+	+	+	+	○			
6			アカガエル	タゴガエル		+	C	A	/	/				
7				ニホンアカガエル		+	+	A	C	/				
8				トウキョウダルマガエル		C	C	A	C	/	○	NT	NT	
9				ツチガエル		+	C	A		/	○		NT	
10			アオガエル	シュレーゲルアオガエル		+	+	B	C	/	○			
11				カジカガエル		+	+	B	/	/	○			
	2目	6科	11種	1	11	11	11	10	11	8	4	5	0	

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成29年度生物リスト」（平成29年10月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-71 注目すべき動物種【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	学術上重要種	仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等			
					減少種					環境指標種	国RL	県RL	天記・種保存法	
					山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜					
1	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	1		C	A			○				
2			カナヘビ	ニホンカナヘビ		+	+	C	C		○			
3			タカチホヘビ	タカチホヘビ	1			A					DD	
4			ナミヘビ	アオダイショウ		+	+	B	C	C	○			
5				ジムグリ		+	+	B	C	C	○			
6				ヒバカリ		C	C	C	C	B	○			
7				ヤマカガシ			+	A	C		○			
8			クサリヘビ	ニホンマムシ		C	C	A	C					
	1目	5科	8種	2	5	7	8	6	3	6	0	1	0	

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成29年度生物リスト」（平成29年10月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-72 注目すべき動物種【魚類】

No.	目名	科名	種名	仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国 RL	県 RL	天記・種保存法	
					山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜					
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	1	C	B	C	C	/		VU	NT		
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	1		B	B	C	C	○	EN	NT		
3	コイ	コイ	キンブナ		+	+	C	C			VU	NT		
4			タナゴ		EX	EX	EX	EX	EX		EN	CR+EN		
5			アカヒレタビラ		EX	EX	EX	EX	EX		EN	CR+EN		
6			ゼニタナゴ		EW	EW	EW	EW	EW		CR	CR+EN		
7			ウグイ		+	+	+	+	+	○				
8			ドジョウ	ホトケドジョウ	1	+	+	C	C	/	○	EN	NT	
9			ナマズ	ギギ	ギバチ	1		+	+	C	/		VU	NT
10	サケ	アユ	アユ		/	+	+	+	C	○				
11		サケ	サクラマス	1	+		C	C	C	○	NT	NT		
12		サケ	サクラマス (ヤマメ)		+	+	+	+	/	○	NT			
13	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	1		A	A	C	C	○	VU	NT		
14	カサゴ	カジカ	カジカ		+	+	B	/	/	○	NT			
15	スズキ	ハゼ	スミウキゴリ	1	/	/	+	+	+		LP			
	8 目	10 科	15 種	10	12	14	15	15	14	10	13	10	0	

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 29 年度生物リスト」（平成 29 年 10 月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

表 3.1-73 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等				
				学術上重要な種	減少種					環境指標種	国 RL	県 RL	天記・種保存法		
					山地	地・田園	西部丘陵	市街地	東部田園					海浜	
1	トンボ(蜻蛉)	イトトンボ	ヒヌマイトトンボ	1, 2	EX	EX	EX	EX	EX		EN	CR+EN			
2		サナエトンボ	ウチワヤンマ	1		C	B	C							
3			ナゴヤサナエ		1, 2			C			VU	CR+EN			
4		トンボ	ハッチョウトンボ		1		B	A			○		VU		
5			キトンボ		1		A	A					VU		
6			ヒメアカネ		1		B	A					CR+EN		
7	バッタ(直翅)	マツムシ	スズムシ	1		B	A	B							
8		バッタ	カワラバッタ	1			B	B		○		NT			
9	カメムシ(半翅)	セミ	エゾゼミ			+	B			○					
10		コオイムシ	コオイムシ	1		B	A	A			NT	NT			
11			タガメ		1		B	A	A		○	VU	CR+EN		
12	チョウ(鱗翅)	シジミチョウ	クロシジミ	1		A	A				EN	CR+EN			
13		タテハチョウ	オオウラギンヒョウモン			EX	EX	EX	EX	EX		CR	EX		
14			ジャノメチョウ				C	C	C		○				
15			オオムラサキ		1		C	B	B		○	NT			
16		アゲハチョウ	アオスジアゲハ		4			+	+		○				
17			ヒメギフチョウ本州亜種		1	C	B	B			○	NT	NT		
18			シロチョウ	ヒメシロチョウ北海道・本州亜種			EX	EX	EX	EX	EX		EN	CR+EN	
19			ドクガ	フタホシドクガ	1				C				NT		
20			ヤガ	コシロシタバ	1	A			A			NT	VU		
21		コウチュウ(鞘翅)	ハンミョウ	ナミハンミョウ			B	B							
22	ゲンゴロウ		ゲンゴロウ	1			B	B			VU	NT			
23	クワガタムシ		ミヤマクワガタ				C	B			○				
24			ノコギリクワガタ				C	C	C		○				
25			タマムシ	タマムシ	1, 2		B	A	A				NT		
26			ホタル	ゲンジボタル	1		C	B	C		○		NT		
	5 目	18 科	26 種	19	5	20	26	15	3	11	11	17	0		

※1：種名は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 29 年度生物リスト」（平成 29 年 10 月 河川環境データベース 国土交通省）に準拠した。

※2：表中の番号・記号は、表 3.1-61に対応する。

## イ．動物生息地として重要な地域

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）では、表 3.1-65に示す選定基準により動物生息地として重要な地域を選定している。調査範囲では、表 3.1-74及び図 3.1-25に示す動物生息地として重要な地域が存在している。

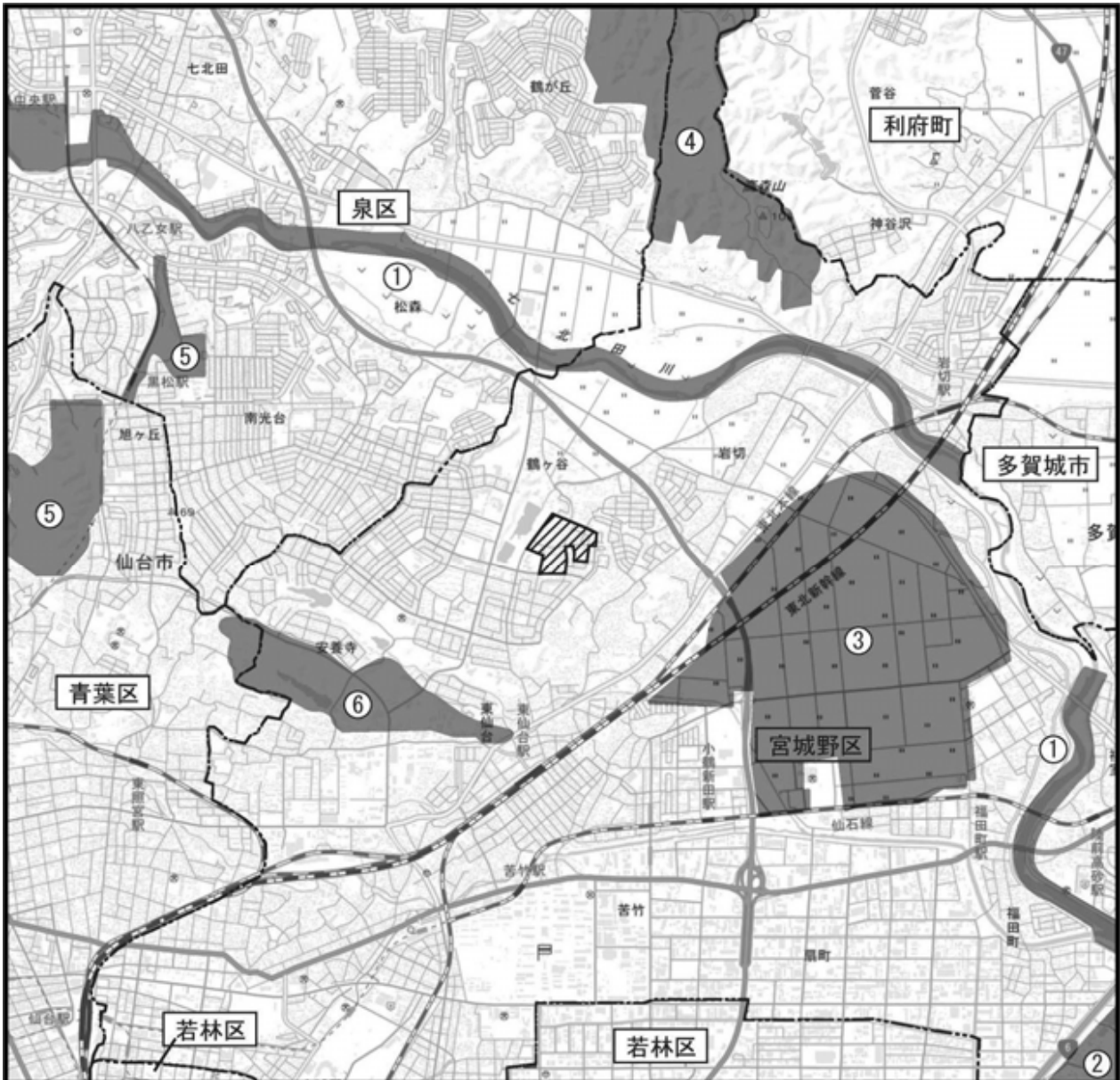
表 3.1-74 動物の重要な生息地

No.※	件名	備考	判断理由
①	七北田川 (中流域～河口)	野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくくなってきている。河川周辺のヨシ原はオオセッカ等希少な鳥類が生息する重要な自然になっている。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	2、8
②	低地の水田地帯	野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。セッカの繁殖、ホオアカの繁殖、四郎丸地区はメダカの生息地。居久根は低地における鳥類の生息地及び移動のための中継地として重要。	1、7、8
③	福田町の田園	市街地の内部に残されたまとまった広がり確保された田園生態系として重要。環境学習のフィールドとして重要。かつてはマガン、その他水鳥の渡来地としての利用もあった。	5、7
④	県民の森	市街地の北部に位置する緑地・公園である。鳥類の中継地、昆虫類の生息地、環境学習のフィールドとして重要である。	6、7
⑤	台原森林公園 真美沢公園	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地、里地・里山植生であり、野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要である。	1、6、7、8
⑥	与兵衛沼公園	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地、里地・里山植生であり、野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要である。	1、6、7

※：表中の No. は、図 3.1-25に対応する。

出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月 仙台市）






凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

 : 動物の重要な生息地(図中番号:①~⑥)

※: 図中の番号は表3.1-73に対応する。

出典: 「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年3月、仙台市)

図 3.1-25 動物生息地として重要な地域



S=1:50,000

0 1250 2500m

(3) 生態系

ア．計画地周辺の生態系の特性

計画地及びその周辺における自然環境の類型区分は、表 3.1-75に示すとおりである。

計画地及びその周辺における地形区分は、「丘陵地」、「低地」に区分される。また、植生区分は、「市街地」、「クリ-コナラ群衆」、「ヒルムシロクラス」、「水田雑草群落」、「ヤナギ低木群落」、「ヨシクラス」、「水田雑草群落」に大別される。

計画地を含む丘陵地の多くの部分は、「丘陵地-市街地」に区分される。計画地の西側に位置する鶴ヶ谷中央公園は、「丘陵地-クリ-コナラ群衆」及び「丘陵地-ヒルムシロクラス」からなり、樹林性の生物や水辺を利用する生物による生態系が形成されていると考えられる。また、七北田川沿いは、「低地-ヤナギ低木群落」及び「低地-ヨシクラス」からなり、河川及びその周辺を利用する生物による生態系が形成されていると考えられる。さらに、七北田川周辺及び計画地東側の低地には、「低地-水田雑草群落」が広い範囲に存在し、水田に生息する生物による生態系が形成されていると考えられる。

表 3.1-75 自然環境の類型区分

地形区分	植生区分	類型区分
丘陵地	市街地	丘陵地-市街地
	クリ-コナラ群落	丘陵地-クリ-コナラ群落
	ヒルムシロクラス	丘陵地-ヒルムシロクラス
低地	ヤナギ低木群落	低地-ヤナギ低木群落
	ヨシクラス	低地-ヨシクラス
	水田雑草群落	低地-水田雑草群落

### 3.1.5 景観等

#### (1) 景観

##### ア. 自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

調査範囲における主要な自然的景観資源及び文化的景観資源は表 3.1-76、景観資源位置図は図 3.1-26に示すとおりである。

調査範囲における自然的景観資源は 16 箇所、文化的景観資源は 9 箇所ある。

表 3.1-76 調査範囲における景観資源

#### 【自然的景観資源】

No. *	名称	文献				
		①	②	③	④	⑤
1	愛宕上杉通「イチョウ並木」	○				
2	小松島公園周辺	○				
3	台原森林公園	○				○
4	台原緑地	○				
5	とちのき公園	○				
6	宮城野通周辺	○				
7	榴岡公園	○				○
8	与兵衛沼・大堤公園周辺	○				
9	鶴ヶ谷中央公園周辺	○				
10	高森山公園	○				
11	卸町通「ケヤキ並木」	○				
12	松森城跡	○				
13	真美沢公園	○				
14	七北田公園	○				○
15	県民の森緑地環境保全地域		○			○
16	山苗代公園				○	

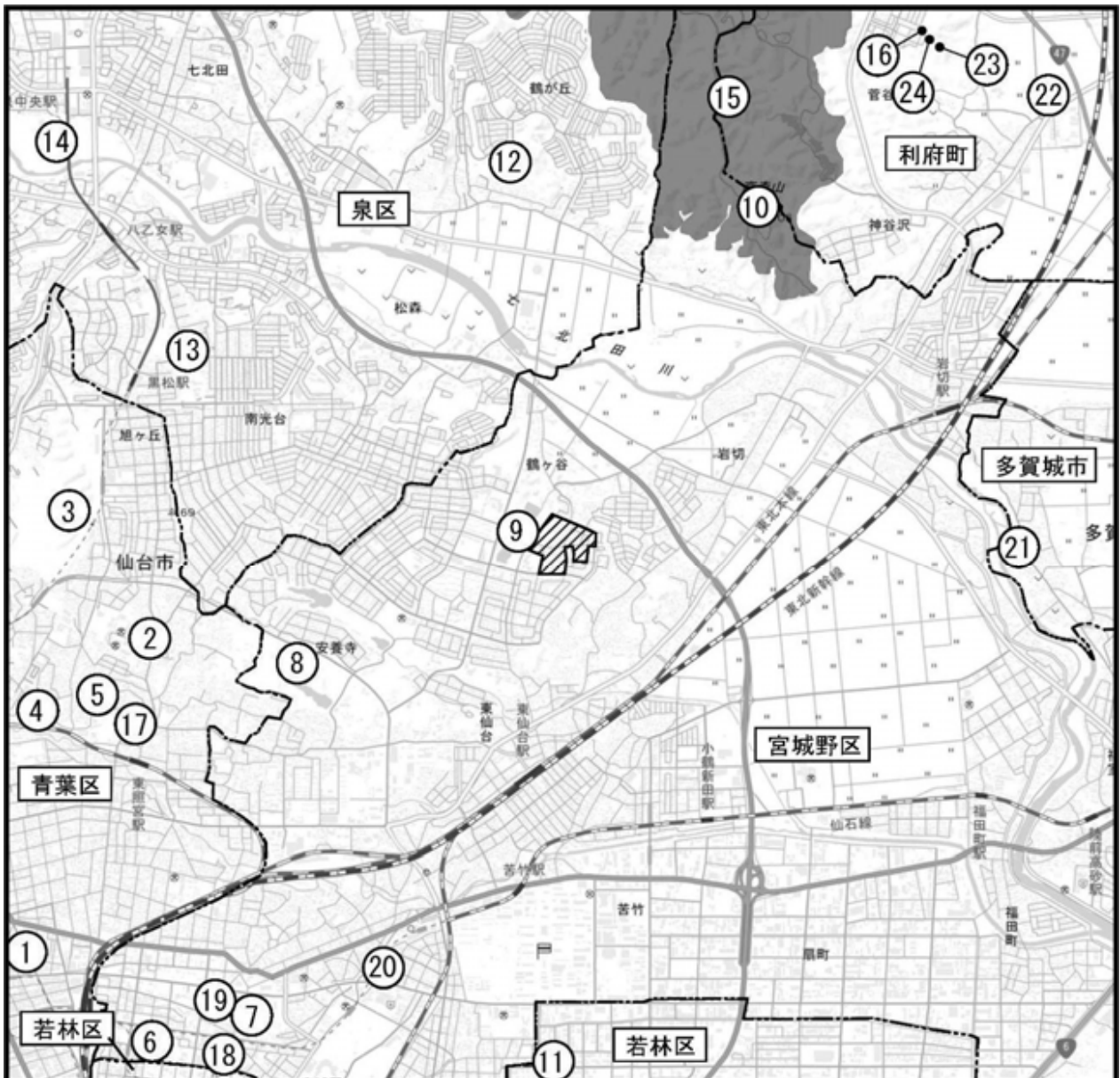
#### 【文化的景観資源】

No. *	名称	文献				
		①	②	③	④	⑤
12	松森城跡	○				
17	東照宮周辺	○				○
18	三沢初子の墓など	○				
19	榴岡天満宮	○				
20	苦竹のイチョウ	○				
21	南安楽寺古碑群			○		
22	伊豆佐比賣神社				○	
23	道安寺・菅谷不動尊				○	
24	菅谷横穴墓群				○	


※1：文献は、以下のとおりである。

- ① 「杜の都 わがまち緑の名所 100 選」 (平成 30 年 10 月 仙台市)  
<http://www.city.sendai.jp/ryokuchihozen/mesho100sen/index.html>
- ② 「仙台市公園・緑地等配置図」 (平成 29 年 4 月 仙台市)
- ③ 「見る・学ぶ・遊ぶ」 (平成 30 年 10 月 多賀城市観光協会)
- ④ 「利府ワンダーナビ」 (平成 30 年 10 月 利府町)  
<http://www.town.rifu.miyagi.jp/www/contents/1205123922015/html/common/5ac734e0010.htm>
- ⑤ 「みやぎ観光 NAVi!!!」 (平成 30 年 10 月 宮城県)  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/kankou/>

※2：表中の No. は、図 3.1-26に対応する。



凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

○ : 景観資源 (自然的景観資源 図中番号: ①~⑩)  
 (歴史的景観資源 図中番号: ⑫、⑰~⑳)

※: 図中の番号は表 3.1-75 に対応する。

出典: 「社の都 わがまち緑の名所 100 選」(平成 30 年 10 月 仙台市)

<http://www.city.sendai.jp/ryokuchihozen/mesho100sen/index.html>

「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 29 年 4 月 仙台市)

「見る・学ぶ・遊ぶ」(平成 30 年 10 月 多賀城市観光協会)

「利府ワンダーナビ」(平成 30 年 10 月 利府町)

<http://www.town.rifu.miyagi.jp/www/contents/1205123922015/html/common/5ac734e0010.htm>

「みやぎ観光 NAVi!!」(平成 30 年 10 月 宮城県)

<https://www.pref.miyagi.jp/site/kankou/>

図 3.1-26 計画地周辺の景観資源位置図



S=1:50,000

0 1250 2500m

## イ．眺望地点の状況

調査範囲における主要な眺望地点は表 3.1-77、主要な眺望地点位置図は図 3.1-27に示すとおりである。

表 3.1-77 計画地周辺の主要な眺望地点

No.※	名称	文献			
		①	②	③	④
1	東照宮	○	-	-	-
2	三瀧山不動院	○	-	-	-
3	榴岡公園	○	-	-	-
4	県民の森	○	○	-	-

※1：文献は、以下のとおりである。

① 「仙台観光情報サイト せんだい旅日和」 (仙台観光国際協会)

<http://www.sentabi.jp>

② 「利府のオススメビューポイント」 (利府町観光協会)

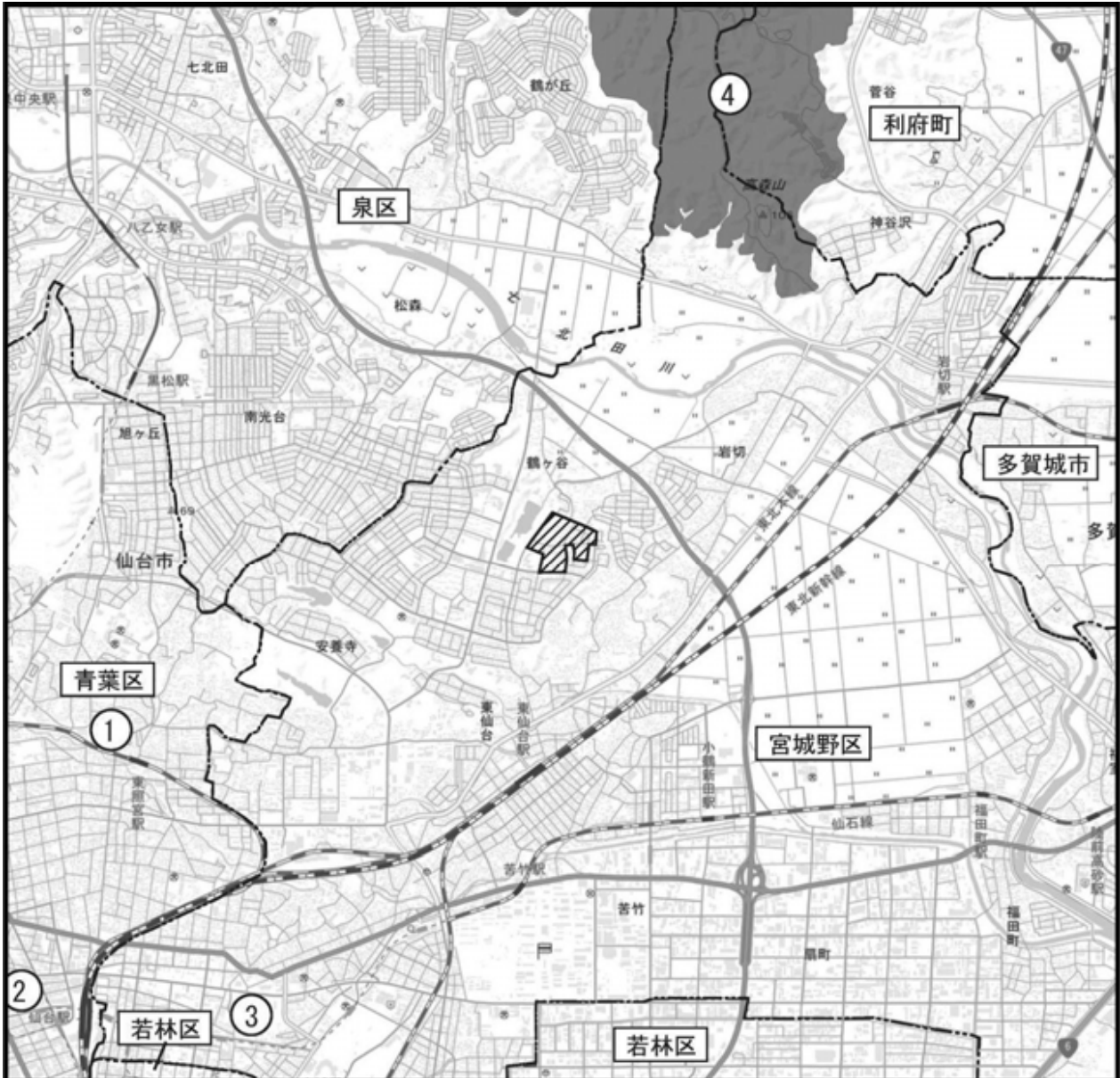
<http://www.rifukankoukyoukai.com/meisyo.html>

③ 「見る・学ぶ・遊ぶ」 (平成30年10月 多賀城市観光協会)

④ 「みやぎ観光NAVi!!」 (平成30年10月 宮城県)

<http://www.pref.miyagi.jp/site/kankou/>

※2：表中のNo.は、図 3.1-27に対応する。



凡例

 : 計画地

----- : 市区町界

○ : 主要な眺望地点 (図中番号: ①~④)

※: 図中の番号は表 3.1-76 に対応する。

出典: 「仙台観光情報サイト せんだい旅日和」(平成 30 年 10 月 仙台観光国際協会)

<http://www.sentabi.jp>

「利府のおススメビューポイント」(平成 30 年 10 月 利府町観光協会)

<http://www.rifukankoukyoukai.com/meisyo.html>

「見る・学ぶ・遊ぶ」(平成 30 年 10 月 多賀城市観光協会)

「みやぎ観光 NAVi!!」(平成 30 年 10 月 宮城県)

<https://www.pref.miyagi.jp/site/kankou/>

図 3.1-27 計画地周辺の主要な眺望地点位置図



S=1:50,000

0 1250 2500m



(2) 自然との触れ合いの場

ア. 自然との触れ合いの場の状況

調査範囲における主要な自然との触れ合いの場は表 3.1-78(1)～(8)、自然との触れ合いの場位置図は図 3.1-28に示すとおりである。

調査範囲には、県緑地環境保全地域が 1 箇所、風致地区が 2 箇所、特別緑地保全地区が 2 箇所等の自然との触れ合いの場がある。計画地の西側には「鶴ヶ谷中央公園」、南側には「鶴ヶ谷 6 丁目公園」が隣接している。

表 3.1-78(1) 自然との触れ合いの場 (1/8)

区分	番号	名称
県緑地環境保全地域	A	県民の森
風致地区	1	台原
	2	安養寺
特別緑地保全地区	3	柝江
	4	燕沢三丁目

※：表中の番号は、図 3.1-28に対応する。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

「自然公園等区域閲覧サービス」（宮城県）

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/1top.html>

表 3.1-78(2) 自然との触れ合いの場 (2/8)

【都市公園】

No.	名称	住所	No.	名称	住所
1	中江公園*	青葉区中江一丁目 17	24	とちのき公園*	青葉区東照宮一丁目 291-7
2	中江北公園*	青葉区中江一丁目 3	25	双葉ヶ丘一丁目北公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-290
3	中江西公園*	青葉区中江一丁目 1-176 外	26	双葉ヶ丘一丁目南公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-364
4	高松通公園	青葉区福沢町 306-3	27	台原六丁目公園	青葉区台原六丁目 37-2 外
5	小松島公園*	青葉区小松島四丁目 53-1	28	旭ヶ丘駅前公園	青葉区旭ヶ丘三丁目 1-482 外
6	中江南公園	青葉区中江二丁目 9-18	29	高松一丁目公園	青葉区高松一丁目 103-10 外
7	小松島四丁目公園	青葉区小松島四丁目 28-18	30	北根一丁目公園	青葉区北根一丁目 2-5 外
8	小松島新堤公園	青葉区小松島新堤 8-37	31	双葉ヶ丘一丁目中公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-420
9	小松島四丁目 2 号公園	青葉区小松島四丁目 214-19	32	台原五丁目南公園	青葉区台原五丁目 243-61
10	台原五丁目公園	青葉区台原五丁目 413-5	33	台原四丁目北公園	青葉区台原森林公園 703-11
11	旅籠町公園	青葉区青葉区小田原六丁目 26-2	34	台原六丁目南公園	青葉区台原六丁目 225
12	双葉ヶ丘一丁目公園	双葉ヶ丘一丁目 52-225	35	小田原八丁目公園	青葉区小田原八丁目 144
13	上杉公園*	青葉区上杉四丁目 239-3 外	36	宮町五丁目公園	青葉区宮町五丁目 11-4
14	東照宮二丁目公園*	青葉区東照宮二丁目 301-45 外	37	上杉杜の公園	青葉区上杉五丁目 209-3
15	青葉区北根黒松南公園	青葉区北根黒松 1-37	38	小田原青葉のまち公園	青葉区小田原四丁目 115-132
16	北根黒松北公園	青葉区北根黒松 1-199	39	小田原八丁目中公園	青葉区小田原八丁目 3-7
17	東照宮一丁目公園	東照宮一丁目 291-168	40	小田原四丁目公園	青葉区小田原四丁目 115-155
18	旭ヶ丘一丁目公園	青葉区旭ヶ丘一丁目 702-20	41	小松島四丁目北公園	青葉区小松島四丁目 2-253
19	旭ヶ丘二丁目公園	青葉区旭ヶ丘二丁目 28-542	42	中江一丁目公園	青葉区中江一丁目 7-9
20	錦町一丁目公園	青葉区錦町一丁目 213	43	燕沢公園*	宮城野区燕沢一丁目 64-28 外
21	上杉五丁目公園	青葉区上杉五丁目 28-6	44	案内公園*	宮城野区東仙台五丁目 7-30 外
22	一本松公園	青葉区旭ヶ丘二丁目 20-404	45	西田公園*	宮城野区新田三丁目 261-1 外
23	小田原七丁目公園	青葉区小田原七丁目 202-1	46	南宮城野公園*	宮城野区宮千代一丁目 36-1

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

表 3.1-78(3) 自然との触れ合いの場 (3/8)

## 【都市公園】

No.	名称	住所	No.	名称	住所
47	清水沼公園*	宮城野区清水沼一丁目 17-1	87	高砂公園	宮城野区福室字高砂 46-17 外
48	清水田公園*	宮城野区萩野町三丁目 6-1	88	安養寺一丁目 2 号公園	宮城野区安養寺一丁目 58-16
49	山崎東公園	宮城野区岩切一丁目 61-2 外	89	福田町四丁目公園*	宮城野区福田町四丁目 5-1
50	屋舗公園	宮城野区新田三丁目 49-2 外	90	清水沼二丁目公園	宮城野区清水沼二丁目 210-11
51	鶴ヶ谷七丁目南公園*	宮城野区鶴ヶ谷七丁目 8	91	海道下公園	宮城野区東仙台三丁目 120-6 外
52	鶴ヶ谷八丁目公園*	宮城野区鶴ヶ谷八丁目 6	92	原町六丁目公園	宮城野区原町六丁目 70-20
53	萩野町公園*	宮城野区萩野町三丁目 10	93	若宮前 2 号公園	宮城野区岩切字若宮前 62-14 外
54	若葉公園*	宮城野区安養寺一丁目 42-33	94	鶴ヶ谷東公園*	宮城野区岩切三丁目 280
55	鶴ヶ谷一丁目東公園*	宮城野区鶴ヶ谷一丁目 10	95	福田町砂押公園*	宮城野区福田町二丁目 1224
56	鶴ヶ谷一丁目西公園*	宮城野区鶴ヶ谷一丁目 34	96	鶴ヶ谷山沢公園	宮城野区鶴ヶ谷北一丁目 132-4
57	鶴ヶ谷二丁目公園*	宮城野区鶴ヶ谷二丁目 3	97	安養寺二丁目公園	宮城野区安養寺二丁目 11-316
58	鶴ヶ谷三丁目公園*	宮城野区鶴ヶ谷三丁目 10	98	燕沢東三丁目公園	宮城野区燕沢東三丁目 345-5 外
59	鶴ヶ谷四丁目西公園*	宮城野区鶴ヶ谷四丁目 12	99	鶴ヶ谷南公園*	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 25
60	鶴ヶ谷五丁目公園*	宮城野区鶴ヶ谷五丁目 16	100	岩切小児公園	宮城野区岩切字小児 23-23 外
61	鶴ヶ谷六丁目公園*	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 10	101	鶴ヶ谷六丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 25-11
62	鶴ヶ谷七丁目北公園*	宮城野区鶴ヶ谷七丁目 29	102	福室半在家公園	宮城野区福室三丁目 407-3 外
63	安養寺下東公園	宮城野区東仙台七丁目 7-133	103	田子袋河原公園	田子字袋河原 42-47 外
64	新田公園*	宮城野区館町二丁目 12	104	鶴ヶ谷菖蒲沢公園*	宮城野区鶴ヶ谷東三丁目 32-4
65	福住町公園*	宮城野区福住町 9-2	105	大久保山公園	宮城野区鶴ヶ谷北二丁目 31-2
66	安養寺下西公園	宮城野区東仙台七丁目 7-183	106	田子鳥井公園	宮城野区田子字鳥井 74-10 外
67	町浦公園*	宮城野区福田町二丁目 365	107	幸町 3 号公園	宮城野区幸町二丁目 2-30
68	小鶴公園*	宮城野区館町一丁目 25	108	岩切水分公園	宮城野区岩切字水分 64-36
69	川北公園*	宮城野区新田 5 丁目 9	109	田子小原公園*	宮城野区田子三丁目 111-4
70	沢北公園*	宮城野区燕沢三丁目 56-32	110	三所北 2 号公園	宮城野区岩切字三所北 42-18
71	菖蒲沢東公園	宮城野区岩切二丁目 3-41	111	燕沢三丁目公園	宮城野区燕沢三丁目 66-75
72	青津目公園	宮城野区岩切字青津目 108-4	112	三所北 3 号公園	宮城野区岩切字三所北 28-11
73	鴻巣 1 号公園	宮城野区岩切字鴻巣 33-4	113	鶴ヶ谷菖蒲沢 2 号公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 315-17
74	佐野原公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 6-46	114	鶴巻一丁目東公園*	宮城野区鶴巻一丁目 1006-1
75	畑中公園	宮城野区岩切字畑中 11-4	115	鶴巻一丁目西公園*	宮城野区鶴巻一丁目 1010-1
76	鴻巣 2 号公園	宮城野区岩切字鴻巣 176-9	116	田子要害東公園	宮城野区田子一丁目 252-1
77	幸町公園	宮城野区幸町二丁目 215-7	117	上田子 2 号公園*	宮城野区田子三丁目 507
78	高砂駅西公園	宮城野区福室字高砂駅西 7-8 外	118	岩切観音前公園	宮城野区岩切観音前 49-22
79	山崎西公園*	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 183-13 外	119	燕沢三丁目 2 号公園	宮城野区燕沢三丁目 56-88
80	若宮前公園	宮城野区岩切字若宮前 11-37	120	田子鳥井 2 号公園	宮城野区田子字鳥井 1-34
81	吉ヶ沢東公園	宮城野区燕沢東二丁目 62-31	121	山崎西 2 号公園	宮城野区岩切二丁目 36-9 外
82	羽黒前公園	宮城野区岩切字羽黒前 81 外	122	鴻巣 3 号公園	宮城野区岩切字堰下 40-17
83	東河原公園*	宮城野区岩切字東河原 330	123	安養寺一丁目 3 号公園	宮城野区安養寺一丁目 34-22
84	安養寺一丁目公園*	宮城野区安養寺一丁目 5-286	124	幸町 4 号公園	宮城野区幸町二丁目 326-4
85	三所北公園	宮城野区岩切字三所北 35-13	125	仙石南公園	宮城野区小鶴字仙石 89-16
86	幸町 2 号公園	宮城野区幸町二丁目 424-8	126	原町四丁目公園	宮城野区原町四丁目 146-9

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

表 3.1-78(4) 自然との触れ合いの場(4/8)

## 【都市公園】

No.	名称	住所	No.	名称	住所
127	幸町5号公園	宮城野区幸町一丁目 101-11	167	畑中東公園	宮城野区岩切字畑中 49-37
128	東仙台六丁目公園	宮城野区東仙台六丁目 158-27	168	観音前西公園	宮城野区岩切字観音前 58-1 外
129	仙石西公園	宮城野区小鶴字仙石 58-22	169	鶴ヶ谷東一丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東一丁目 13-30
130	榴岡五丁目公園*	宮城野区榴岡五丁目 4-1	170	三所北4号公園	宮城野区岩切字三所北 38-6
131	福室上町南公園*	宮城野区福室上町 9-2	171	岩切1号公園	宮城野区岩切字青津目 163
132	幸町一丁目公園	宮城野区幸町一丁目 204-4	172	平成二丁目東公園	宮城野区平成二丁目 17-3
133	小田原三丁目西公園	宮城野区小田原三丁目 214-1	173	福室二丁目公園	宮城野区福室二丁目 34-20
134	東仙台三丁目公園	宮城野区東仙台三丁目 232-5	174	岩切昭和北公園	宮城野区岩切字昭和北 5-3 外
135	平成一丁目南公園	宮城野区平成一丁目 243-8	175	安養寺二丁目東公園	宮城野区安養寺二丁目 75-29
136	燕沢二丁目公園	宮城野区燕沢二丁目 6-27	176	二の森公園	宮城野区二の森 28-1
137	榴岡四丁目西公園*	宮城野区榴岡四丁目 9-1	177	苗代沢公園	宮城野区燕沢一丁目 107-9
138	小鶴一丁目北公園	宮城野区小鶴一丁目 203-15 外	178	田子一丁目北公園	宮城野区田子一丁目 490-17 外
139	榴岡四丁目公園*	宮城野区榴岡四丁目 14	179	燕沢二丁目北公園	宮城野区燕沢二丁目 9-358
140	燕沢東二丁目公園	宮城野区燕沢東二丁目 66-3	180	新田東五丁目北公園*	宮城野区新田東五丁目 5-18
141	榴岡三丁目公園*	宮城野区榴岡三丁目 3	181	新田東五丁目南公園*	宮城野区新田東五丁目 12-13
142	田子要害西公園	宮城野区田子字要害 254-9	182	新田東二丁目公園*	宮城野区新田東二丁目 2-16
143	宮城野一丁目公園*	宮城野区宮城野一丁目 13	183	五輪一丁目公園	宮城野区宮城野二丁目 20-8
144	平成一丁目公園	宮城野区平成一丁目 581-89	184	小鶴二丁目公園	宮城野区小鶴二丁目 59-3 外
145	鴻巣4号公園	宮城野区岩切字鴻巣南 82-48	185	岩切駅南公園	宮城野区岩切字東河原 360
146	鶴ヶ谷館下公園	宮城野区鶴ヶ谷字館下 34-11	186	鶴ヶ谷東四丁目2号公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 10-7
147	安養寺一丁目南公園	宮城野区安養寺一丁目 78-19	187	宮の杜みなみのたに公園	宮城野区東仙台四丁目 101-23
148	安養寺三丁目公園	宮城野区安養寺三丁目 20-32	188	宮の杜なかのさと公園	宮城野区東仙台四丁目 101-57
149	安養寺上町公園	宮城野区安養寺一丁目 18-44	189	宮の杜ひがしのもり公園	宮城野区東仙台四丁目 101-106
150	鶴ヶ谷東四丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 307	190	宮の杜きたのおか公園	宮城野区東仙台四丁目 101-119
151	福室上町北公園*	宮城野区福室六丁目 29-1	191	鶴ヶ谷東一丁目2号公園	宮城野区鶴ヶ谷東一丁目 16-90 外
152	幸町三丁目公園	宮城野区幸町三丁目 505-24	192	上屋倉公園	宮城野区蒲生字上屋倉 24-39
153	田子二丁目公園*	宮城野区田子二丁目 40-1	193	榴岡三丁目東公園	宮城野区榴岡三丁目 11-1 外
154	田子二丁目北公園*	宮城野区田子二丁目 6-4	194	岩切2号公園	宮城野区岩切字洞ノ口 241
155	鶴ヶ谷東三丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東三丁目 405-24	195	新田二丁目公園	宮城野区新田二丁目 301-8
156	鶴ヶ谷東二丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 59	196	鉄砲町和光公園*	宮城野区鉄砲町 41-2 の一部外
157	田子一丁目南公園	宮城野区田子一丁目 1001-26	197	東仙台六丁目西公園	宮城野区東仙台六丁目 104-15
158	燕沢東一丁目きただ公園	宮城野区燕沢東一丁目 475	198	福田町二丁目公園	宮城野区福田町二丁目 534-5
159	畑中2号公園	宮城野区岩切字畑中 27-19	199	東仙台六丁目北公園	宮城野区東仙台六丁目 7-207
160	幸町二丁目公園	宮城野区幸町二丁目 404-7	200	田子二丁目西公園*	宮城野区田子二丁目 24-1
161	原町カッウ公園*	宮城野区原町二丁目 37-2 外	201	岩切昭和北第二公園	宮城野区岩切字昭和北 13-15
162	鶴ヶ谷東二丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 4-110	202	萩野町四丁目北公園	宮城野区萩野町四丁目 19-319
163	清水沼三丁目公園	宮城野区清水沼三丁目 223-9	203	萩野町四丁目南公園	宮城野区萩野町四丁目 19-368
164	余目公園	宮城野区岩切字余目 11-15	204	田子西三丁目公園	宮城野区田子西三丁目 9-6
165	仙石北公園	宮城野区仙石 117-18	205	新原田公園	宮城野区福室字新原田 11-43 外
166	燕沢東一丁目公園	宮城野区燕沢一丁目 391	206	田子西二丁目公園	宮城野区田子西二丁目 11-2 外

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成29年4月現在 仙台市）

表 3.1-78(5) 自然との触れ合いの場 (5/8)

## 【都市公園】

No.	名称	住所	No.	名称	住所
207	新寺二丁目蓮池公園	若林区新寺二丁目 4-1	247	高玉北公園	泉区高玉町 7
208	卸町東一丁目公園	若林区卸町東一丁目 1005-3	248	虹の丘一丁目東公園	泉区虹の丘一丁目 3-30
209	鶴が丘一丁目公園	泉区鶴が丘一丁目 5-43 外	249	川原東公園	泉区七北田字川原 58-3 外
210	鶴が丘二丁目公園*	泉区鶴が丘二丁目 9-3	250	南光台六丁目西公園	泉区南光台六丁目 68-553
211	鶴が丘四丁目東公園*	泉区鶴が丘四丁目 10-8	251	南光台七丁目北公園	泉区南光台七丁目 1-108
212	鶴が丘四丁目北公園*	泉区鶴が丘四丁目 24-3	252	南光台東一丁目公園	泉区南光台東一丁目 1-229
213	南光台一丁目公園*	泉区南光台一丁目 158-444	253	原田公園	泉区市名坂字原田 17-3
214	南光台南一丁目公園*	泉区南光台南一丁目 1-349	254	市名坂野蔵公園	泉区市名坂字野蔵 101-37
215	南光台南二丁目公園	泉区南光台南二丁目 1-350 外	255	南光台東二丁目南公園*	泉区南光台東二丁目 5-209
216	南光台南二丁目北公園	泉区南光台南二丁目 10-966	256	南光台七丁目南公園	泉区南光台七丁目 1-228
217	南光台東一丁目南公園*	泉区南光台東一丁目 35-453	257	南光台南三丁目公園	泉区南光台南三丁目 35-454
218	南光台東一丁目北公園*	泉区南光台東一丁目 35-452	258	黒松二丁目北公園	泉区黒松二丁目 1-837
219	歩坂町公園	泉区歩坂町 76-285	259	鶴が丘一丁目南公園	泉区鶴が丘一丁目 54-14 外
220	山の寺一丁目南公園	泉区山の寺一丁目 16-21	260	松本沢公園	泉区松森字台 96-13
221	泉中央三丁目北公園	泉区泉中央三丁目 22-19	261	鶴が丘二丁目南公園	泉区鶴が丘二丁目 13-2
222	黒松一丁目公園	泉区黒松一丁目 1-150	262	長岫公園	泉区南光台東三丁目 10
223	黒松一丁目北公園	泉区黒松一丁目 1-824	263	南光台東二丁目公園	泉区南光台東二丁目 43
224	黒松二丁目東公園	泉区黒松二丁目 1-825	264	松陵一丁目南公園*	泉区松陵一丁目 3-2
225	東黒松公園	泉区東黒松 17-244	265	松陵一丁目北公園*	泉区松陵一丁目 27-5
226	愛隣町東公園	泉区八乙女中央五丁目 2-2	266	百合ヶ丘中央公園	泉区松森字保坂 72-379 外
227	愛隣町西公園	泉区八乙女中央五丁目 9-1	267	百合ヶ丘南公園	泉区松森字保坂 72-367
228	川原北公園	泉区七北田字川原 90-32	268	百合ヶ丘北公園	泉区松森字保坂 72-108 外
229	八乙女公園	泉区八乙女一丁目 186-7	269	泉中央四丁目南公園*	泉区泉中央四丁目 28-1
230	南光台六丁目公園	泉区南光台六丁目 68-552	270	黒松三丁目公園	泉区黒松三丁目 65-13
231	境公園	泉区八乙女四丁目 183-21	271	市名坂公園*	泉区市名坂字萬吉前 8 外
232	長左門公園	泉区上谷刈字長左門下 30-31	272	齊兵衛東公園	泉区松森字齊兵衛 58-46 外
233	原田南公園	泉区市名坂字原田 70-7	273	陣ヶ原東公園	泉区松森字陣ヶ原 11-10
234	鶴が丘二丁目西公園	泉区鶴が丘二丁目 19-19 外	274	八乙女二丁目公園*	泉区八乙女二丁目 4-1
235	南光台南三丁目南公園*	泉区南光台南三丁目 10-870	275	八乙女四丁目公園*	泉区八乙女四丁目 9-1
236	しらとり公園	泉区松森字明神 22-86	276	南光台東二丁目東公園	泉区南光台東二丁目 27-127
237	南光台七丁目公園*	泉区南光台七丁目 1-230	277	明神東公園	泉区松森字明神 26-7
238	鶴が丘一丁目東公園*	泉区鶴が丘一丁目 23-16	278	野蔵南公園	泉区市名坂字野蔵 25-12 外
239	天神沢北公園	泉区天神沢一丁目 4-204	279	歩坂町北公園	泉区歩坂町 1-41
240	前田公園	泉区松森字前田 58-23 外	280	八乙女一丁目公園	泉区八乙女一丁目 5-9
241	前田北公園	泉区松森字前田 45-12	281	泉中央三丁目公園*	泉区泉中央三丁目 6-1
242	齊兵衛公園	泉区松森字齊兵衛 62 外	282	泉中央三丁目東公園*	泉区泉中央三丁目 32-4
243	明神南公園	泉区松森字明神 32-17	283	泉中央四丁目公園*	泉区泉中央四丁目 22-1
244	八沢公園	泉区松森字八沢 26-8 外	284	真美沢北公園	泉区八乙女中央五丁目 207-1 外
245	天神沢公園	泉区天神沢一丁目 19-82 外	285	松陵一丁目公園	泉区松陵一丁目 10-6
246	高玉南公園	泉区高玉町 9-1	286	松森陳ヶ森公園	泉区松森字陳ヶ原 31-43

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

表 3.1-78(6) 自然との触れ合いの場 (6/8)

【都市公園】

No.	名称	住所	No.	名称	住所
287	松森前ヶ沢公園	泉区松森字明神 41-53 外	313	七北田東裏公園	泉区七北田字東裏 168-6
288	松森明神公園	泉区松森字明神 35-9	314	天神沢西公園	泉区天神沢一丁目 8-128
289	松森明神北公園	泉区松森字明神 43-31	315	明神中公園	泉区松森字明神 27-16
290	松木沢北公園	泉区松森字松木沢 9-4 外	316	七北田愛宕公園*	泉区七北田字白水沢 126
291	真美沢南公園	泉区八乙女中央五丁目 13-16	317	市名坂檜町公園	泉区市名坂字檜町 168 外
292	真美沢西公園	泉区八乙女中央五丁目 138-7	318	市名坂さくら公園	泉区市名坂字高玉川原
293	上谷刈原公園	泉区上谷刈字原 5-7	319	南光台五丁目公園	泉区南光台五丁目 86-662
294	市名坂御釜田公園	泉区市名坂字御釜田 142-1	320	八乙女中央三丁目南公園	泉区八乙女中央三丁目 204-12
295	松森台公園	泉区松森字台 90-9	321	黒木川原公園	泉区高玉町 10-17 外
296	松森前ヶ沢東公園	泉区松森字明神 39-12	322	中川原公園	泉区市名坂字中川原 2-13
297	みずほ台公園	泉区みずほ台 59	323	七北田八乙女公園	泉区七北田字八乙女 21-15
298	上谷刈竹下公園	泉区上谷刈字竹下 2-5 外	324	新田八沢公園	泉区松森字新田 209
299	天神沢南公園	泉区天神沢一丁目 4-239	325	市名坂東裏北公園	泉区市名坂字東裏 13-6
300	原田北公園	泉区市名坂字原田 200	326	南光台四丁目公園	泉区旭丘堤一丁目 11-3 外
301	みずほ台北公園	泉区みずほ台 17-107	327	東鹿島公園	泉区松森字館 235
302	松森後田公園	泉区松森字後田 19-12	328	真美沢黒松公園	泉区八乙女中央五丁目 263
303	市名坂東裏公園	泉区市名坂東裏 26-3 外	329	八乙女南公園	泉区東黒松 17-312 外
304	八乙女中央三丁目北公園	泉区八乙女中央三丁目 232-6	330	上谷刈小堤東公園	泉区上谷刈字小堤 15-93
305	陣ヶ原南公園	泉区松森字陣ヶ原 23-33	331	鹿島西公園	泉区松森字鹿島 10-12
306	松森後田東公園	泉区松森字後田 36-7 外	332	天神沢一丁目公園	泉区天神沢一丁目 9-299
307	南光台一丁目南公園	泉区南光台一丁目 156-11	333	陣ヶ原北公園	泉区松森字陣ヶ原 1-9
308	陣ヶ原中央公園	泉区松森字陣ヶ原 29-11 外	334	中道公園	泉区松森字中道 1-17
309	陣ヶ原西公園	泉区松森字陣ヶ原 55-6	335	上谷刈貴富弥公園	泉区上谷刈五丁目 101-23
310	明神公園	泉区松森字明神 30-23	336	天神沢東公園	泉区天神沢一丁目 4-135 外
311	高柳公園	泉区七北田字高柳 120-7 外	337	南光台東三丁目南公園	泉区南光台東三丁目 51-93
312	南光台二丁目北公園	泉区南光台二丁目 68-584			

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

表 3.1-78(7) 自然との触れ合いの場 (7/8)

【都市公園】

No.	名称	住所	備考
338	錦町公園*	青葉区本町二丁目 21-1	近隣公園
339	扇町一丁目公園	宮城野区扇町一丁目 4	
340	日の出町公園*	宮城野区日の出町三丁目 6	
341	鶴ヶ谷四丁目東公園*	宮城野区鶴ヶ谷四丁目 22	
342	扇町四丁目公園*	宮城野区扇町四丁目 9-1	
343	扇町六丁目公園*	宮城野区扇町六丁目 5-1	
344	福田町南一丁目公園*	宮城野区福田町南一丁目 1007	
345	燕沢中央公園*	宮城野区燕沢東三丁目 301-1 外	
346	新田東中央公園*	宮城野区新田東一丁目 11-1	
347	卸町公園*	若林区卸町二丁目 13	
348	卸町東二丁目公園*	若林区卸町東二丁目 4-1	
349	鶴が丘公園*	泉区鶴が丘三丁目 17-21	
350	松陵公園*	泉区松陵二丁目 4	
351	南光台三丁目公園*	泉区南光台三丁目 1 地内	
352	八乙女中央公園*	泉区八乙女三丁目 13-7 外	
353	泉中央公園*	泉区泉中央二丁目 18-3	地区公園
354	鶴ヶ谷中央公園*	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 1-2 外	
355	真美沢公園*	泉区旭ヶ丘堤二丁目 1-590	河川公園
356	七北田川岩切大橋緑地	宮城野区岩切字東河原 1-1 外	
357	七北田川田子緑地	宮城野区田子字五平洲 1-1 外	
358	七北田川岩切緑地	宮城野区岩切字土手外東 8-1 外	
359	七北田川鶴巻緑地	宮城野区鶴巻一丁目 1023	
360	七北田川友愛緑地	泉区友愛町 171 外	総合公園
361	榴岡公園*	宮城野区五輪一丁目 301-3 外	
362	七北田公園*	泉区七北田字赤生津 4 外	特殊公園
363	新伝馬町公園*	青葉区中央二丁目 7-3	風致公園
364	台原緑地*	青葉区台原一丁目 114-40 外	
365	台原森林公園*	青葉区台原森林公園 3 0 2 外	
366	高森山公園	宮城野区岩切字入山 83-1 外	
367	大堤公園*	宮城野区安養寺二丁目 6-164 外	
368	与兵衛沼公園*	宮城野区蟹沢 20-1 外	
369	鶴ヶ城公園	泉区松森字内町 31 外	
370	双葉ヶ丘一丁目 2 号公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-303	都市緑地
371	北根黒松緑地	青葉区北根黒松 1-269 外	
372	花京院緑地*	青葉区花京院一丁目 195-10 外	
373	大久保山緑地	宮城野区鶴ヶ谷北一丁目 7-76 外	
374	燕沢二丁目緑地	宮城野区燕沢二丁目 16	
375	高砂二丁目緑地	宮城野区高砂二丁目 26-2	
376	銀杏町緑地*	宮城野区銀杏町 723	
377	鶴ヶ谷東二丁目緑地	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 57 外	

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。  
 出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）

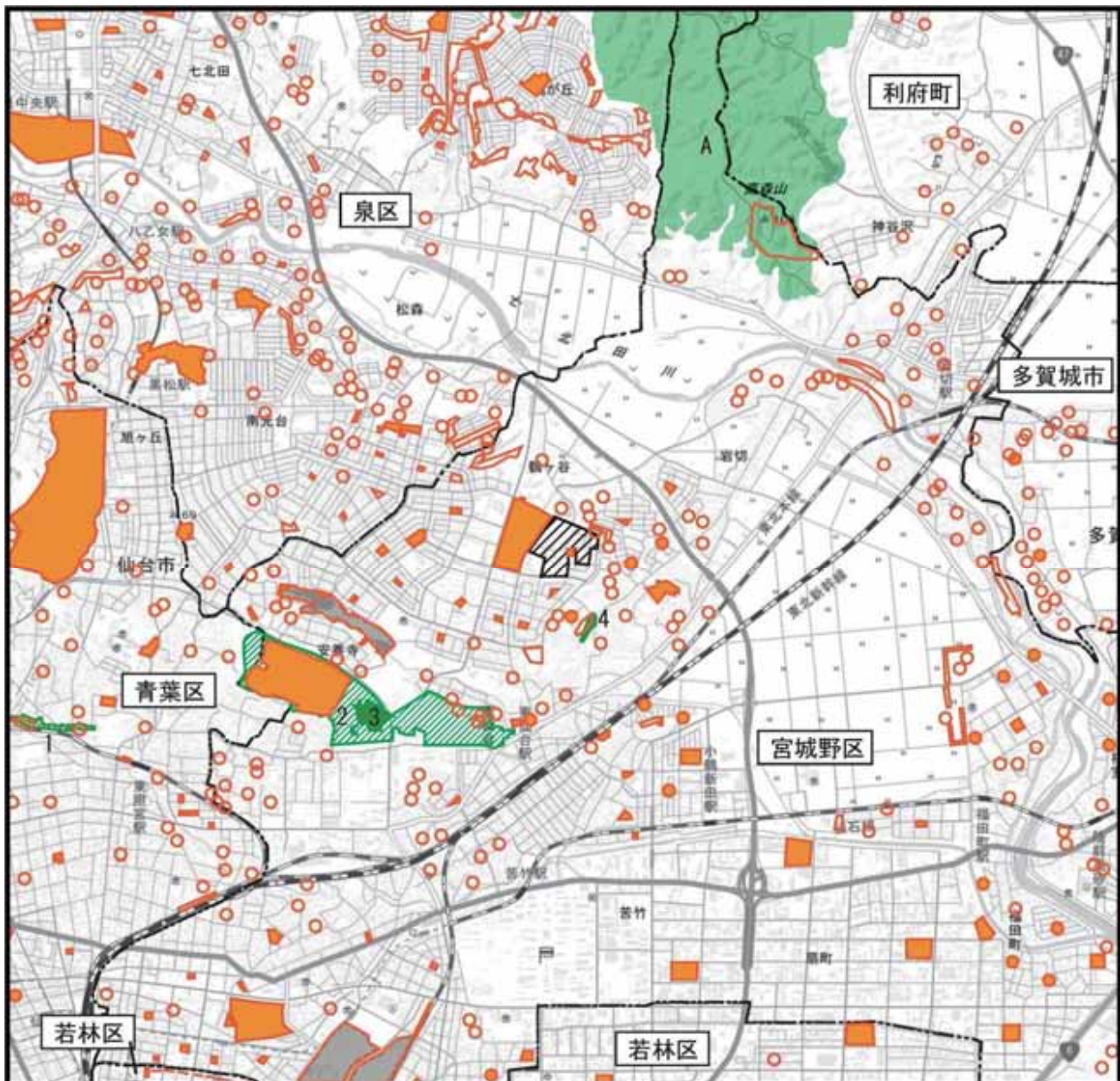
表 3.1-78(8) 自然との触れ合いの場 (8/8)

【都市公園】










No.	名称	住所	備考
378	田子西二丁目緑地	宮城野区田子西二丁目 9-2 外	都市緑地
379	田子西三丁目緑地	宮城野区田子西三丁目 5-7	
380	田子西二丁目東緑地	宮城野区田子西二丁目 10-4 外	
381	燕沢三丁目緑地	宮城野区燕沢三丁目 55-1 外	
382	南光台東一丁目緑地	泉区南光台東一丁目 33-2 外	
383	鶴が丘二丁目緑地	泉区鶴が丘二丁目 25-1 外	
384	黒松一丁目緑地	泉区黒松一丁目 1-916	
385	松森前ヶ沢緑地	泉区松森字前ヶ沢 2-48 外	
386	南光台二丁目緑地	泉区南光台二丁目 141-218 外	
387	肩掛山緑地	泉区上谷刈字向原 3-24 の内	
388	松陵緑地	泉区松陵一丁目 32-1 外	
389	鶴が丘緑地	泉区鶴が丘一丁目 5-48 外	
390	上谷刈小堤東緑地	泉区上谷刈字小堤 15-94	
391	黒松二丁目北緑地	泉区黒松二丁目 237-3 外	
392	虹の丘一丁目南緑地	泉区虹の丘一丁目 20-1	
393	虹の丘一丁目東緑地	泉区虹の丘一丁目 21-1	
394	南光台東二丁目緑地	泉区南光台東二丁目 81 外	
395	南光台六丁目緑地	泉区南光台六丁目 149-740 外	
396	南光台七丁目緑地	泉区南光台七丁目 34-26 外	

※：名称に「\*」が記載された公園・緑地は、都市計画公園でもあることを示す。  
 出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年 4 月現在 仙台市）



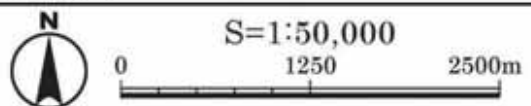


凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 県緑地環境保全地域 (図中番号: A 県民の森)
-  : 風致地区 (図中番号: 1 台原 2 安養寺)
-  : 特別緑地保全地区 (図中番号: 3 柞江 4 燕沢三丁目)
-   : 都市計画公園
-   : 都市公園

出典: 「自然公園等区域閲覧サービス」(宮城県)  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/1top.html>  
 「都市計画の概要/土地利用/地域地区」(宮城県)  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/tosikeikakugaiyou/tochiriyou-tiikitiku.html>  
 「仙台市公園・緑地等配置図」(平成29年4月現在 仙台市)  
 「多賀城市公園・緑地等管理図」(平成24年6月 多賀城市)  
 「利府町タウンガイド/公共施設/公園一覧表」(利府町)  
<http://www.town.rifu.miyagi.jp/www/contents/1205220151193/index.html>

図 3.1-28 計画地周辺の自然との触れ合いの場位置図



(3) 文化財

ア. 文化財等の状況

調査範囲における指定文化財の状況は表 3.1-79～表 3.1-83、指定文化財等位置図は図 3.1-29 に示すとおりである。

調査範囲には、国指定文化財が 5 件、県指定文化財が 3 件、仙台市指定文化財が 11 件、仙台市登録文化財が 22 件、多賀城市指定文化財が 1 件の文化財が存在する。

表 3.1-79 指定文化財の状況（国指定）

No.*	種別区分1	種別区分2	特別	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
1	有形文化財	建造物	—	東照宮本殿・唐門・透塀・鳥居・隨身門 附 厨子1基・棟札1枚・石灯籠34基	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S28.3.31
2	記念物	史跡	—	岩切城跡		宮城野区岩切字入山ほか	仙台市・利府町	S57.8.23
3	記念物	名勝	—	おくのほそ道の風景地		宮城野区五輪一丁目ほか、若林区木ノ下二丁目ほか	国・県・仙台市ほか	H27.3.10
4	記念物	天然記念物	特別	カモシカ		地域を定めず指定したもの		S30.2.15
5	記念物	天然記念物	—	苦竹のイチョウ		宮城野区銀杏町	個人(仙台市)	T15.10.20

※：表中のNo.は、図 3.1-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（平成30年4月1日現在 仙台市教育局文化財課）  
「多賀城市の文化財」（平成30年10月閲覧 多賀城市教育委員会事務局文化財課）  
<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>

表 3.1-80 指定文化財の状況（県指定）

No.*	種別区分1	種別区分2	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
6	有形文化財	建造物	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39.9.4
7	有形文化財	建造物	旧仙台北城板倉	1棟	宮城野区岩切	個人	S53.5.2
8	有形文化財	工芸品	薙刀	1口	宮城野区小田原	個人	S34.8.31

※：表中のNo.は、図 3.1-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（平成30年4月1日現在 仙台市教育局文化財課）  
「多賀城市の文化財」（平成30年10月閲覧 多賀城市教育委員会事務局文化財課）  
<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>

表 3.1-81 指定文化財の状況（仙台市指定）

No.*	種別区分1	種別区分2	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
9	有形文化財	建造物	善応寺開山堂	1棟	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	S43.2.15
10	有形文化財	建造物	旧第四連隊兵舎	1棟	宮城野区五輪一丁目3-7	仙台市	S53.6.16
11	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀三尊像	3軀	宮城野区榴岡四丁目10-1	円徳寺	H10.3.24
12	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1軀	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
13	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑	1基	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	S52.3.1
14	有形文化財	歴史資料	原町苦竹の道知るべ石	1基	宮城野区原町三丁目	仙台市	S52.3.1
15	記念物	史跡	善応寺横穴古墳群	—	宮城野区燕沢二丁目	善応寺	S43.2.15
16	記念物	史跡	三沢初子の墓など	—	宮城野区榴岡五丁目4	仙台市	S47.2.1
17	記念物	史跡	刀工本郷国包各代の墓所	—	若林区新寺二丁目7-33	善導寺	S55.10.20
18	記念物	史跡	松森焰硝蔵跡	—	泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	S62.5.1
19	記念物	史跡	東光寺の石窟群域・西平場	—	宮城野区岩切字入山	仙台市(東光寺)・東光寺	H18.1.17

※：表中のNo.は、図 3.1-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（平成30年4月1日現在 仙台市教育局文化財課）

表 3.1-82 指定文化財の状況（仙台市登録）

No.※	種別区分1	種別区分2	名称	員数	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日
20	有形文化財	建造物	安藤家住宅	1棟	青葉区宮町	個人	H7.9.5
21	有形文化財	建造物	釈迦堂	1棟	宮城野区榴岡四丁目11-11	孝勝寺	H7.9.5
22	有形文化財	建造物	正楽寺本堂、山門	2棟	若林区新寺二丁目6-35	正楽寺	H7.9.5
23	有形文化財	建造物	榴岡天満宮唐門	1棟	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	H7.9.5
24	有形文化財	建造物	東照宮石段	2基	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	H7.9.5
25	有形文化財	建造物	仙岳院本堂	1棟	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H8.3.5
26	有形文化財	建造物	清浄光院本堂	1棟	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H8.3.5
27	有形文化財	建造物	延寿院本堂・地藏堂	2棟	青葉区宮町五丁目6-18	延寿院	H8.3.5
28	有形文化財	建造物	善入院観音堂	1棟	宮城野区原町一丁目1-67	善入院	H8.3.5
29	有形文化財	彫刻	十一面観音菩薩立像	1軀	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
30	有形文化財	彫刻	毘沙門天立像	1軀	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
31	有形文化財	彫刻	釈迦三尊坐像	3軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
32	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来坐像	1軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
33	有形文化財	彫刻	薬師三尊十二神将立像	15軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
34	有形文化財	彫刻	五大明王像	5軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
35	有形文化財	彫刻	馬頭観音菩薩坐像	1軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
36	有形文化財	彫刻	宝冠阿弥陀如来坐像	1軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
37	有形文化財	彫刻	木造 阿弥陀如来二十五菩薩像及び地藏菩薩立像	27軀	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
38	有形文化財	彫刻	木造 地藏菩薩立像	4軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
39	有形文化財	彫刻	木造 不動三尊立像	3軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
40	有形文化財	彫刻	木造 閻魔十王像	11軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
41	無形民俗文化財	—	仙台東照宮神楽	—	青葉区東照宮	仙台東照宮神楽保存会	H8.3.5

※：表中のNo.は、図3.1-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（平成30年4月1日現在 仙台市教育局文化財課）

表 3.1-83 指定文化財の状況（多賀城市指定）

No.※	種別区分1	種別区分2	名称	員数	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日
42	記念物	史跡	南安楽寺古碑群	—	多賀城市新田字南安楽寺48付近	多賀城市	S48.12.18







※：表中のNo.は、図3.1-29に対応する。

出典：「多賀城市の文化財」（平成30年10月閲覧 多賀城市教育委員会事務局文化財課）

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>



凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 国指定文化財(図中番号:1~5)
-  : 県指定文化財(図中番号:6~8)
-  : 市指定文化財(図中番号:9~19,42)
-  : 市登録文化財(図中番号:20~41)

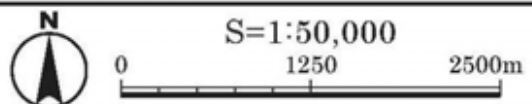
※: 図中の番号は表3.1-78~表3.1-82に対応する。

出典: 「仙台市の文化財一覧」(平成30年4月1日現在 仙台市教育局文化財課)

「多賀城市の文化財」(平成30年10月閲覧 多賀城市教育委員会事務局文化財課)

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>

図 3.1-29 計画地周辺の指定文化財等位置図



## イ. 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

調査範囲の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は、表 3.1-84及び図 3.1-30に示すとおりである。調査範囲には、窯跡、遺跡及び城跡等、44 件の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が存在する。なお、計画地内に埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

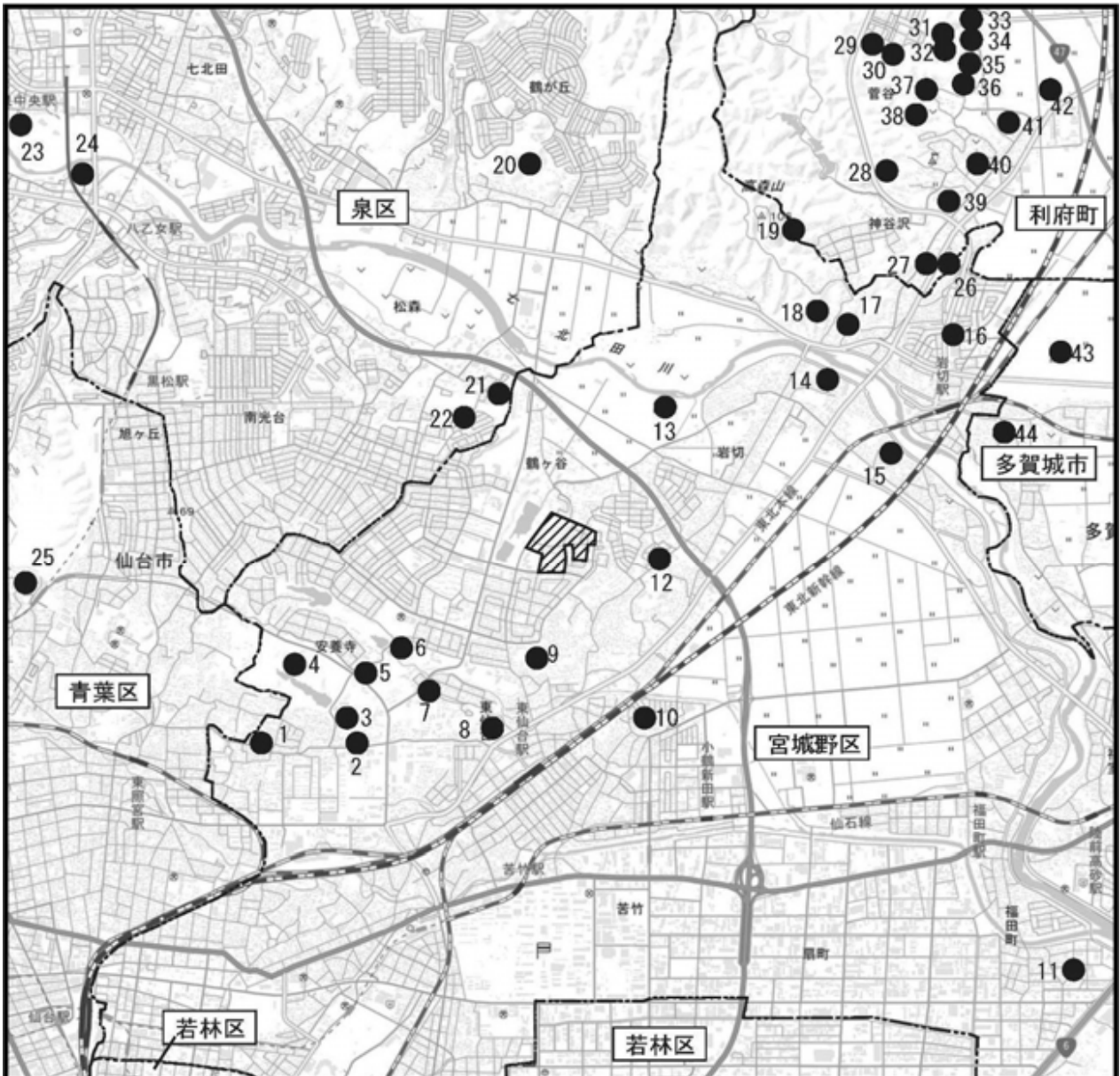
表 3.1-84 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

No.※	名称	所在地	No.※	名称	所在地
1	庚申前窯跡	宮城野区二の森	23	赤生津遺跡	泉区七北田字赤生津
2	神明社窯跡	宮城野区栴江	24	高柳遺跡	泉区七北田字高柳
3	栴江遺跡	宮城野区栴江	25	五本松窯跡	青葉区台原森林公園ほか
4	与兵衛沼窯跡	宮城野区小松島新堤ほか	26	館ノ内遺跡	利府町神谷沢館の内
5	安養寺配水場前窯跡	宮城野区安養寺 3 丁目	27	羽黒前遺跡	利府町神谷沢金沢
6	安養寺中囲窯跡	宮城野区安養寺 3 丁目	28	北沢横穴遺跡	利府町神谷沢北沢
7	安養寺下瓦窯跡	宮城野区東仙台 6 丁目	29	菅谷館跡	利府町菅谷館
8	大蓮寺窯跡	宮城野区東仙台 6 丁目	30	東天神遺跡	利府町菅谷館
9	善応寺横穴墓群	宮城野区燕沢 2 丁目	31	菅谷横穴墓群	利府町菅谷廻
10	小鶴城跡	宮城野区新田 3 丁目	32	菅谷薬師神社横穴群	利府町菅谷南熊野前
11	鶴巻遺跡	宮城野区鶴巻 1 丁目・2 丁目	33	法印塚古墳	利府町菅谷山苗代
12	燕沢遺跡	宮城野区燕沢東 3 丁目ほか	34	北熊野前遺跡	利府町菅谷山苗代
13	岩切畑中遺跡	宮城野区岩切字稲荷西	35	馬場崎遺跡	利府町菅谷南熊野前
14	今市遺跡	宮城野区岩切字三所北	36	馬場崎 B 遺跡	利府町菅谷馬場崎
15	鴻ノ巣遺跡	宮城野区岩切字鴻ノ巣	37	穴ヶ沢遺跡	利府町菅谷西笠菅沢
16	洞ノ口遺跡	宮城野区岩切字洞ノ口、青津目	38	笠菅沢遺跡	利府町菅谷西笠菅沢
17	若宮前遺跡	宮城野区岩切字若宮前	39	塚元古墳	利府町神谷沢赤坂
18	東光寺遺跡	宮城野区岩切字入山、台屋敷	40	西天神遺跡	利府町神谷沢赤坂
19	岩切城跡	宮城野区岩切字入山ほか	41	産野原遺跡	利府町菅谷赤坂
20	松森城跡	泉区松森字内町他	42	伊豆左比賣神社遺跡	利府町飯土井長者
21	住吉遺跡	泉区南光台東	43	内館館跡	多賀城市南宮
22	長岫遺跡	泉区南光台東 2 丁目	44	新田遺跡	多賀城市新田




※：表中の No. は、図 3.1-30に対応する。

出典：「仙台市の遺跡」（平成 30 年 10 月閲覧 仙台市教育委員会文化財課）<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/isekidb/>  
「宮城県遺跡地図」（平成 30 年 5 月更新 宮城県文化財課）<https://www.pref.miyagi.jp/site/maizou/bunkazaimap.html>



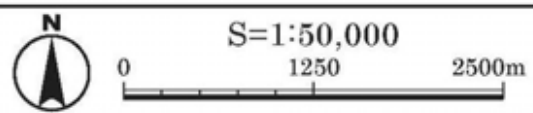


凡例

-  : 計画地
-  : 市区町界
-  : 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）（図中番号：1～44）

※：図中の番号は表3.1-83に対応する。  
 出典：「仙台市の遺跡」（平成30年10月閲覧 仙台市教育委員会文化財課）  
<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/isekidb/>  
 「宮城県遺跡地図」（平成30年5月更新 宮城県文化財課）  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/maizou/bunkazaimap.html>

図 3.1-30 計画地周辺の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）位置図



### 3.1.6 その他

#### (1) 電波障害の状況

計画地は、丘陵地を造成して整備した住宅団地内に位置しており、周辺は主に 2 階建ての住宅が立地している地域である。テレビ電波等は、計画地において南南西～南西より到来する。

仙台市において電波障害に係る苦情等のデータの収集・整理は実施していない。

#### (2) 日照障害の状況

計画地は、丘陵地を造成して整備した住宅団地内に位置しており、周辺は主に 2 階建ての住宅が立地している地域である。仙台市における日影規制の対象地域については、「3.2.6 環境の保全等を目的とする法令等」に示す。

仙台市において日照障害に係る苦情等のデータの収集・整理は実施していない。

#### (3) 風害の状況

計画地は、丘陵地を造成して整備した住宅団地内に位置しており、周辺は主に 2 階建ての住宅が立地している地域である。

仙台市において風害に係る苦情等のデータの収集・整理は実施していない。